

# 取扱説明書

**HITACHI**  
Inspire the Next

基本編

液晶プロジェクター

応用編

# CP-X608

## CP-X608J

ミニ編

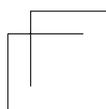
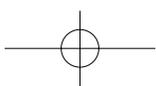
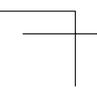
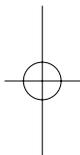
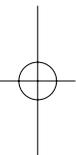
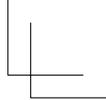


このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

### 最初に

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

この製品には保証書が別添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。



# 取扱説明書

液晶プロジェクター

型名 CP-X608

## 【基本編】

本書は【基本編】【応用編】【MIU 編】の3編に分かれています。  
操作の詳細とその他の技術情報については【応用編】、MIU 機能については【MIU 編】をご覧ください。

### はじめに

ご使用の前に、必ず本書の【基本編】、【応用編】、【MIU 編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ

はじめに	1 - 2	画面位置を調整する	1 - 24
正しくお使いいただくために	1 - 2	音量を調節する	1 - 24
付属品の確認	1 - 10	音声を消す	1 - 24
レンズカバーを取り付ける	1 - 10	<b>画面を調節する</b>	<b>1 - 25</b>
各部の名称	1 - 11	入力信号を選ぶ	1 - 25
プロジェクター	1 - 11	画面の自動調整機能を使う	1 - 26
操作パネル	1 - 12	アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ	1 - 26
接続パネル	1 - 12	画面の位置を調節する	1 - 27
リモコン	1 - 13	キーストン（台形歪み）を調節する	1 - 27
<b>準備</b>	<b>1 - 14</b>	画面を拡大する	1 - 28
配置する	1 - 14	映像を静止させる	1 - 28
セキュリティ・スロット／バーを使う	1 - 14	映像を一時的に消す	1 - 28
他の機器と接続する	1 - 16	電源を切る	1 - 29
SD カード、USB メモリを装着する	1 - 18	<b>点検とお手入れ</b>	<b>1 - 30</b>
スロットカバーロックを取り付ける	1 - 18	ランプについてのご注意	1 - 30
電源に接続する	1 - 19	ランプの交換	1 - 31
リモコンを準備する	1 - 20	エアフィルターのお手入れ	1 - 32
電池を入れる	1 - 20	内蔵時計用電池の交換	1 - 33
レーザーポインタについて	1 - 20	内部を点検、お手入れする	1 - 34
リモコン信号について	1 - 21	レンズのお手入れ	1 - 34
リモコン信号の周波数を切り替える	1 - 21	キャビネットやリモコンのお手入れ	1 - 34
有線リモコンとして使用する	1 - 21	<b>仕様</b>	<b>1 - 35</b>
簡易マウス／キーボードとして使う	1 - 22	一般仕様	1 - 35
<b>投写</b>	<b>1 - 23</b>	外形寸法	1 - 35
電源を入れる	1 - 23	<b>応用編</b>	<b>2 - 1</b>
ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する	1 - 23	<b>MIU 編</b>	<b>3 - 1</b>
傾きを調節する	1 - 23	<b>保証とアフターサービスについて</b>	
		<b>（必ずお読みください）</b>	

# はじめに

## 正しくお使いいただくために

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷が発生する可能性があります。



#### 「注意」を示します。

この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。



「破裂注意」



「感電注意」



「高温注意」



#### 「禁止」を示します。

この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」



「水濡れ禁止」



「ぬれ手禁止」



#### 「強制」を示します。

この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」



「アース線を必ず接続せよ」

## 使用上のご注意

### 警告

#### 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、  
内部に異物や液体（金属や水）が入った、  
落とした、強い衝撃をあたえた、

本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

▶お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

## ⚠ 警告

### 子供やペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。  
お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

### 異物や液体を入れない



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

火災や感電の原因となります。

万一、異物や液体が入ってしまったら、**すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**

▶花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。

▶クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。

▶付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶本機や付属品のキャビネットやケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

▶本機や付属品を加工しないでください。

▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

▶ランプ、ランプカバー、エアフィルター、フィルターカバーなどの部品を外した状態で使用しないでください。

### 衝撃をあたえない



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。

万一、**衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**

▶移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを閉じてください。

▶アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。

▶修理や引越などの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。

### 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない



落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

▶ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。

▶キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。

▶アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。（**図1-23**）

▶前面、側面、背面を下にして置かないでください。

▶天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。

▶セキュリティ・スロット（盗難防止ロック用穴）やセキュリティ・バー（盗難防止チェーン/ワイヤー用バー）を落下防止用に使わないでください。

## 警告

### 高温に注意する



高温注意

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

▶使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。

▶排気口の近くにリモコンなどの物を置かないでください。

▶金属の台など、熱の伝わりやすいものや燃えやすいもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。

▶使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。

### ぬらさない



水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。

水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

▶風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。

▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。

▶水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

### レンズをのぞかない



本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

### 指定の電源電圧で使用する



指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。

必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

### 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する



仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。

本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

### 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない



損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

▶本機など、重い物を載せないでください。

▶ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。

▶コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。

▶投げたり、ひきずったりしないでください。

▶加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

### ぬれた手で電源を接続したり外したりしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

## ⚠ 警告

### 電源プラグは付着物をふき取ってから使用する



本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。  
必ず接続の前に、取り除いてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源の接続が不完全だと、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。  
電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。  
▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

### アース線を必ず接続する



アース線を  
必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。  
本書の「電源に接続する」(☞1-19)に従って、正しく接続してください。  
▶2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。  
▶アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。  
▶アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

### アース線をコンセントに差し込まない



アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。  
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

### お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。  
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。  
必ず本書の「点検とお手入れ」(☞1-30)をお読みになり、正しくお手入れしてください。

### ランプの取扱いに注意する



破裂注意



高温注意

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。  
**万一、破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。通風口などから出るガスを吸い込んだり、目や口に入らないように十分換気し、販売店にご連絡ください。内部にガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けないでください。**  
必ず本書の「ランプについてのご注意」(☞1-30)、「ランプの交換」(☞1-31)、をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。  
▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となり、火傷の原因となります。ランプの交換は、電源を切ってプラグを抜き、45分以上放置して冷ましてから行ってください。  
▶ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取り扱いってください。  
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

## 警告

### 電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは、指定のタイプ（ 1-20, 1-33）の新しい（未使用の）電池を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示（ $\oplus$ 、 $\ominus$ ）に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子供やペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあてないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



破裂注意

### レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。

▶レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。

▶お子様にはリモコンを使わせないでください。



## 注意

### 重い物を載せたりぶら下げたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

▶本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。

▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。



### 湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところには置かないでください。

▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。

▶調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。

▶喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。



## ⚠ 注意

### 高温になるところに置かない



内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

温度が高くなるところには置かないでください。

▶ 直射日光の当たるところ、ヒータやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。

▶ 本機や付属品を電子レンジに入れないでください。

### 通風口をふさがない



通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。

▶ 通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。

▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。

▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

### エアフィルターを定期的にお手入れする



エアフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

▶ 必ず本書の「エアフィルターのお手入れ」(1-32)をお読みにになり、指定のエアフィルターを正しくご使用ください。

▶ エアフィルターは定期的にお手入れしてください。

▶ エアフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

### 磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

### 使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間で使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

### 年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。

▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。

▶ 内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

## お守りください

### リモコンに衝撃をあたえないでください

破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

### リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

### リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

### レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ 使用しないときはレンズカバーを閉じてください。
- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラや眼鏡の清掃用）をご使用ください。
- ▶ 取付けレンズなどは、所定のもの（販売店にお尋ねください）以外取り付けしないでください。

### レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

### 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

### 電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

### 電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源スイッチを切ったり電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなることがあります。非常時を除き、電源は決められた手順（**1-29**）で切ってください。

- ▶ 停電やシャットダウンスイッチの使用などによって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源スイッチの「○」側を押し、放置して十分冷ましてください。

### 電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

### キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（**1-34**）で行ってください。

- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- ▶ スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

### 長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

### 梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

## お知らせ

### 寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter）、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日6時間以上ご使用になる場合は、1年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また6時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶電源を頻繁に入れたり切ったりすると、部品の寿命を縮めることがあります。

### 映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニタとは異なることがあります。故障ではありません。

偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

### 液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様（ 1-35）と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

### 輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがあります。液晶特有の現象であり、故障ではありません。

### 結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

### 冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

### ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

### 音声機能について

音量は、周囲に十分配慮して、適度な音量でお楽しみください。特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

### セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

### この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

### 電源高調波について

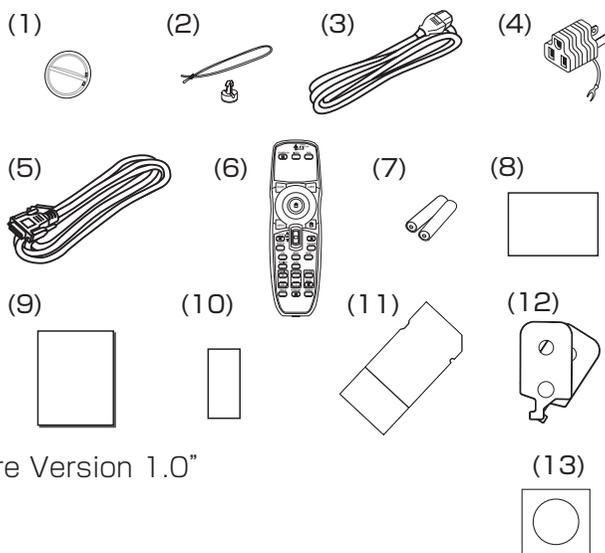
JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## 付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

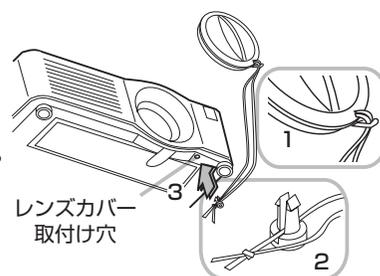
- (1) レンズカバー
- (2) ひも、留め具（レンズカバー取付け用）
- (3) 電源コード
- (4) 電源アダプタ
- (5) RGB信号ケーブル
- (6) リモコン
- (7) 単3型乾電池×2個（リモコン用）
- (8) セキュリティラベル
- (9) 取扱説明書（本書）
- (10) 保証書 ※別添付されています。
- (11) (SD) ワイヤレスネットワークカード
- (12) スロットカバーロック
- (13) CD-ROM " Wireless & Network Software Version 1.0"



## レンズカバーを取り付ける

紛失防止ため、レンズカバーは本体に取り付けてご使用ください。

1. ひもをレンズカバーに取り付ける。
2. ひもの1本を、留め具の溝にはさみ込む。
3. 本体底面のレンズカバー取付け穴に、留め具を押し込んで留める。



### 警告



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
- 電源コードや信号ケーブルを傷つけない  
本機など、重い物を載せないでください。



- 電池の取扱いに注意する  
子供やペットが届くところに放置しないでください。

### お守りください

- 梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

# 各部の名称

## プロジェクター

(1) スピーカー (× 4 箇所) (図2-14)

(2) フォーカスリング (図1-23)

(3) ズームリング (図1-23)

(4) ランプカバー (図1-30, 31)

この内側がランプケースです。

ランプが取り付けられています。

(5) レンズシフトカバー (図1-24)

(6) 水平レンズシフトダイヤル (図1-24)

(7) 垂直レンズシフトダイヤル (図1-24)

(8) フロントカバー

(9) レンズ (図1-23, 34)

(10) レンズカバー (図1-10, 23)

(11) リモコン受光部 (× 3 箇所) (図1-21)

(12) アジャスタ脚 (× 2 箇所) (図1-23)

(13) アジャスタつまみ (× 2 箇所) (図1-23)

(14) フィルターユニット (フィルターカバー) (図1-32)

フィルターユニットは、奥にある本機の主要吸気口に取り付けられています。

フィルターカバーとフィルターフレームが組み合わせられ、

間にエアフィルターを挟み込んでいます。

(15) 排気口

(16) 吸気口

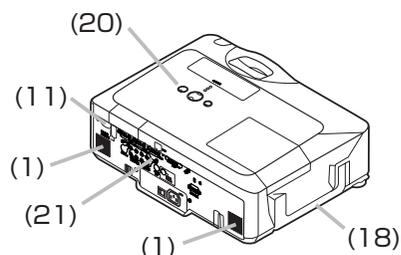
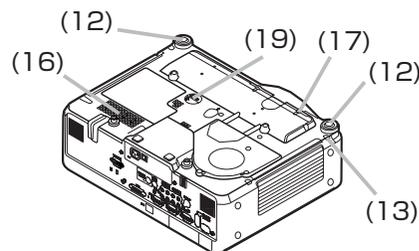
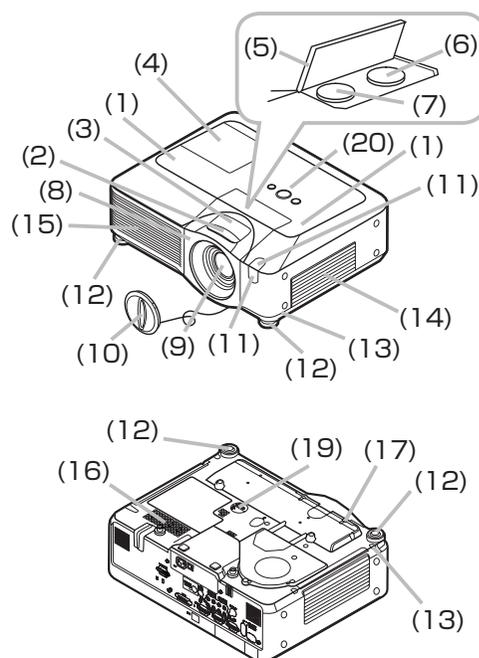
(17) レンズカバー取付け穴 (図1-10)

(18) 取っ手

(19) 電池カバー (図1-33)

(20) 操作パネル (図1-12)

(21) 接続パネル (図1-12, 16, 18)



## 警告



### ●衝撃をあたえない

アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。

### ●高温に注意する

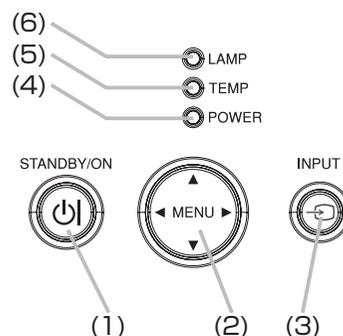
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。

### ●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

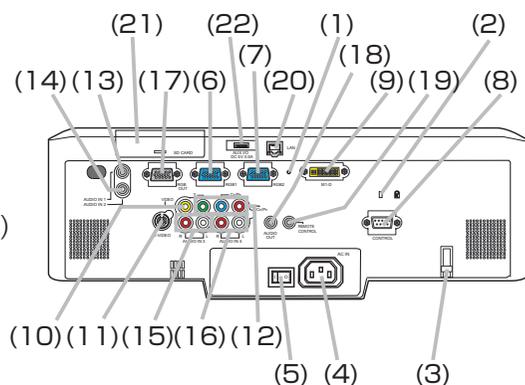
## 操作パネル

- (1) STANDBY/ON ボタン (☞1-23)
- (2) MENU ボタン (☞2-2)  
メニュー操作では、▲/▼/◀/▶の表示箇所を押すと、各々  
▲ (上) / ▼ (下) / ◀ (左) / ▶ (右) カーソルボタンとして機能します。
- (3) INPUT ボタン (☞1-25)
- (4) POWER インジケータ (☞1-23, 2-34)
- (5) TEMP インジケータ (☞2-34)
- (6) LAMP インジケータ (☞2-34)



## 接続パネル

- (1) シャットダウンスイッチ (☞2-36)
- (2) セキュリティ・スロット (盗難防止ロック用穴) (☞1-14)
- (3) セキュリティ・バー (盗難防止ワイヤー/チェーン用バー) (☞1-14)
- (4) 電源端子 (☞1-19)
- (5) 電源スイッチ (☞1-23)
- (6) RGB1 端子 (☞1-16)
- (7) RGB2 端子 (☞1-16)
- (8) CONTROL 端子 (☞1-16)
- (9) M1-D 端子 (☞1-16)
- (10) VIDEO 端子 (☞1-16)
- (11) S-VIDEO 端子 (☞1-16)
- (12) COMPONENT (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 端子 (☞1-16)
- (13) AUDIO IN1 端子 (☞1-16)
- (14) AUDIO IN2 端子 (☞1-16)
- (15) AUDIO IN3 (R/L) 端子 (☞1-16)
- (16) AUDIO IN4 (R/L) 端子 (☞1-16)
- (17) RGB OUT 端子 (☞1-16)
- (18) AUDIO OUT 端子 (☞1-16)
- (19) REMOTE CONTROL 端子 (☞1-16)
- (20) LAN 端子 (☞1-16)
- (21) SD カードスロットカバー (☞1-18)  
中に SD カードスロットがあります。
- (22) AUX I/O ポート (☞1-18)



### ⚠ 警告



●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

盗難防止ロック用穴や盗難防止チェーン（ワイヤー）用バーを転倒・落下防止用に使用しないでください。

### お守りください

●電源は正しい手順で切ってください

シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください (☞2-36)。シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、電源スイッチの「○」側を押し、放置して十分冷ましてください。

## リモコン

- (1) レーザー射出口、(2) LASER インジケータ、(3) LASER ボタン (☞1-20)

LASER ボタンを押すとレーザー射出口からレーザー光が出ます。

- (4) STANDBY/ON ボタン (☞1-23)  
 (5) VOLUME ボタン、(6) MUTE ボタン (☞1-24)  
 (7) VIDEO ボタン、(8) RGB ボタン、(9) SEARCH ボタン (☞1-25)  
 (10) AUTO ボタン (☞1-26)

- (11) ASPECT ボタン (☞1-26)  
 表示画面の縦横比を順次切り替えます。

- (12) POSITION ボタン (☞1-27)  
 画面位置調節モードを設定/解除します。  
 画面位置調節モードでは、表示画面の位置を▲/▼/◀/▶ボタンで操作できます。

- (13) KEYSTONE ボタン (☞1-27)  
 キーストンメニューを表示/消去します。  
 メニューに従って台形歪を補正できます。

- (14) MAGNIFY - ON ボタン、(15) MAGNIFY - OFF ボタン (☞1-28)  
 MAGNIFY-ON で拡大モードを設定、MAGNIFY-OFF で拡大モードを解除します。拡大モードでは、▲/▼ボタンで拡大倍率を調節できます。また、拡大モードで POSITION ボタンを押すと、▲/▼/◀/▶ボタンで拡大領域を移動できるモードの設定/解除ができます。

- (16) FREEZE ボタン (☞1-28)  
 動画表示中に映像を静止/解除することができます。

- (17) BLANK ボタン (☞1-28)  
 ブランク画面を表示/解除します。  
 ブランク画面は、「スクリーン」メニューの「ブランク」で選択、設定します。(☞2-15)

- (18) MY BUTTON-1 ボタン、(19) MY BUTTON-2 ボタン (☞2-20)  
 「その他」メニュー(☞2-18)の「マイボタン」で、各々の機能を選択、設定できます。(☞2-20)

- (20) MENU ボタン (☞2-2)  
 メニューを表示/消去します。

- (21) レバースイッチ (☞1-22, 2-2)  
 ▲表示の方へ倒すと▲(上)カーソルボタン、  
 ▼表示の方へ倒すと▼(下)カーソルボタン、  
 倒さずに押下すると ENTER ボタンとして機能します。

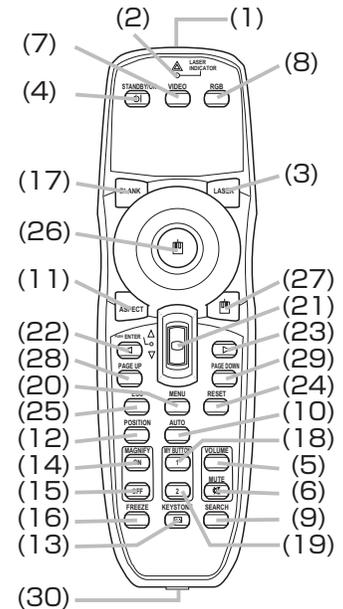
- (22) ◀(左)カーソルボタン、(23) ▶(右)カーソルボタン (☞1-22, 2-2)

- (24) RESET ボタン (☞2-2)、(25) ESC ボタン  
 (26) マウス左ボタン、(27) マウス右ボタン (☞1-22)  
 (28) PAGE UP ボタン、(29) PAGE DOWN ボタン (☞1-22)

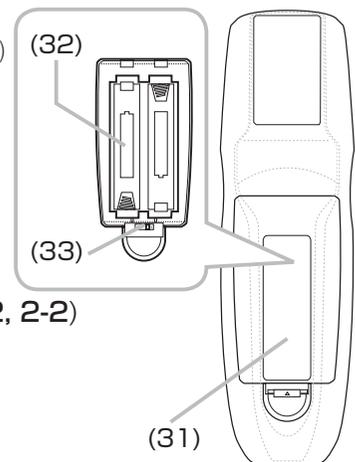
- (30) ワイヤードリモコン端子 (☞1-16, 1-21)

- (31) 電池カバー、(32) 電池ケース (☞1-20)、(33) 周波数切替スイッチ (☞1-21)

⊘ レーザー射出口をのぞかない、人やペットに向けない



リモコン背面



### 警告

- レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

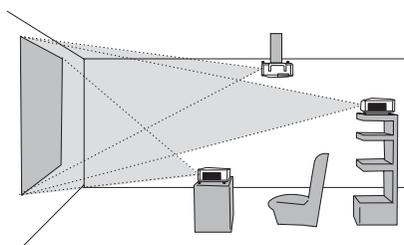


レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。

# 準備

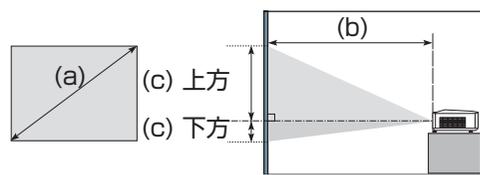
## 配置する

本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置をきめてください。

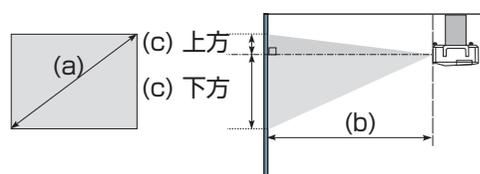


プロジェクターとスクリーンの距離については下表をご参照ください。下表の数値はフルスクリーン(1024×768)の場合の参考値(±10%)です。

**天吊りで** ※天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。



**台や棚の上に置いて**

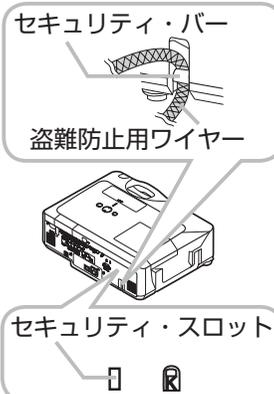


(a) 画面サイズ (対角寸法)	4:3 画面のとき								16:9 画面のとき								
	(b) 投写距離				(c) スクリーンの高さ				(b) 投写距離				(c) スクリーンの高さ				
	最小		最大		下方		上方		最小		最大		下方		上方		
インチ	m	m	インチ	m	インチ	cm	インチ	cm	インチ	m	インチ	m	インチ	cm	インチ	cm	インチ
30	0.8	0.9	35	1.1	42	5	2	41	16	1.0	38	1.2	46	-1	0	39	15
40	1.0	1.2	47	1.4	57	6	2	55	22	1.3	51	1.6	62	-2	-1	51	20
60	1.5	1.8	71	2.2	86	9	4	82	32	2.0	78	2.4	94	-2	-1	77	30
70	1.8	2.1	83	2.6	100	11	4	96	38	2.3	91	2.8	110	-3	-1	90	35
80	2.0	2.4	96	2.9	115	12	5	110	43	2.6	104	3.2	126	-3	-1	103	41
90	2.3	2.7	108	3.3	130	14	5	123	49	3.0	117	3.6	141	-4	-1	116	46
100	2.5	3.0	120	3.7	144	15	6	137	54	3.3	131	4.0	157	-4	-2	129	51
120	3.0	3.7	144	4.4	174	18	7	165	65	4.0	157	4.8	189	-5	-2	154	61
150	3.8	4.6	181	5.5	217	23	9	206	81	5.0	197	6.0	237	-6	-2	193	76
200	5.1	6.1	241	7.4	291	30	12	274	108	6.7	263	8.0	317	-8	-3	257	101
250	6.4	7.7	302	9.2	364	38	15	343	135	8.4	329	10.1	396	-10	-4	322	127
300	7.6	9.2	363	11.1	437	46	18	411	162	10.0	395	12.1	476	-12	-5	386	152
350	8.9	10.8	424	13.0	510	53	21	480	189	11.7	462	14.1	556	-15	-6	450	177

## セキュリティ・スロット／バーを使う

本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。セキュリティ・バーには直径10mmまでのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。

詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン／ワイヤーの説明書をご覧ください。



### お知らせ

●本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

## ⚠ 警告



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く  
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



高温注意

- 高温に注意する  
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。



分解禁止

- 分解しない、改造しない  
本機や付属品を加工しないでください。



- 衝撃をあたえない  
アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。
- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない  
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。前面、側面、背面を下にして置かないでください。天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。セキュリティ・スロット（盗難防止ロック用穴）やセキュリティ・バー（盗難防止チェーン／ワイヤー用バー）を落下防止用に使用しないでください。
- ぬらさない、ぬれる場所に置かない  
風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

## ⚠ 注意



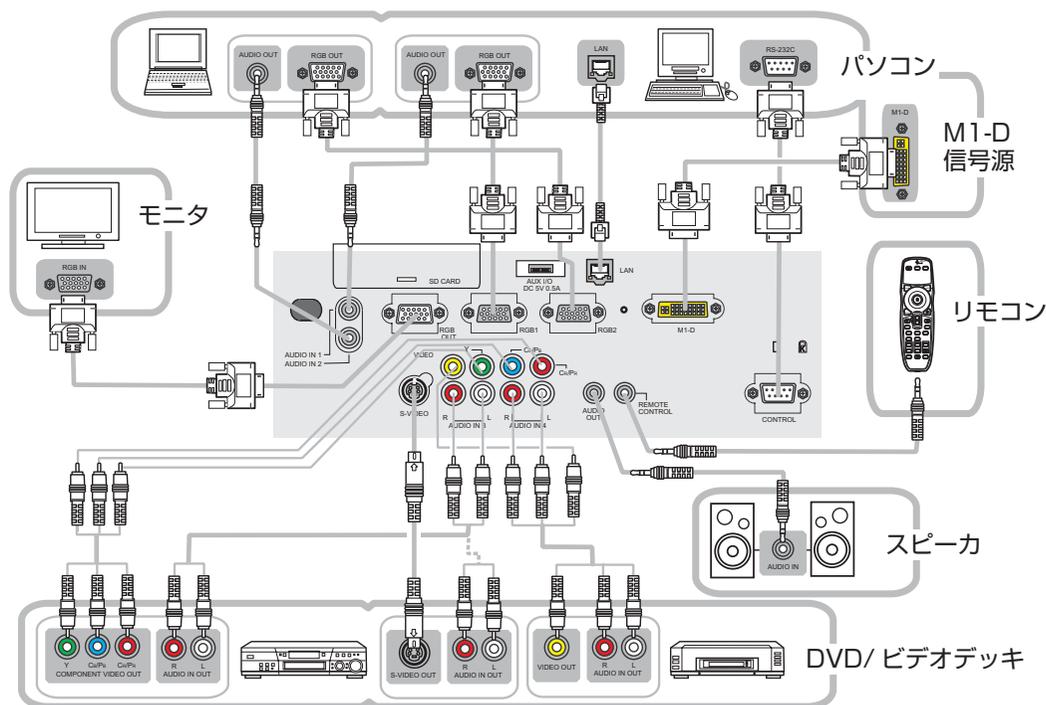
- 湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない  
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気が多いところに置かないでください。喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。
- 高温になるところに置かない  
直射日光の当たるところ、ヒータやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- 通風口をふさがない  
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。
- 磁気を発生するものを近づけない  
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

## お守りください

- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
- 電波を発生するものを避けてください。

## 他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子について」(P.2-40)をご覧ください。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、下図をご参考に接続を行ってください。



### お知らせ

●本機の M1-D 端子とパソコンの DVI 端子および USB 端子と接続する場合は、別売の M1-D ケーブルが必要です。下記の型名を販売店に指定し、ご購入ください。

ケーブル (M1 ケーブル) : 型名 CP-X1200JA 027 (EZ01661)

### 警告



分解禁止

- 分解しない、改造しない**  
本機や付属品を加工しないでください。



- 信号ケーブルやコネクタを傷つけない**  
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



- 信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**  
本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

## ⚠ 注意



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

### ●接続するときは電源プラグを抜く

接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

## お守りください

- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN端子に接続しないでください。LAN端子への接続は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

## お知らせ

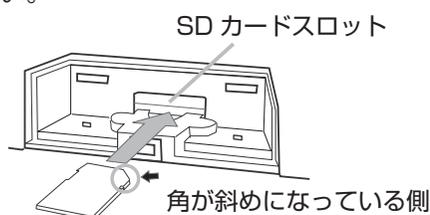
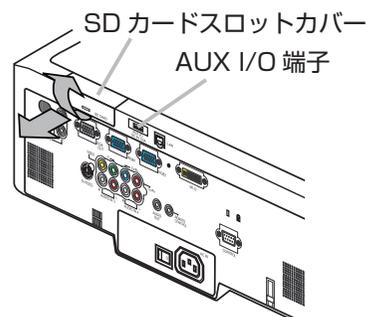
- ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。
- 入力信号によっては、本機の自動調整機能（**1-26**）が正しく働かなかったり、映像を表示できなくなったりすることがあります。また複数の表示モードを持っているパソコンでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
- パソコン上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかつたり通常より時間が掛かると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
- 本機は UXGA（1600 × 1200）信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度（1024 × 768）に変換しています。映像品質は入力信号と本機のパネルの解像度が同じときに最良です。
- 本機の M1-D 端子は HDCP (High-bandwidth Digital Content protection) に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。
- 本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC (Display Data Channel) 対応のパソコンに接続してご使用になると、プラグ&プレイを実現できます。
  - ※プラグ&プレイは、パソコンと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
  - ・本機の RGB 1 端子とパソコンを付属の RGB 信号ケーブルで接続してご使用ください。
  - ・本機は「プラグ&プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。
  - ・接続するパソコンによってはプラグ&プレイが動作しない場合があります。

## SD カード、USB メモリを装着する

SD カードは、SD カードスロットカバーの中にある SD カードスロットに装着してご使用ください。本機の無線 LAN 機能を使用するときは、同梱の (SD) ワイヤレスネットワークカードを SD カードスロットに装着してください。USB メモリを使用する場合は AUX I/O 端子に装着してください。どのカード/メモリを使用するかは、本書の【MIU 編】をご覧ください。

SD カードスロットへの SD カードの装着は以下の手順に従ってください。

1. プロジェクターの電源が切れていることを確認してください。
2. SD カードスロットカバーを外します。  
カバーの下の端を少し押し上げながら、手前に引いてください。
3. SD カードスロットに SD カードを挿入します。  
SD カードの角が斜めになっている側を右 (AUX I/O 端子寄り) にして差し込んでください。



4. カバーを元のように閉めてください。

### お知らせ

- 本機の有線 LAN 機能を使用するときは、SD ワイヤレス LAN カードを取り外してください。
- SD カード、USB メモリを取り外す前に、必ず「MIU」メニュー (☞2-28) の「特別な設定」でメディアの取外し (☞2-32) を実行してください。
- USB メモリによっては LED が下向きになり、点灯/消灯が見えないことがあります。アクセスが完全に終了したのを確認してから、USB メモリを取り外してください。

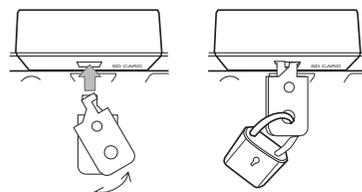
### お守りください

- 本機でワイヤレスネットワークカードを使用するときには、カードのアンテナ部分が周囲の人から少なくとも 20cm 離れるように設置してください。また、他の機器のアンテナや無線機と同じ場所に設置したり、一緒に使用したりしないでください。

## スロットカバーロックを取り付ける

必要に応じて、同梱のスロットカバーロックと市販の南京錠やダイヤル錠で SD カードスロットカバーにロックをかけることができます。

1. SD カードスロットカバーを閉めます。
2. スロットカバーロックを差し込みます。  
右図のようにスロットカバーロックを開き、SD カードスロットカバーの穴に差し込んでください。



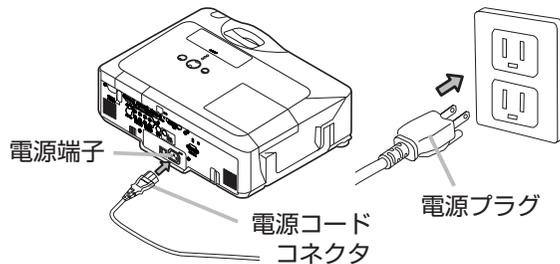
3. 南京錠やダイヤル錠を取り付けます。  
スロットカバーロックをゆっくりと閉じ、南京錠やダイヤル錠をスロットカバーロックの穴に取り付けてください。

## 電源に接続する

プロジェクターの電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

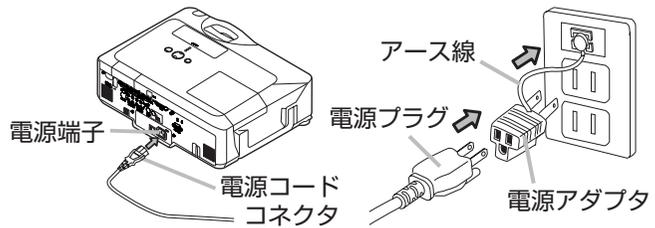
### 3つ穴コンセントをご使用のとき

1. 電源コードのコネクタ側をプロジェクターの電源端子に接続してください。
2. 電源プラグをコンセントに接続してください。



### 2つ穴コンセントをご使用のとき

1. 電源コードのコネクタ側をプロジェクターの電源端子に接続してください。
2. 電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
3. 電源アダプタをコンセントに接続してください。
4. 電源プラグを電源アダプタに接続してください。



## 警告



- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く  
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- 指定の電源電圧で使用する  
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。
- 電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する  
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。
- 電源プラグは付着物をふき取ってから使用する  
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む  
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。



- アース線を必ず接地する  
2つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。



- 電源コードや電源アダプタを傷つけない  
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。
- ぬれた手で電源を接続したり外したりしない  
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。
- アース線をコンセントに差し込まない  
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

## お守りください

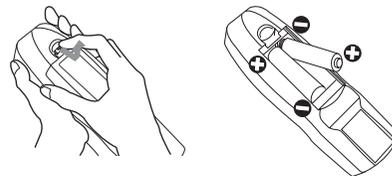
- 接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。電源コードを接続する前に、本機の電源スイッチが切れている（「○」と表示されている側が押されている）ことを確認してください。

# リモコンを準備する

## 電池を入れる

付属のリモコンは単3型乾電池2本を使用します。ご使用前に電池をリモコンに入れてください。

1. リモコンを図のように持って、電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示(⊕、⊖)を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーをもとのように閉じてください。



## 警告

### ●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。



破裂注意

▶交換するときは、新しい(未使用の)単3型乾電池2本を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い(使用した)電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。電池ケースの極性表示(⊕、⊖)に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。子供やペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。

## レーザーポインタについて

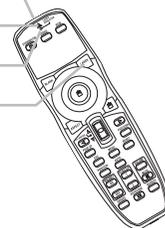
■リモコンのLASER ボタンを押すと、リモコンの先端にある射出口からレーザー光が出ます。スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用ください。

■レーザー光はLASER ボタンを押している間放射され、ボタンを放すと消えます。

■レーザー光が出ているあいだはLASER インジケータが点灯します。



レーザー射出口  
レーザーマーク  
LASER インジケータ  
LASER ボタン



警告  
・レーザー光をのぞきごまさないこと。  
・レーザー光を人に向けないこと。  
・子供に使わせないこと。 SMK

## 警告

### ●レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

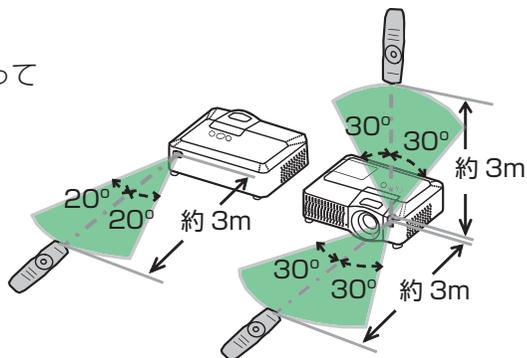


レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。

## リモコン信号について

本機のリモコンは、プロジェクターの受光部へ信号を送って機能します。

リモコンからの信号は、以下の範囲で有効です。  
 前面受光部／上面受光部： 左右に各 30°、距離約 3m まで  
 背面受光部： 左右に各 20°、距離約 3m まで  
 また本機のリモコン信号は、スクリーンなど、反射面によっては反射させて操作できる場合があります。

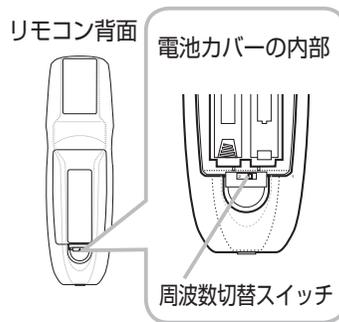


## リモコン信号の周波数を切り替える

本機のリモコンは、2種類の信号周波数を切り替えてご使用になれます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、周波数を切り替えると改善される場合があります。

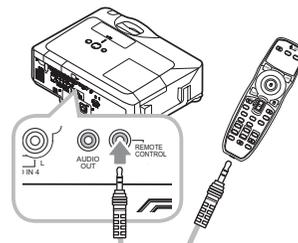
周波数を変更するには、リモコンとプロジェクターの受光部、両方の設定変更が必要です。設定が一致していないとリモコンが正常に動作しませんのでご注意ください。

1. リモコンの周波数切替スイッチを切り替えてください。リモコンの表示「1」は標準周波数モード、「2」は高周波数モードです。
2. プロジェクターの受光部を設定してください。「その他」メニュー(☰2-18)の「特別な設定」(☰2-20) - 「リモコン周波数」を選んで操作してください(☰2-22)。リモコンのスイッチで設定したのと同じモードを有効にしてください。



## 有線リモコンとして使用する

本機のREMOTE CONTROL端子と、本機のリモコンのワイヤードリモコン端子をΦ3.5ステレオミニプラグ付ケーブルで接続すると、有線リモコンとしてもご使用になれます。



### 警告



高温注意

●高温に注意する

排気口の近くにリモコンを置かないでください。



分解禁止

●分解しない、改造しない

リモコンを加工しないでください。

### お守りください

●リモコンに衝撃をあたえないでください

リモコンを投げたり落としたりしないでください。上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

●リモコンをぬらさないでください

水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

●リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコンは赤外線のプロジェクターに信号を送っています。(クラス1 LED 製品) リモコンとプロジェクターの受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。

●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

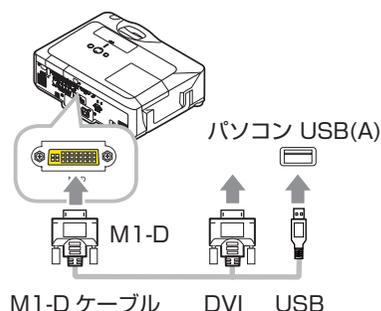
リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

## 簡易マウス／キーボードとして使う

本機のリモコンを簡易的なマウスやキーボードとしてご使用になることができます。

### ■接続

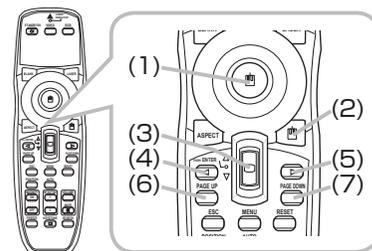
本機の M1-D 端子と、パソコンの USB (A) 端子を接続します。M1-D ケーブル (☐1-16) の M1 端子側を本機に接続し USB 端子側をパソコンに接続します。DVI 端子側の接続は不要です。



### ■リモコンボタンの機能

下記のリモコンのボタンがマウスやキーボードとして機能します。

- (1) マウス左ボタン  
垂直に押下すると、マウスの左ボタンとして機能します。  
上下左右または斜めに倒すと、マウスとして機能します。(画面上のマウスポインタを移動する)
- (2) マウス右ボタン  
押下すると、マウスの右ボタンとして機能します。
- (3) レバースイッチ  
▲表示の方へ倒すと、キーボードの「↑」キーとして機能します。  
▼表示の方へ倒すと、キーボードの「↓」キーとして機能します。
- (4) ◀ (左) カーソルボタン  
キーボードの「←」キーとして機能します。
- (5) ▶ (右) カーソルボタン  
キーボードの「→」キーとして機能します。
- (6) PAGE UP ボタン  
キーボードの PAGE UP キーとして機能します。
- (7) PAGE DOWN ボタン  
キーボードの PAGE DOWN キーとして機能します。



### お知らせ

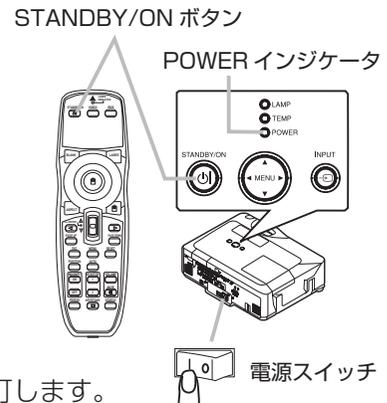
- 本機の簡易マウス／キーボード機能は、Windows 95 OSR 2.1 以上でご使用になれます。ただしパソコンの設定やマウスドライバによってはご使用になれない場合もあります。
- ノートパソコンなどで、トラックボールのようなポインティングデバイスが内蔵されている場合、本機の簡易マウス／キーボード機能をご使用になるには、あらかじめパソコンの BIOS メニューで内蔵のポインティングデバイスを無効、外部マウスを有効に設定してください。設定については、ご使用になるパソコンの説明書に従ってください。
- 本機の簡易マウス／キーボード機能では、ドラッグ&ドロップ操作を除き、2つ以上のボタンやスイッチの同時操作は無効です。
- 本機の簡易マウス／キーボード機能は、本機が正常動作しているときにのみ有効です。

# 投写

## 電源を入れる

1. 電源コードが正しく接続されているのを確認し、レンズカバーを外してください。
2. 電源スイッチの「I」が表示されている側を押してください。POWER インジケータが橙色に点灯します。この直後は、リモコンや操作パネルのボタンが利かないことがありますので、数秒お待ちください。
3. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。投写ランプが点灯し、POWER インジケータが緑色に点滅を始めます。

電源が起動すると、POWER インジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。



## 警告



### ●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

## お守りください

### ●電源を入れるときは他の機器より先に入れてください

接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

## ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する

ズームリングを左右にまわして、映像画面の大きさを調節してください。フォーカスリングを左右にまわして、映像の焦点を合わせてください。



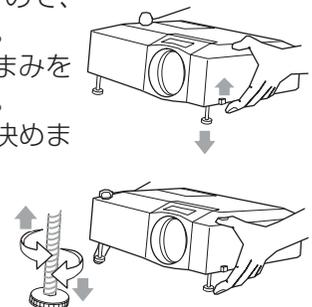
## 傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平面な設置面に対し、前上がりに最大 8°まで傾けることができます。



アジャスタ脚とアジャスタつまみは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタつまみを引き上げると、同じ側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて、脚の長さを変えられます。アジャスタ脚の固定がはずれると、プロジェクターが落ちることがありますので、アジャスタつまみはプロジェクターをきちんと支えながら操作してください。

1. 後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタつまみを引き上げてください。アジャスタ脚の長さを変えられるようになります。
2. アジャスタつまみを引き上げたまま、プロジェクターの位置（角度）を決めます。お好みの位置でアジャスタつまみを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3. 必要に応じて、アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。



## 警告

### ●衝撃をあたえない

アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。



### ●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

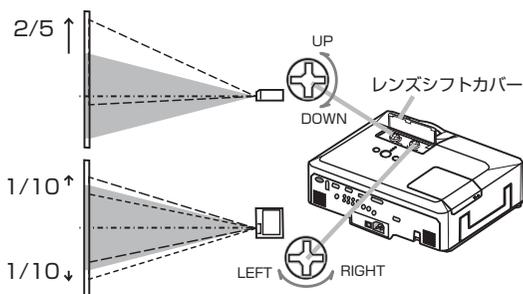
アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。

### ●傾けて使用しない。

傾けての使用は、前後方向（前上がり） $8^{\circ}$ 以内で設置してください。 $8^{\circ}$ 以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

## 画面位置を調節する

レンズシフトカバーを開けると、二つのレンズシフトダイヤルがあります。垂直レンズシフト（UP ↔ DOWN）ダイヤルで上下に、水平レンズシフト（LEFT ↔ RIGHT）ダイヤルで左右に、映像画面の位置を調節してください。



## 音量を調節する

■リモコンの VOLUME ボタンを押すと、音量調節のためのダイアログが表示されます。このダイアログが表示されている間、▲（上） / ▼（下）カーソルボタンで音量を調節できます。

■約 5 秒間調節を行わないか、もう一度 VOLUME ボタンを押すと、ダイアログが消えて音量の調節も終了します。



## 音声を消す

■音声を消したいときには MUTE ボタンを押してください。ダイアログが表示され、音声が消えます。ダイアログは約 5 秒で消えます。

■もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタンを押して音量の調節を開始すると、音声は復帰します。

## お知らせ

●「オーディオ」メニューの「スピーカー」で「」が選ばれているとき、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。（[P.2-14](#)）

●表示している映像信号入力端子に対応する音声入力端子が設定されていない場合は、音量調節は出来ません。映像信号入力端子と音声入力端子の連動については「オーディオ」メニューの「AUDIO」をご覧ください。（[P.2-14](#)）

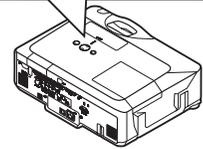
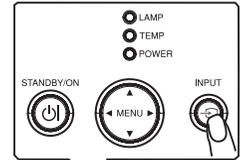
# 画面を調節する

## 入力信号を選ぶ

操作パネルで操作する。

- 操作パネルの INPUT ボタンを押すごとに受信端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に、以下の順序で切り替えます。

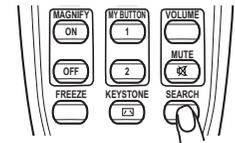
RGB1 → RGB2 → M1-D → MIU → COMPONENT → S-VIDEO → VIDEO  
 ↑ (Y,Cb/Pb,Cr/Pr)



入力信号を検索する。

- リモコンの SEARCH ボタンを押すと、正常な信号入力を検出するか起点に戻るまで、各端子を自動的に検索します。選択されていた端子を起点に、以下の順序で検索します。

RGB1 → RGB2 → M1-D → MIU → COMPONENT → S-VIDEO → VIDEO  
 ↑ (Y,Cb/Pb,Cr/Pr)

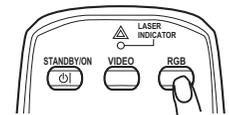


正常な入力信号が見つからない場合は、SEARCH ボタンを押した時の状態に戻って終了します。

リモコンで RGB 信号（コンピュータからの信号）を選ぶ。

- RGB ボタンを押すたびに、表示信号が切り替わります。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替えます。

RGB1 → RGB2 → M1-D → MIU  
 ↑

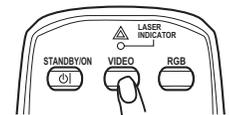


「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-18) の場合は、正常な入力信号を検出するか起点に戻るまで、各端子を自動的に検索します。選択されていた端子が RGB1、RGB2、M1-D、MIU のいずれかならその端子を起点に、それ以外なら RGB1 を起点に検索します。

リモコンでビデオ信号（DVD やビデオからの信号）を選ぶ

- VIDEO ボタンを押すたびに、表示信号が切り替わります。選択されていた端子を起点に以下の順序で表示信号が切り替わります。

COMPONENT → S-VIDEO → VIDEO  
 (Y,Cb/Pb,Cr/Pr)  
 ↑



「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-18) の場合は、正常な入力信号を検出するか起点に戻るまで、各端子を自動的に検索します。選択されていた端子が COMPONENT (Y,Cb/Pb,Cr/Pr)、S-VIDEO、VIDEO のいずれかならその端子を起点に、それ以外なら COMPONENT (Y,Cb/Pb,Cr/Pr) を起点に検索します。

### お知らせ

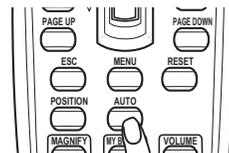
- 「オーディオ」メニューの「AUDIO」で、受信中の信号の入力端子に「」が選ばれているとき、音声は出力されません。(☑2-14)

## 画面の自動調整機能を使う

リモコンの AUTO ボタンを押すと水平位置、垂直位置、クロック位相、水平サイズ及び、アスペクトの自動調整が実行されます。但し表示中の信号によっては、調整項目が一部異なります。

映像をお好みに合わせて手動で操作、調節したい場合は「表示」メニュー（2-8）をご覧ください。

- RGB 信号（コンピュータからの信号）を表示しているときはアプリケーションの表示はウィンドウを最大化して実行してください。また、暗い映像では正しく調節されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。
- M1-D 信号（コンピュータからのデジタル映像信号）を表示しているときクロック位相は調整されません。
- 入力信号がビデオ、Sビデオ信号のときは入力信号に合わせた信号方式も自動的に選択されます。（「入力」メニュー（2-10）の「ビデオフォーマット」（2-11）が「オート」に設定されているとき）



### お知らせ

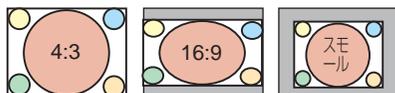
- 自動調整には 10 秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。

## アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

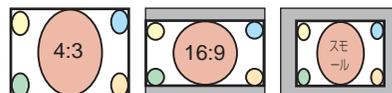
ASPECT ボタンを押すたびに、以下の順序で表示画面の縦横比が切り替わります。「ノーマル」では、表示中の信号の本来の縦横比で表示されます。

- RGB 信号（コンピュータからのアナログ映像信号）または MIU からの信号を表示しているとき  
ノーマル → 4:3 → 16:9 → スモール  
↑
- M1-D 信号（コンピュータからのデジタル映像信号）を表示しているとき  
ノーマル → 4:3 → 16:9 → 14:9 → スモール  
↑
- ビデオ信号（DVD やビデオからの信号）を表示しているとき  
4:3 → 16:9 → 14:9 → スモール  
↑
- 信号の入力がないとき  
4:3（固定）

入力信号が  
4:3 信号の例



入力信号が  
16:9 信号の例

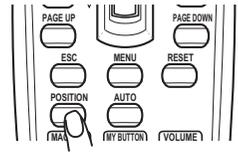


### お知らせ

- 自動調整（上記）が実行されると、アスペクトも入力信号に合わせて自動設定されます。

## 画面の位置を調節する

- POSITION ボタンを押すと「位置」と表示されます。表示されている間に、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶を操作して画面位置を調節してください。
- 調節を取り消すには RESET ボタンを押してください。「位置」と表示されている間に RESET ボタンを押すと、画面をもとの位置（信号を受信した時点の表示位置）に戻すことができます。
- 終了するには、もう一度 POSITION ボタンを押してください。「位置」の表示が消えて画面位置の調節を終了します。数秒間なにも操作をしなかったときにも画面位置の調節を終了します。

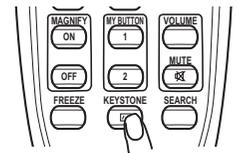


### お知らせ

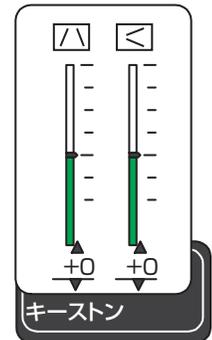
- ビデオ信号（DVD やビデオからの信号）を表示しているとき、画面位置を調節すると画面の外側に線などが映ることがあります。

## キーストン（台形歪み）を調節する

- KEYSTONE ボタンを押すとキーストンを調整するための操作ガイドが表示されます。



- カーソルボタン▲ / ▼でオートあるいはマニュアルを選択してください。
- オートはキーストン（台形歪（垂直））の自動調整を行います。カーソルボタン▶で実行してください。
- マニュアルはキーストン（台形歪（垂直））をカーソルボタンで調節できます。カーソルボタン◀ / ▶で垂直、水平を選択し、▲ / ▼で調節してください。
- 終了するには、もう一度 KEYSTONE ボタンを押してください。操作ガイド表示が消えてキーストンの調節を終了します。数秒間なにも操作をしなかったときにも調節を終了します。

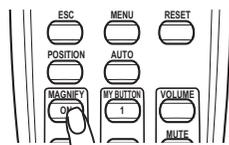


### お知らせ

- キーストンの調節範囲は入力信号によって異なります。また入力信号によっては正しく動作しないことがあります。
- スクリーンが傾いていたり、プロジェクターを下向きに投射させたりすると、正しく補正できないことがあります。
- ズーム調節が TELE 側に設定されていると、過補正となることがあります。この機能は、できるだけズーム調節を WIDE に設定してお使いください。
- 本機の傾きが（前後方向）約± 3°以下に設置されているとき、オートキーストンは動作しません。
- 本機の傾きが（前後方向）約± 30°以上に設置されているとき、オートキーストンは正しく動作しません。
- レンズシフトが上方向一杯でないとき、キーストン補正は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ FL-601 だけはレンズシフト下方向一杯で正しく動作します。（「その他」メニュー（☞2-18）の「特別な設定」（☞2-20） - 「レンズタイプ」（☞2-21）をご参照ください。）
- この機能は状態監視機能が有効のときは選択できません。（「その他」メニュー（☞2-18）の「セキュリティ」（☞2-26）をご参照ください。）

## 画面を拡大する

- MAGNIFY -ON ボタンを押すと画面は約 2 倍に拡大表示され、「拡大」表示が出て拡大機能が有効になります。数秒間なにも操作をしないと表示は消えます。
- 「拡大」と表示されている間に POSITION ボタンを押すと、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で拡大領域を選ぶことができます。
- 拡大位置の確定するにはもう一度 POSITION ボタンを押してください。拡大位置の確定とカーソルボタン▲/▼を拡大率調節機能に切替えます。
- 画面をみながらカーソルボタン▲/▼を操作して拡大率を調節してください。
- MAGNIFY -OFF ボタンを押すと「拡大」の表示が消え、拡大を終了します。

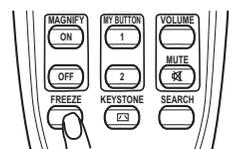


### お知らせ

- 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（自動調整やアスペクトの切替えなど）を実行したときにも画面の拡大を終了します。
- 拡大機能を有効にすると、キーSTONEの状態が正しく表示されないことがあります。拡大機能を終了すると、もとの状態に戻ります。

## 映像を静止させる

- FREEZE ボタンを押すと「静止」と表示され、映像が静止します。「スクリーン」メニュー（2-15）の「メッセージ」でメッセージを表示しないに設定している場合は「静止」表示はされません（2-16）
- 終了するには、もう一度 FREEZE ボタンを押してください。「静止」の表示が消えて終了します。

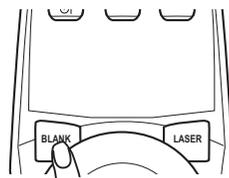


### お知らせ

- 入力信号が変化したときや、リモコンの STANBY/ON、SEARCH、RGB、VIDEO、BLANK、AUTO、ASPECT、VOLUME、MUTE、KEYSTONE、POSITION、MENU、MAGNIFY(-ON/-OFF)、MY BUTTON のいずれかのボタンを押したときにも映像の静止を終了します。
- プロジェクターは同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れてしないようご注意ください。

## 映像を一時的に消す

- BLANK ボタンを押すと、映像が消えて「ブランク画面」が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」（2-15）で設定できます。
- もう一度 BLANK ボタンを押すとブランク画面の表示が消え、もとの映像表示に戻ります。

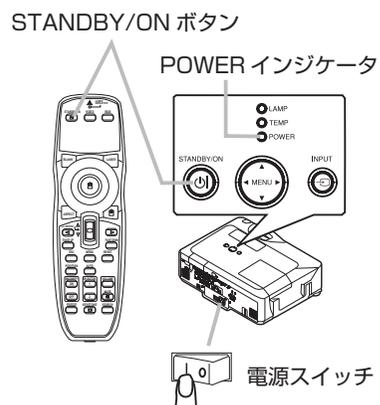


### お知らせ

- 入力信号が変化したときや、リモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンを押したときにも、ブランク画面の表示を終了します。また、コントロール端子がコマンド（Get コマンド除く）を受けた場合にも終了します。

## 電源を切る

1. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約5秒間表示されます。メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。
2. メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。ランプが消灯し、冷却動作を開始します。冷却動作中は POWER インジケータが橙色に点滅します。
3. 冷却が終わると POWER インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。電源スイッチの「○」と表示されている側を押してください。電源が切れて、POWER インジケータが消灯します。
4. レンズ部保護のためレンズカバーを閉じてください。



電源を切った後 10 分以上は、電源を入れないでください。本機の温度が十分に下がっていない状態で電源を頻繁に入れたり切ったりすると、ランプの寿命を縮めることがあります。

<b>警告</b>	
 高温注意	<p>●<b>高温に注意する</b>                  使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。</p>
 電源プラグをコンセントから抜け	<p>●<b>使用しないときは電源プラグを抜く</b>                  本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
<b>お守りください</b>	
<p>●<b>電源を切るときは他の機器より後に行ってください</b>                  接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。</p>	

# 点検とお手入れ

## ランプについてのご注意

### 警告

### 感電注意 高温注意 高圧注意

- 本機に使用のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです。このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。寿命にはランプによって大きな差があり、使用後もまもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。また、ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスがプロジェクターの通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。
- 使用済みランプの廃棄について 本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

- 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、プロジェクターの電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。飛び散ったガラス片によって、けがやプロジェクターの内部を傷つける原因となることがありますので、お客様によるプロジェクター内部の清掃やランプ交換はおやめください。
- 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、換気を十分ににして、プロジェクターの通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようご注意ください。
- ランプを交換するまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待ってランプを十分冷ましてください。高温状態での取扱いは火傷や破裂の原因となります。

- 天吊りや高所への設置状態ではプロジェクターのランプカバーを開けないでください。万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業は危険ですので、ランプが破裂していない場合でも、ランプ交換は必ず販売店にご依頼ください。
- ランプカバーを外した状態ではプロジェクターをご使用にならないでください。ランプ交換の後は、ネジなどがしっかりと止められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。ネジがゆるんでいたりランプカバーが外れたりすると、けがや故障の原因となることがあります。

- ランプは指定のものをご使用ください（ 1-31）。ランプを交換するときは、本書に指定の交換用ランプと型名が一致することを予めご確認ください。
- ランプを長時間ご使用になると映像が暗くなったり、ランプが破裂したり、点灯しなくなる場合があります。映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早目に交換してください。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。
- ランプがご使用開始後短時間で破裂した場合は、ランプ以外の電氣的障害をとまなっている場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。
- ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。
- ランプ交換の際は、エアフィルターも交換してください（ 1-32）。本機の交換用ランプに付属のエアフィルターをご使用いただけます。

## ランプの交換

ランプは寿命部品です。使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。また、ランプの寿命は個体差や使用条件によって大きなばらつきがあり、ご使用開始から比較的短期間で破裂したり、不点灯となる場合もあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

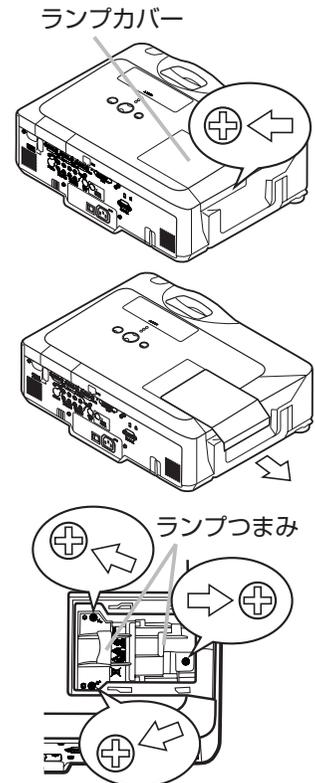
### 交換用ランプ：型名 CP-X605J 001 (DT00771)

また、本機の交換用ランプをご購入になると、本機用のエアフィルターが付属されています。ランプを交換するときはエアフィルターも交換してください。

1. プロジェクターの電源を切って (☑1-29) 電源プラグを抜き、45分以上放置して冷ましてください。
2. 新しいランプを用意してください。  
ランプが破裂したときや破裂したおそれのある場合、また天吊り設置など高所に設置されている場合は、ランプカバーを開けず、以降の作業を販売店にご依頼ください。お客様による交換作業は危険ですのでおやめください。

### <ご自分で交換する場合>

3. 図を参考に、ランプカバーのネジ (⇄) を緩めて、ランプカバーを外してください。
4. ランプを固定している3つのネジ (⇄) を緩め、ランプつまみを持って、ランプをゆっくり引き出してください。
5. 新しいランプを前のランプと同じように入れ、3つのネジ (⇄) をもとのように締めてください。
6. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ (⇄) を締めて固定してください。
7. プロジェクターの電源を入れ、「その他」メニュー (☑2-18) の「ランプタイマー」を使ってランプタイマーを初期化してください。詳細はメニュー表示に従ってください。(☑2-19)



## 警告



### ●お手入れするときは電源プラグを抜く

ランプを交換するまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待ってランプを十分冷ましてください。

## お守りください

### ●ランプタイマーについて

ランプタイマーはランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。ランプタイマーの初期化はランプの交換に合わせて行ってください。正しく行わないと、実際のランプの使用時間とランプタイマーの値が一致しません。

ランプを交換したら必ずランプタイマーを初期化してください。ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。

## エアーフィルターのお手入れ

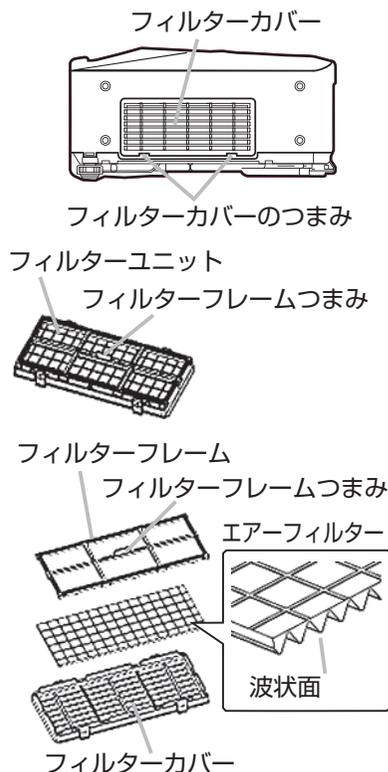
エアーフィルターやフィルターカバーがほこりや汚れなどで詰まったり、損傷していたりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。エアーフィルターは定期的にお手入れしてください。「エアーフィルターの掃除をお願いします」などのメッセージ表示が現れたときや、TEMP インジケータが赤く点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。

内部温度が上がりすぎると、安全のため、本機の電源が自動的に切れる場合がありますのでご注意ください。

エアーフィルターが損傷したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。あらかじめ交換用のエアーフィルターをご用意いただくことをお勧めします。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

### 交換用エアーフィルター： 型名 CP-X605J 002 (MU03642)

1. プロジェクターの電源を切って ( 1-29 ) 電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. フィルターカバーとその周辺を、掃除機で掃除してください。
3. フィルターユニットを本体から外します。フィルターカバーのつまみを持って手前に引き上げるようにしてください。
4. 本体のフィルターユニットがついていた部分、およびフィルターユニットのフィルターフレーム側 ( 本体に取り付けたとき内側になる側 ) を掃除機で掃除してください。  
エアーフィルターが傷んでいたり汚れがひどい場合は、フィルターユニットからフィルターフレームを外し、中のエアーフィルターを交換してください。交換後はフィルターユニットをもとのように組み立ててください。
5. フィルターユニットをもとのように本体に取り付けてください。
6. プロジェクターの電源を入れ、「その他」メニュー ( 2-18 ) の「フィルタータイマー」( 2-19 ) を使ってフィルタータイマーを初期化してください。詳細はメニュー表示に従ってください。



## 警告



### ●エアーフィルターを定期的にお手入れする

エアーフィルターは定期的にお手入れしてください。エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。エアーフィルターが傷んでいたり汚れがひどい場合は、新しいエアーフィルターと交換してください。必ず指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。

## お守りください

### ●フィルタータイマーについて

フィルタータイマーはエアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルタータイマーの初期化はエアーフィルターの掃除または交換に合わせて行ってください。正しく行わないと、実際のエアーフィルターの使用時間とフィルタータイマーの値が一致せず、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージも正しく表示されません。エアーフィルターを掃除または交換したら必ずフィルタータイマーを初期化してください。エアーフィルターを掃除も交換せずにフィルタータイマーを初期化しないでください。

## 内蔵時計用電池の交換

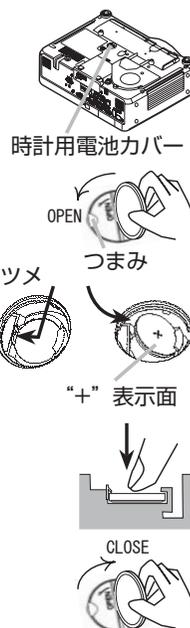
本機は電池式内蔵時計を備えています。電池が消耗すると、時計がくるったり止まったりすることがあります。この場合は電池を新しいものに交換してください。

1. プロジェクターの電源を切って ( 1-29 ) 電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. プロジェクターの底面を上に向けて置いてください。プロジェクターをぶつけたり落としたりしないよう、ご注意ください。
3. 電池カバーを外します。図を参考に、電池カバーの溝にコインなどを合わせて「OPEN」と表示されている方向に回し、電池カバーが浮いてきたらつまみあげて外してください。
4. 電池ケースから古い電池を取り外します。電池ケースの中のツメを押し、電池が浮いてきたらつまみあげて外してください。
5. 新しい電池をいれます。電池は必ず下記のものをご使用ください。

### 内蔵時計用電池：日立マクセル製、型名 CR2032

電池ケースの中の極性表示 ⊕ に従って、電池の一端を下 ( 中 ) に、+ 側を上 ( カバー側 ) にして入れてください。電池を軽く押し、電池ケースに固定してください。

6. 電池カバー閉じます。電池カバーの溝にコインなどを合わせて「CLOSE」と表示されている方向に回し、もとのように固定してください。



基本編

## 警告

- 電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。
- ▶電池ケースの極性表示 ( ⊕ , ⊖ ) に従って正しく入れてください。
- ▶交換するときは、必ず新しい ( 未使用の ) **日立マクセル製、型名 CR2032 のボタン型電池**を使用してください。
- ▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
- ▶子供やペットが届かないところに保管してください。
- ▶衝撃をあてないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶傷のある電池は使用しないでください。
- ▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- ▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則 ( 条例など ) に従ってください。



破裂注意

## お守りください

- もし電池を逆さまにいたら、以下の手順で外し、正しく入れなおしてください。

1. 電池カバーを外したまま底面を下にしてプロジェクターを置きなおしてください。
2. プロジェクターの前面 ( レンズ側 ) を持ち上げながら、電池ケースの中のツメを押すと、電池が外れて落ちて来ます。落として失くさないようご注意ください。

## 内部を点検、お手入れする

内部にホコリがたまった状態で使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

### 注意



- お客様による内部のお手入れは危険ですとおやめください。

## レンズのお手入れ

1. プロジェクターの電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを拭いてください。

### 注意



- ランプの点灯中はレンズから強い光が投射されています。視力障害などの原因となりますので絶対にのぞかないでください。



- 使用中や使用後しばらく、レンズや周辺は特に高温になります。火傷の原因となることがありますのでご注意ください。
- レンズを硬いもので傷つけないようにご注意ください。

## キャビネットやリモコンのお手入れ

1. プロジェクターの電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。  
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

### 注意



- 硬いもので傷つけないようにご注意ください。



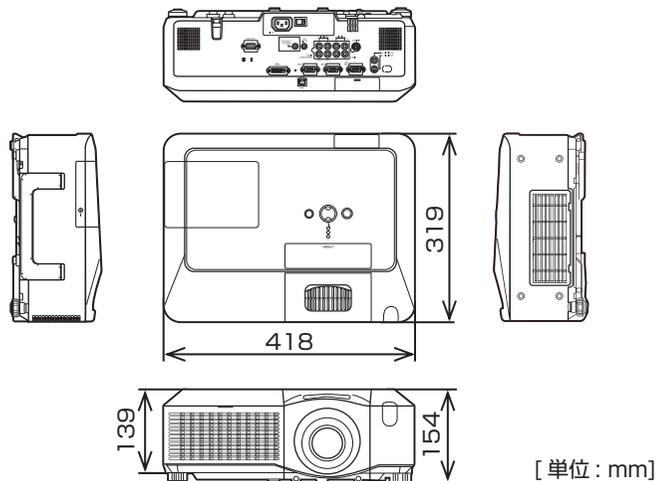
- 上記に指定されているもの以外、ベンジンやシンナーなどの洗剤や薬品は使用しないでください。
- 内部に水や洗剤を入れないでください。スプレーはご使用にならないでください。

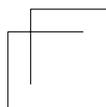
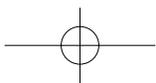
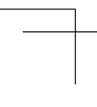
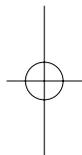
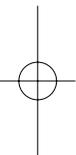
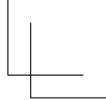
# 仕様

## 一般仕様

項目	仕様	
品名	液晶プロジェクター	
液晶 パネル	パネルサイズ	2.0 cm (0.79 型)
	駆動式	TFT アクティブマトリックス
	画素数	786,432 画素 (水平 1024 x 垂直 768)
レンズ	ズームレンズ F=1.7 ~ 2.1 f = 24 ~ 29 mm	
ランプ	285 W UHB	
スピーカー	4 W x4	
電源/消費電力	AC 100-120V/5.0A, AC220-240V/2.1A / 460 W	
使用温度範囲	5 ~ 35° C	
外形寸法/質量	418 (幅) x 139 (高さ) x 319 (奥行) mm (下図ご参照) / 7.1 kg	
端子	<b>RGB 信号入力</b> RGB1..... D サブ 15 ピンミニ x1 RGB2..... D サブ 15 ピンミニ x1 <b>RGB 信号出力</b> RGB OUT D サブ 15 ピンミニ x1 <b>デジタル信号入力</b> M1-D.....M1-D x1 <b>ビデオ信号入力</b> Y,Cb/Pb,Cr/Pr.....RCA x3 S-VIDEO..... ミニ DIN 4ピン x1 VIDEO.....RCA x1 <b>音声信号入力</b> AUDIO IN1 .....ステレオミニ x1 AUDIO IN2..... ステレオミニ x1 AUDIO IN3.....RCA x2 AUDIO IN4.....RCA x2 <b>RS-232C 通信</b> CONTROL .....D サブ 9 ピン x1 <b>その他</b> REMOTE CONTROL ..ステレオミニ x1 AUX I/O ..... USB(A) x1 SD card slot ..... x1	
別売品	ランプ : CP-X605J 001 (DT00771) エアフィルター : CP-X605J 002 (MU03642) ケーブル (M1 ケーブル) : CP-X1200JA 027 (EZ01661) ※その他については販売店にご相談ください。	

## 外形寸法





# 取扱説明書

液晶プロジェクター

型名 CP-X608

## 【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節をおこなうメニュー機能の詳細およびその他技術情報について説明します。

応用編

### はじめに

ご使用の前に、必ず本書の【基本編】、【応用編】、【MIU 編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

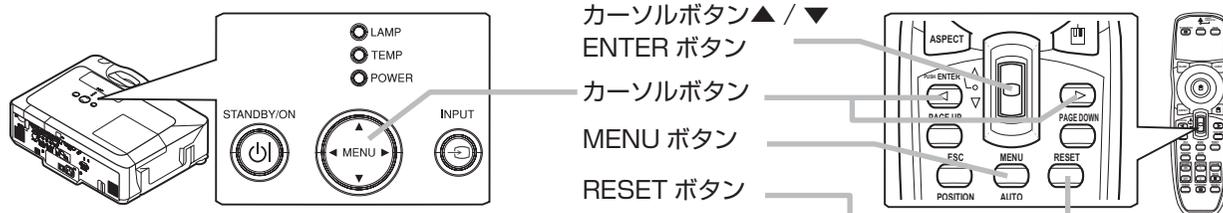
## もくじ

基本編	1 - 1	故障かなと思ったら	2 - 33
設定・調節	2 - 2	メッセージについて	2 - 33
メニュー機能の使い方	2 - 2	インジケータ表示について	2 - 34
簡単メニュー	2 - 3	故障と間違えやすい現象について	2 - 36
映像メニュー	2 - 5	技術情報	2 - 38
表示メニュー	2 - 8	パソコン信号について	2 - 38
入力メニュー	2 - 10	入出力信号端子について	2 - 40
設置メニュー	2 - 13	RS-232C 通信について	2 - 44
オーディオメニュー	2 - 14	MIU 編	3 - 1
スクリーンメニュー	2 - 15	保証とアフターサービスについて	
その他メニュー	2 - 18	(必ずお読みください)	
MIU メニュー	2 - 28		

# 設定・調節

## メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節にはメニュー機能をご使用ください。本機には、よく使われる機能をまとめた簡単メニューと、機能別に分類した詳細メニューがあります。詳細メニューには「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「MIU」の8個のメニューがあります。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



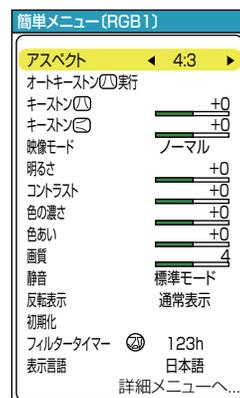
1. 操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶のいずれか、またはリモコンのMENU ボタンを押してください。簡単メニューまたは詳細メニューは、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず簡単メニューが表示されます。

## 簡単メニュー

1. カーソルボタン▲ / ▼で、操作したい項目を選んでください。
2. カーソルボタン◀ / ▶で、選択した項目の設定・調節を行ってください。
3. 詳細メニューに切り替えたいときは、「詳細メニューへ」を選び、カーソルボタン▶（またはENTER ボタン）を押してください。

■操作の途中でRESET ボタンを押すと、調節をもと（その信号を受信した時点）の状態にもどすことができます。ただし、「表示言語」や「フィルタータイマー」などの項目はもとにもどりません。

■MENU ボタンを押すと、メニュー表示が消えて操作が終了します。MENU ボタンを押さなくても、数秒間なにも操作しないと、自動的にメニュー表示が消えて操作を終了します。



簡単メニュー

## 詳細メニュー

1. カーソルボタン▲ / ▼で、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「MIU」のいずれかを選んでください。
2. カーソルボタン▶（またはENTER ボタン）を押すと、選択した項目を操作するための表示が現れます。
3. 表示に従って、カーソルボタン▲ / ▼で設定してください。
4. 簡単メニューに切り替えたいときは「簡単メニューへ」を選んで、カーソルボタン▶（またはENTER ボタン）を押してください。

■操作の途中でRESET ボタンを押すと、調節をもと（その信号を受信した時点）の状態にもどすことができます。ただし、「表示言語」や「クロック位相」、「音量」などの項目はもとにもどりません。

■カーソルボタン◀（またはESC ボタン）を押すと、その操作を終了して一つ前のメニュー表示に戻ることができます。

■MENU ボタンを押すと、メニュー表示が消えて操作が終了します。MENU ボタンを押さなくても、数秒間なにも操作しないと、自動的にメニュー表示が消えて操作が終了します。



詳細メニュー



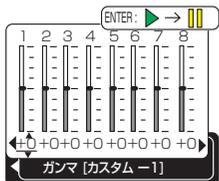
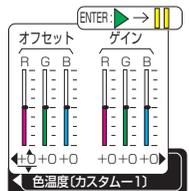
## 簡単メニュー（つづき）

項目	操作内容
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。 「映像」メニューの「色の濃さ」(☞2-5)をご参照ください。
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、色あいを調節できます。 「映像」メニューの「色あい」(☞2-5)をご参照ください。
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。 「映像」メニューの「画質」(☞2-6)をご参照ください。 <b>お知らせ</b> ●選択した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
静音	カーソルボタン◀ / ▶で、標準モード / 静音モードを選択できます。 「設置」メニューの「静音」(☞2-13)をご覧ください。
反転表示	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転することができます。 「設置」メニューの「反転表示」(☞2-13)をご参照ください。 <b>お知らせ</b> ●状態監視機能を有効にした状態で反転モードを変更し、電源スイッチを切ると再び電源を入れた際、状態監視アラームが表示されます。(☞2-26)
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、確認のためのダイアログが表示されます。 初期化する ← 初期化しない 初期化を実行するときは、カーソルボタン▲を押して「初期化する」を選択してください。 <b>お知らせ</b> ●「フィルタータイマー」と「表示言語」は初期化されません。
フィルタータイマー	フィルタータイマーの初期化をします。 「その他」メニューの「フィルタータイマー」(☞2-19)をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 「スクリーン」メニューの「表示言語」(☞2-15)をご参照ください。 <b>お知らせ</b> ●静止画転送を使用しているときは、表示言語が正しく切り替わらないことがあります。
詳細メニューへ ...	カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「簡単メニュー」を詳細メニュー（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「スクリーン」、「その他」、「オーディオ」および「MIU」メニュー）に切り替えられます。 詳細メニューには、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にご活用ください。(☞2-5 ~ ☞2-32)

# 映像メニュー

映像メニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。

メニュー [RGB1]		◎:選択
映像	明るさ	+0
表示	コントラスト	+0
入力	ガンマ	デフォルト-1
設定	色温度	中
オーディオ	色の濃さ	+0
スクリーン	色あい	+0
その他	画質	4
MIU	アクティブアイリス	オフ
簡単メニュー	マイメモリー	セーブ1

項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン▲/▼で、映像の明るさを調節できます。 明るく ↔ 暗く
コントラスト	カーソルボタン▲/▼で、コントラストを調節できます。 強く ↔ 弱く
ガンマ	<p>カーソルボタン▲/▼で、ガンマモードを選択できます。                      ガンマモードはガンマ値を設定/調節するためのモードです。</p> <p>#1 デフォルト ↔ #1 カスタム ↔ #2 デフォルト ↔ #2 カスタム ↔ #3 デフォルト                      ↓                      #5 カスタム ↔ #5 デフォルト ↔ #4 カスタム ↔ #4 デフォルト ↔ #3 カスタム</p> <p><b>カスタムモード</b></p> <p>名称に「カスタム」のつくガンマモードは、お好みに合わせて調節できます。                      (1) 「カスタム」のつくガンマモードを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、右図のような調節メニューが表示されます。                      (2) カーソルボタン◀/▶で操作したい項目を選び、カーソルボタン▲/▼で、レベルを調節してください。</p>  <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カスタムモードの調節メニューが表示されているときに ENTER ボタンを押すと、調節の目安となるテストパターンが表示されます。ガンマおよび色温度のカスタムモードの調節手順 (2-7) をご覧ください。</li> <li>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</li> </ul>
色温度	<p>カーソルボタン▲/▼で、色温度を設定するための色温度モードを切り替えられます。                      色温度モードは、色温度を設定/調節するためのモードです。</p> <p>高 ↔ 高カスタム ↔ 中 ↔ 中カスタム ↔ 低 ↔ 低カスタム                      ↓                      ハイブライต์-2 カスタム ↔ ハイブライต์-2 ↔ ハイブライต์-1 カスタム ↔ ハイブライต์-1</p> <p><b>カスタムモード</b></p> <p>名称に「カスタム」のつく色温度モードは、お好みに合わせて調節できます。                      (1) 「カスタム」のつく色温度モードを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、右図のような調節メニューが表示されます。                      (2) カーソルボタン◀/▶で操作したい項目を選び、カーソルボタン▲/▼で、レベルを調節してください。</p>  <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カスタムモードの調節メニューが表示されているときに ENTER ボタンを押すと、調節の目安となるテストパターンが表示されます。ガンマおよび色温度のカスタムモードの調節手順 (2-7) をご覧ください。</li> <li>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</li> </ul>
色の濃さ	<p>カーソルボタン▲/▼で、色の濃さを調節できます。 濃く ↔ 淡く</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この項目は RGB 信号では選択できません。</li> </ul>
色あい	<p>カーソルボタン▲/▼で、色合いを調節できます。 緑っぽく ↔ 赤っぽく</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この項目は RGB 信号では選択できません。</li> </ul>

応用編



## ガンマおよび色温度のカスタムモードの調節手順

1. テストパターンを表示します。

「ガンマ」または「色温度」でカスタムモードの調節メニューが表示されているとき、ENTER ボタンを押すと右図のようなテストパターンが表示されます。

このテストパターンは、ENTER ボタンを押すごとに、以下のように変化します。お好みのパターンをお選びになり、これをご参考に調節を行ってください。

パターンなし → グレイスケール（9 ステップ） →  
← グレイスケール（15 ステップ） ← ランプ波形

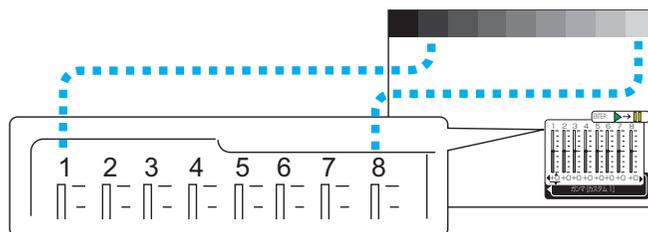
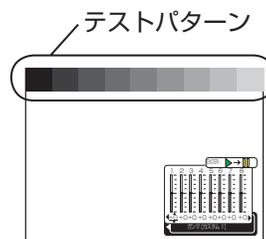
2. カーソルボタン◀ / ▶で調節したい要素の調節バーを選び、カーソルボタン▲ / ▼で調節します。

### ■ガンマのカスタムモード

この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。

8つの調節バーは、テストパターン（9 ステップ）の最も暗い階調（左端）を除く8つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から2番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。

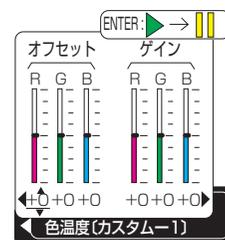
カーソルボタン◀ / ▶で階調を選び、カーソルボタン▲ / ▼でガンマを調節してください。



### ■色温度のカスタムモード

この機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調上の色温度を変更できます。

カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、▲ / ▼ボタンでレベルを調節してください。



# 表示メニュー

映像メニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。

メニュー [RGB]		選択
映像	アスペクト	4:3
表示	オーバースキャン	5
入力	垂直位置	25
設置	水平位置	142
オーディオ	クロック位相	16
スクリーン	水平サイズ	1344
その他	オートアジャスト実行	
MIU		
簡単メニュー		

設定項目	操作内容
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン▲/▼で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。</p> <p>RGB 信号入力の場合：                      ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ スモール                      ↑ ↑ ↑</p> <p>M1-D 信号入力の場合：                      ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 14:9 ↔ スモール                      ↑ ↑ ↑ ↑</p> <p>ビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ信号入力の場合：                      4:3 ↔ 16:9 ↔ 14:9 ↔ スモール                      ↑ ↑ ↑</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。</li> <li>●信号の入力がないときは 4:3 (固定) です。</li> </ul>
オーバースキャン	<p>カーソルボタン▲/▼で、オーバースキャン(表示率)を調節できます。                      大きく(画像は小さくなります) ↔ 小さく(画像は大きくなります)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ信号入力の場合のみ調節が可能です。</li> <li>●表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。</li> </ul>
垂直位置	<p>カーソルボタン▲/▼で、画面の位置を上下に調節できます。                      上へ ↔ 下へ</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●設定によっては位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、位置を初期化して戻してください。「垂直位置」を選択した状態で RESET ボタンを押すと「垂直位置」が初期化されます。</li> <li>●ビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ信号入力の場合の調節範囲は、オーバースキャンの設定に依存します。オーバースキャンが 10 に設定されている場合、調節できません。</li> </ul>
水平位置	<p>カーソルボタン▲/▼で、画面の位置を左右に調節できます。                      左へ ↔ 右へ</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●設定によっては位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、位置を初期化して戻してください。「水平位置」を選択した状態で RESET ボタンを押すと「水平位置」が初期化されます。</li> <li>●ビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ信号入力の場合の調節範囲は、オーバースキャンの設定に依存します。オーバースキャンが 10 に設定されている場合、調節できません。</li> </ul>
クロック位相	<p>カーソルボタン▲/▼で、クロック位相を調節してください。                      画像をみながら、ちらつきがなくなるように調節してください。                      左へ ↔ 右へ</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●RGB またはコンポーネントビデオ信号入力の場合のみ調節が可能です。</li> </ul>

## 表示メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>水平サイズ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の横幅を調節できます。</p> <p>大きく ↔ 小さく</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には「水平サイズ」を選択した状態で RESET ボタンを押してください。「水平サイズ」が初期化されます。</li> <li>● RGB 信号入力するときのみ調節が可能です。</li> </ul>
<p>オートアジャスト実行</p>	<p>この機能は「表示」メニュー上で「オートアジャスト実行」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。</p> <p>水平位置、垂直位置、クロック位相、水平サイズ及びアスペクトの自動調整が実行されます。調整内容は、表示中の信号によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ RGB 信号（コンピュータからの信号）を表示しているときはアプリケーションの表示はウィンドウを最大化して実行してください。また、暗い映像では正しく調節されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</li> <li>■ M1-D 信号（コンピュータからのデジタル映像信号）を表示しているときは、クロック位相は調整されません。</li> <li>■ 入力信号がビデオ、Sビデオ信号のときは入力信号に合わせた信号方式も自動的に選択されます。（「入力」メニューの「ビデオフォーマット」（<b>2-11</b>）が「オート」に設定されているとき）</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自動調整には 10 秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。</li> </ul>

# 入力メニュー

入力メニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。



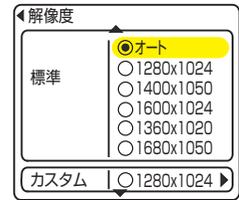
設定項目	操作内容
プログレッシブ	<p>カーソルボタン▲/▼で、プログレッシブモードを選択できます。                      プログレッシブモードはインターレース信号を補正する方法を決めるためのモードです。  <b>TV ↔ フィルム ↔ オフ</b></p> <p>↑ ↑</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、ビデオ、S-ビデオ、525i(480i) または 625i(576i) コンポーネントビデオ信号などのインターレース信号が入力された場合に動作します。</li> <li>●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。しかし物体がすばやく移動するシーンでは、線がギザギザになるなど、表示に不具合が出る場合があります。このような場合には「オフ」を選択してください。</li> </ul>
VIDEO NR	<p>カーソルボタン▲/▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。  <b>強 ↔ 中 ↔ 弱</b></p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、ビデオ、S-ビデオ、525i (480i) または 625i (576i) コンポーネントビデオなどのインターレース信号が入力された場合に有効です。</li> <li>●この機能により画質が劣化することがあります。このような場合には「中」「弱」を選択してください。</li> </ul>
三次元 YC 分離	<p>カーソルボタン▲/▼で、映像ノイズの 3D-YCS モードを選択できます。                      3D-YCS モードは、YC 分離の方式を決めるためのモードです。  <b>静止画 ↔ 動画 ↔ オフ</b></p> <p>↑ ↑</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、NTSC と PAL のビデオ信号が入力された場合に有効です。</li> <li>●動画モードは映画のように動きの多い映像のためのモードです。</li> <li>●静止画モードはスライドのように動きの少ない映像のためのモードです。</li> </ul>
色空間	<p>カーソルボタン▲/▼で、色空間モードを選択できます。                      色空間モードは、色を表す方式を設定するためのモードです。「オート」を選択すると適切な色空間モードが自動選択されます。  <b>オート ↔ RGB ↔ SMPTE240 ↔ REC709 ↔ REC601</b></p> <p>↑ ↑</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● VIDEO、S-VIDEO、および COMPONENT 端子からの 525i(480i)、625i(576i) コンポーネントビデオ信号、SCART RGB 信号入力の際は選択できません。</li> <li>●信号によってはオートが正しく動作しない場合がありますので、このような場合には、オート以外で入力信号に合う設定を選択してください。</li> </ul>
COMPONENT	<p>カーソルボタン▲/▼で、COMPONENT (Y、Cb/Pb、Cr/Pr) 端子の機能を切り替えることができます。  <b>COMPONENT ↔ SCART RGB</b></p> <p>「SCART RGB」を選択すると、COMPONENT 端子は SCART ケーブルや SCART アダプタを使用して RGB 信号の入力端子として機能し、VIDEO 端子は同期信号の入力端子として機能します。</p> <p>VIDEO G B R SCART アダプタ</p>

## 入メニュー（つづき）

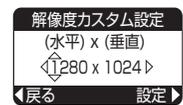
設定項目	操作内容																								
<p>ビデオ フォーマット</p>	<p>S-VIDEO 端子と VIDEO 端子の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定します。</p> <p>(1) カーソルボタン◀/▶で入力端子を選択します。  <b>S-VIDEO ↔ VIDEO</b></p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で、その端子からの入力信号のビデオフォーマット（信号方式）を選択してください。  <b>オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM</b>          ↓  <b>N-PAL ↔ M-PAL ↔ NTSC 4.43</b></p> <p>「オート」を選択すると、適切な信号モードが自動選択されます。</p> <div data-bbox="1130 368 1376 606" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ビデオフォーマット</p> <table border="0"> <tr> <td>S-VIDEO</td> <td>VIDEO</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>●</td> <td>オート</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>NTSC</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>▶ PAL</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>SECAM</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>NTSC4.43</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>M-PAL</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>N-PAL</td> </tr> </table> </div> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、ビデオ信号入力、S-ビデオ信号入力の際のみ有効です。</li> <li>●この機能は、信号入力によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかない、など）には、入力信号に合った信号モードを選択してください。</li> <li>●「オート」の実行には 10 秒程度の時間がかかります。</li> </ul>	S-VIDEO	VIDEO		○	●	オート	○	○	NTSC	○	○	▶ PAL	○	○	SECAM	○	○	NTSC4.43	○	○	M-PAL	○	○	N-PAL
S-VIDEO	VIDEO																								
○	●	オート																							
○	○	NTSC																							
○	○	▶ PAL																							
○	○	SECAM																							
○	○	NTSC4.43																							
○	○	M-PAL																							
○	○	N-PAL																							
<p>M1-D</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、M1-D 信号モード（下表）を選択できます。</p> <p><b>ノーマル ↔ 拡張</b></p> <table border="1" data-bbox="435 878 1365 968"> <thead> <tr> <th>M1-D 信号モード</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。</td> </tr> <tr> <td>拡張</td> <td>VGA 信号レベル（0-255）に合わせます。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするとき、M1-D 信号モードを切り替えると改善される場合があります。</li> </ul>	M1-D 信号モード	機能	ノーマル	DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。	拡張	VGA 信号レベル（0-255）に合わせます。																		
M1-D 信号モード	機能																								
ノーマル	DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。																								
拡張	VGA 信号レベル（0-255）に合わせます。																								
<p>フレームロック</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、フレームロック機能を設定 / 解除できます。</p> <p>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示するための機能です。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、垂直周波数が 50 ~ 60Hz の RGB 信号入力の際のみ有効です。</li> <li>●この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」を選択してください。</li> </ul>																								
<p>RGB イン</p>	<p>RGB IN1 端子と RGB IN2 端子の、SYNC. ON G.（シンク・オン・グリーン）信号入力有効 / 無効を設定します。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で入力端子を選択します。  <b>RGB1 ↔ RGB2</b></p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で、RGB IN モードを選択できます。  <b>SYNC ON G オン ↔ SYNC ON G オフ</b></p> <div data-bbox="1091 1459 1373 1583" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>RGB-イン</p> <table border="0"> <tr> <td>RGB1</td> <td>RGB2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>● ▶ SYNC ON G オン</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ ▶ SYNC ON G オフ</td> </tr> </table> </div> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SYNC ON G オンを設定すると、その端子からの SYNC. ON G. 信号の入力が有効になります。SYNC ON G オフを設定すると、その端子からの SYNC. ON G. 信号の入力が無効になります。</li> <li>● SYNC ON G オンを設定すると、入力信号によっては映像が正しく表示されなくなる場合があります。この場合は、信号ケーブルを外して無信号の状態にし、SYNC ON G オフを設定してから、信号を再入力してください。</li> </ul>	RGB1	RGB2		○	○	● ▶ SYNC ON G オン	○	○	○ ▶ SYNC ON G オフ															
RGB1	RGB2																								
○	○	● ▶ SYNC ON G オン																							
○	○	○ ▶ SYNC ON G オフ																							

## 入力メニュー（つづき）

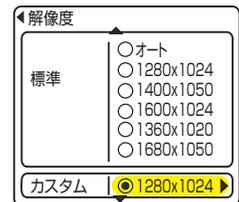
設定項目	操作内容
<p>解像度</p>	<p>RGB1 と RGB2 の入力信号の解像度を設定します。カーソルボタン▲/▼で表示したい解像度を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）で決定します。</p> <p>■標準： 水平位置と垂直位置、クロック位相、水平サイズが自動的に調整され、アスペクト比が自動的に選択されます。オートは、入力信号に応じた解像度が自動的に設定されます。「インフォメーション」が表示されます（<a href="#">図2-22</a>）。</p> <p>■カスタム： 「カスタム」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「解像度カスタム設定」の操作ガイドが表示されます。ガイドに従い、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「水平」と「垂直」の解像度を設定してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>カスタム設定の保存：</b> カーソルを数値の右端の桁に置いて、▶ボタンを押します。水平位置と垂直位置、クロック位相、水平サイズが自動的に調整され、アスペクト比が自動的に選択されます。「インフォメーション」が約10秒間表示されてから、「解像度」メニューに戻ります。このメニューには選択した解像度が表示されています。</li> <li>・ <b>カスタム設定の変更を保存せずに以前の解像度に戻る場合：</b> カーソルを数値の左端の桁に置いて、◀ボタンを押します。画面は「解像度」メニューに戻り、以前の解像度が表示されます。</li> </ul>



解像度メニュー

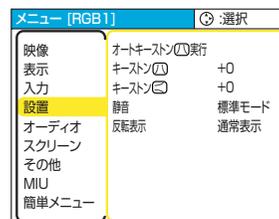


解像度カスタム設定



# 設置メニュー

設置メニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
オートキーストン ☑ 実行	カーソルボタン▶を押すと、キーストン（台形歪み（垂直））の自動調整を実行します。 オートキーストンを実行すると自動調整が一回動作します。本機の傾きを変えた場合は、再度オートキーストンを実行してください。
キーストン ☑	カーソルボタン▲/▼でキーストン（台形歪み（垂直））を調節できます。 画像の上側を小さく ↔ 画像の下側を小さく
キーストン ☑	カーソルボタン▲/▼でキーストン（台形歪み（水平））を調節できます。 画像の右側を小さく ↔ 画像の左側を小さく
静 音	静音モードの有効化 / 無効化を設定できます： カーソルボタン▲/▼で静音モードの有効化 / 無効化を設定してください。 標準モード ↔ 静音モード 「静音モード」を選択すると、プロジェクターが動作中に発する騒音を低減することができます。静音モードでは画像の明るさもやや抑えられます。
反転表示	カーソルボタン▲/▼で反転表示を選択できます。 通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転 

応用編

## お知らせ

- キーストンの調節範囲は入力信号によって異なります。また入力信号によっては正しく動作しないことがあります。
- スクリーンが傾いていたり、プロジェクターを下向きに投映させたりすると、正しく補正できないことがあります
- ズーム調節が TELE 側に設定されていると、過補正となることがあります。この機能は、できるだけズーム調節を WIDE に設定してお使いください。
- 本機の傾きが（前後方向）およそ 0°（約± 3°以下）に設置されているとき、オートキーストンは動作しません。
- 本機の傾きが（前後方向）およそ± 30°以上に設置されているとき、オートキーストンは正しく動作しません。
- レンズシフトが上方向一杯でないとき、キーストン補正は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ FL-601 だけはレンズシフト下方向一杯で正しく動作します。（☑2-21）
- キーストンの調整機能は状態監視機能（☑2-26）が有効のときは選択できません。

# オーディオメニュー

オーディオメニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
音量	カーソルボタン▲/▼で音量を調節できます。 大きく ↔ 小さく
高音	カーソルボタン▲/▼で高音の音量を調節できます。 大きく ↔ 小さく
低音	カーソルボタン▲/▼で低音の音量を調節できます。 大きく ↔ 小さく
SRS WOW 	カーソルボタン▲/▼で SRS WOW モードを選択できます。 強 ↔ 中 ↔ 弱 SRS WOW は、自然な立体音場を実現します。 お好みによってモードを選択してください。
スピーカー	カーソルボタン▲/▼で内蔵スピーカーの有効/無効を選択できます。 有効 ↔ 無効 無効が選択されているときは、内蔵スピーカーが動作しません。
AUDIO	<p>音声信号の入力端子をどの映像信号の入力端子に連動させるかを設定します。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で設定する映像信号を選択してください。</p> <p>RGB1 ↔ RGB2 ↔ M1-D ↔ MIU →                  ↑ VIDEO ↔ S-VIDEO ↔ COMPONENT</p> <p>(2) カーソルボタン◀/▶で連動させる音声信号の入力端子を設定してください。</p> <p>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ ㊄ (↔ M)</p> <p>1 を選択：映像信号に連動して AUDIO IN1 の音声が出力されます。                  2 を選択：映像信号に連動して AUDIO IN2 の音声が出力されます。                  3 を選択：映像信号に連動して AUDIO IN3 の音声が出力されます。                  4 を選択：映像信号に連動して AUDIO IN4 の音声が出力されます。                  ㊄ を選択：映像信号に連動せず、音声は出力されません。音量、MUTE 等の「オーディオ」メニュー全て動作しません。                  M を選択：映像信号に連動して MIU 入力の音声が出力されます。MIU 入力以外には設定できません。</p> <p>■カーソルボタン▶を押しても操作は終了しません。MENU ボタンを押すか、10 秒間何も操作しないと終了します。また、カーソルボタン▲で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀を押すと「オーディオ」メニューに戻ります。</p> <p><b>お知らせ</b>                  ●初期設定は上図の設定となります。</p>



# スクリーンメニュー

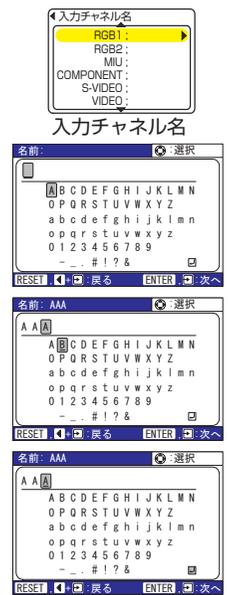
スクリーンメニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
表示言語	<p>カーソルボタン▲/▼でメニュー表示言語を選択できます。</p> <p>ENGLISH ⇄ FRANÇAIS ⇄ DEUTSCH ⇄ ESPAÑOL ⇄ ITALIANO                      ↓                      NORSK ⇄ NEDERLANDS ⇄ PORTUGUÊS ⇄ 日本語                      ↓                      簡体中文 ⇄ 繁體中文 ⇄ 한글 ⇄ SVENSKA ⇄ РУССКИЙ                      ↓                      SUOMI ⇄ POLSKI ⇄ TÜRKÇE</p>
メニュー位置	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶でメニュー位置を調節できます。</p> <p>上                      ↑                      左 ← → 右                      ↓                      下</p> <p>■カーソルボタン▶を押しても操作は終了しません。MENU ボタンを押すか、10 秒間何も操作しないと終了します。</p>
ブランク	<p>カーソルボタン▲/▼でブランク画面を選択できます。                      「ブランク画面」は BLANK ボタンを押したときに投映される映像です。</p> <p>マイスクリン ⇄ オリジナル ⇄ 青 ⇄ 白 ⇄ 黒</p> <p>↑</p> <p>「マイスクリン」にはお好みの映像を登録できます。（「マイスクリン」( 2-16) をご参照ください。）                      オリジナルは標準映像です（投映してご確認ください）。「青」「白」「黒」は各色の無地の画面です。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●プロジェクターは、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。</p>
初期画面	<p>カーソルボタン▲/▼で初期画面を選択できます。                      「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない（入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など）ときに投映される映像です。</p> <p>マイスクリン ⇄ オリジナル ⇄ 表示しない</p> <p>↑</p> <p>「マイスクリン」にはお好みの映像を登録できます。（「マイスクリン」( 2-16) をご参照ください。）オリジナルは標準映像です。（投映してご確認ください）。「表示しない」を選ぶと「黒」の無地画面が使用されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●プロジェクターは、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。                      ●この機能はマイスクリンパスワード ( 2-24) が有効に設定されているとき選択できません。マイスクリン設定に固定されます。</p>

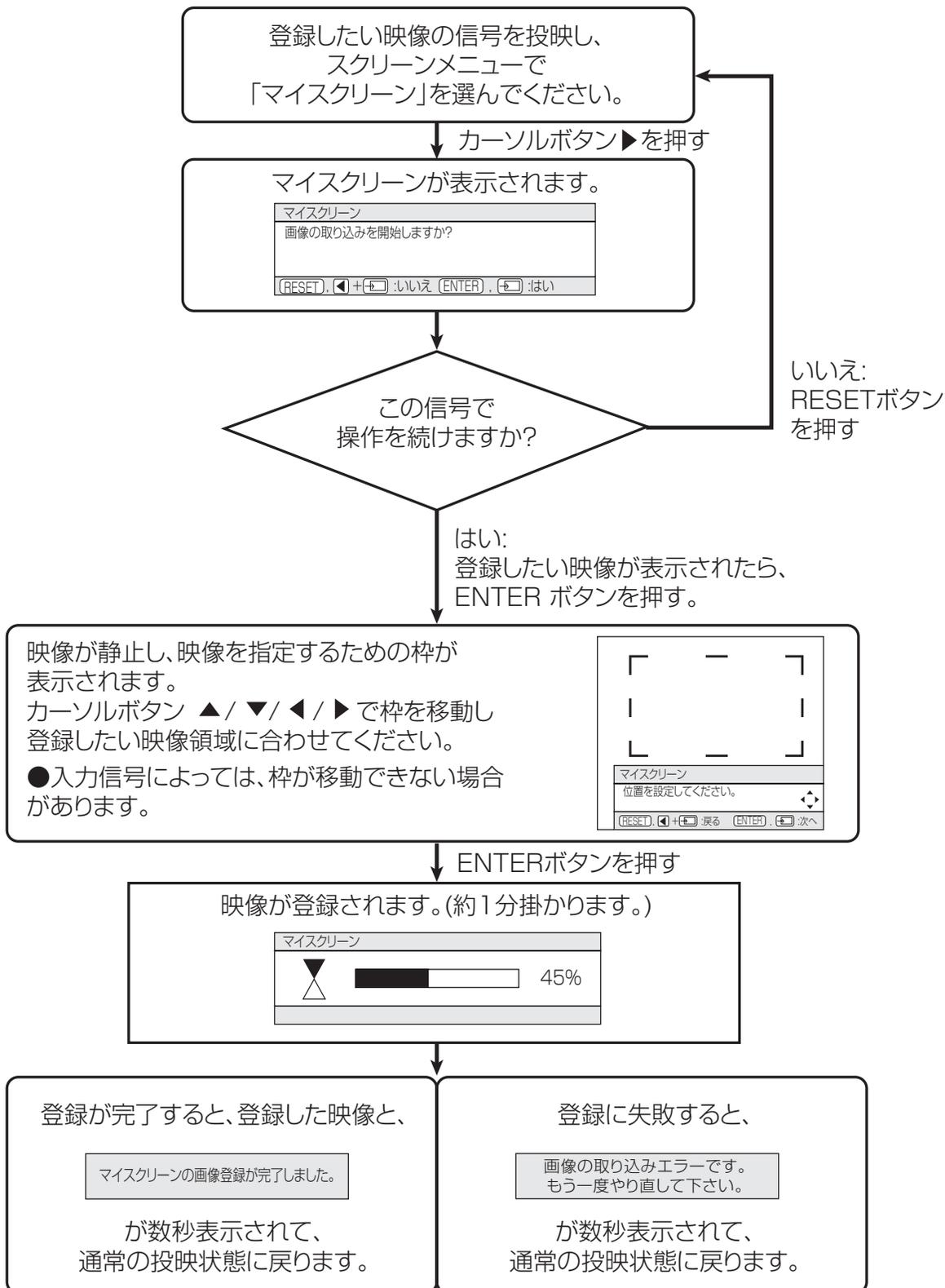
応用編

## スクリーンメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーン</p>	<p>「初期画面」の「マイスクリーン」にはお好みの映像（マイスクリーン）を登録することができます。カーソルボタン▶（またはENTERボタン）を押すと登録操作を開始します。「マイスクリーンを登録する」（<a href="#">図2-17</a>）に従って操作してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マイスクリーンで登録した画像は、元の画像より劣化します。</li> <li>●この機能はマイスクリーンパスワード（<a href="#">図2-24</a>）が有効に設定されているとき選択できません。</li> <li>●この機能の使用中はキーストンの調節はできません。</li> </ul>
<p>マイスクリーン ロック</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼でマイスクリーン登録の有効化 / 無効化を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>「有効」にすると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能はマイスクリーンパスワード（<a href="#">図2-24</a>）が有効に設定されているとき選択できません。</li> </ul>
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼でメッセージモードを選択してください。</p> <p><b>表示する ↔ 表示しない</b></p> <p>「表示しない」を選択すると、以下のメッセージは表示されません。</p> <p>「AUTO 実行中」 「信号が入力されていません」 「同期範囲外です」 「検索中…」 「信号検出中…」</p> <p>入力切替による入力信号表示 「アスペクト」の変更による縦横比の表示 「マイメモリ」の変更による表示 「映像モード」の変更による表示 画面を静止させたときの「静止」</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●表示しないに設定したときは、画面を静止させたことを忘れないように注意してください。</li> </ul>
<p>入力チャンネル名</p>	<p>プロジェクターの入力端子に名前を割り当てることができます。カーソルボタン▲ / ▼で名前を付けたい端子を選択し、▶ボタンを押します。「入力チャンネル名」の操作ガイドが表示されます。</p> <p><b>■名前の入力：</b> 最初の行には現在の名前が表示されています。 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ボタンで各文字を選択し、ENTERボタンまたはINPUTボタンで挿入してください。入力した文字を1つずつ削除するには、RESETボタンを使います。最大16文字の名前を指定できます。</p> <p><b>■すでに挿入されている文字の変更：</b> カーソルが[A-N]の行にあるときに▲ボタンを押して、カーソルを最初の行に表示されている名前の上にもっていき、◀ / ▶ボタンで文字を選択して変更します。文字入力続けるためにカーソルを文字入力エリアに戻すには、▼ボタンを使います。</p> <p><b>■名前の保存：</b> 名前の入力が終わったら、を選択して、ENTERボタンまたはINPUTボタンを押します。変更を保存せずに以前の名前に戻るには、ESCまたは◀ボタンとINPUTボタンを同時に押します。</p> <p>メニューの右側は名前を指定するまで空白になっています。</p> 

## スクリーンメニュー（つづき）

### マイスクリーンを登録する



# その他メニュー

その他メニューでは下表の項目を操作することができます。  
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。  
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。

メニュー [RGB1]		◎:選択
映像	オートサーチ	有効
表示	オートキーストン	有効
入力	オートオン	無効
設置	オートオフ	0min
オーディオ	ランプタイマー	1234h
スクリーン	フィルタータイマー	123h
その他	マイボタン	
MIU	特別な設定	
簡単メニュー	セキュリティ	

設定項目	操作内容
オートサーチ	<p>カーソルボタン▲/▼で入力信号の自動検索の有効化 / 無効化を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この項目で「有効」が選択されているとき、信号の入力がなくなると、プロジェクターは自動的に他の端子からの入力信号を探し始めます。正常な入力信号が見つかったとき、その映像が表示されます。</li> <li>●検索は、サーチ実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号が見つかるまで、次の順序で行われます。</li> </ul> <p><b>RGB1 → RGB2 → M1-D → MIU → COMPONENT → S-VIDEO → VIDEO</b></p> <p style="text-align: center;">↑</p>
オートキーストン <input type="checkbox"/>	<p>カーソルボタン▲/▼でオートキーストン機能の有効化 / 無効化を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「有効」：プロジェクターの傾きを変更した際に、キーストン（台形歪（垂直））を自動的に調整します。</li> <li>■「無効」：この機能を無効にします。キーストン（台形歪（垂直））の自動調整を実行するには、「設置」メニューの「オートキーストン実行」を使用してください。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●天井からの吊り下げ使用のように、固定用途でプロジェクターを使用するときはこの機能は「無効」を選択することを推奨します。</li> <li>●状態監視機能（<a href="#">2-26</a>）が有効になっているときは、この機能は選択できません。</li> </ul>
オートオン	<p>カーソルボタン▲/▼でオートオン機能の有効化 / 無効化を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「有効」に設定すると、電源スイッチを「切」から「入」にしたときに STANDBY/ON ボタンの操作または電源「入」コマンドの受信無しでランプは自動的に点灯します。</li> <li>■以下のいずれかの手順でランプを消灯した場合は、電源スイッチを「入」にしてもランプは自動的に点灯しません。STANDBY/ON ボタンの操作または電源「入」コマンドを送信してください。</li> <li>・STANDBY/ON ボタン、または電源「切」のコマンドでランプを消灯したとき。</li> <li>・「オートオフ」機能でランプを消灯したとき（<a href="#">2-19</a>）。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オートオンでランプが点灯してから入力信号が検出されないまま以下の設定時間が経過するとプロジェクターはオートオフ動作を実行し自動的にランプを消灯します。</li> <li>・「オートオフ」時間が 1 ~ 99 に設定してある場合は設定した時間</li> <li>・「オートオフ」時間が 0 分（オートオフ無効）の場合は 30 分</li> <li>●上述の時間内にリモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンを押したとき、または、コントロール端子からコマンド（Get コマンド除く）を受けた場合は、その時点から再び設定時間が経過するまで「オートオフ」は動作しません。</li> </ul>

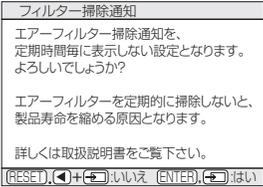
## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>オートオフ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で信号がなくなってから自動的にランプを消灯するまでの待ち時間を設定できます。</p> <p>長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分無効）</p> <p>例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             オートオフ 有効 1min         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             オートオフ 無効 0min         </div> </div> <p>■オートオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。</p> <p>■「有効」に設定すると、信号入力が確定しない場合（無信号または仕様外の信号）は、設定時間経過後にプロジェクターのランプは自動的に消灯し、冷却動作をはじめ、電源スイッチを切る準備を行います。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンを押したとき、または、コントロール端子がコマンド（Get コマンド除く）を受けた場合は、その時点から再び設定時間が経過するまで自動電源オフは動作しません。</li> <li>●電源オフについては「電源を切る」（<a href="#">P.1-29</a>）をお読みください。</li> </ul>
<p>ランプタイマー</p>	<p>メニューに表示されている「ランプタイマー」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時からの現在までのランプの点灯時間を 1 時間単位で表示しています。</p> <p><b>ランプタイマーを初期化する：</b></p> <p>この項目を操作するには、まず RESET ボタン（またはカーソルボタン▶か、ENTER ボタン）を押してください。初期化確認表示が現れます。カーソルボタン▲で選択してください。</p> <p>初期化する ← 初期化しない</p> <p>「初期化する」を選択すると、ランプタイマーが「0」に初期化されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプを交換したときは必ずランプタイマーを初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプタイマーの値は一致しません。</li> <li>●ランプ交換の際は必ず「ランプについてのご注意」（<a href="#">P.1-30</a>）、「ランプの交換」（<a href="#">P.1-31</a>）をお読みください。</li> </ul>
<p>フィルタータイマー</p>	<p>メニューに表示されている「フィルタータイマー」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時からの現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。</p> <p><b>フィルタータイマーを初期化する：</b></p> <p>この項目を操作するには、まず RESET ボタン（またはカーソルボタン▶か、ENTER ボタン）を押してください。初期化確認表示が現れます。カーソルボタン▲で選択してください。</p> <p>初期化する ← 初期化しない</p> <p>「初期化する」を選択するとフィルタータイマーが「0」に初期化されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●エアーフィルターを清掃または交換したときは必ずランプタイマーを初期化してください。エアーフィルターの清掃または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルタータイマーの値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ（<a href="#">P.2-33</a>）が正しく表示されません。</li> <li>●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターのお手入れ」（<a href="#">P.1-32</a>）をお読みください。</li> </ul>

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容				
マイボタン	<p>リモコン上の 2 つの MY BUTTON に機能を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン◀/▶で設定するボタン（1 または 2）を選択してください。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼でマイボタンに割り当てる機能を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RGB1：入力端子 RGB IN1 からの信号を選択します。</li> <li>・ RGB2：入力端子 RGB IN2 からの信号を選択します。</li> <li>・ MI-D：入力端子 M1-D からの信号を選択します。</li> <li>・ MIU：MIU からの信号を選択します。</li> <li>・ COMPONENT：入力端子 COMPONENT（Y,P<sub>B</sub>/C<sub>B</sub>,P<sub>R</sub>/C<sub>R</sub>）からの信号を選択します。</li> <li>・ S-VIDEO：入力端子 S-VIDEO からの信号を選択します。</li> <li>・ VIDEO：入力端子 VIDEO からの信号を選択します。</li> <li>・ 静止画転送：静止画転送メニューを表示します（<a href="#">図2-31</a>）。</li> <li>・ インフォメーション：入力情報を表示します（<a href="#">図2-31</a>）。</li> <li>・ オートキーストン実行：キーストンの自動調整を実行します（<a href="#">図2-13</a>）。</li> <li>・ マイメモリー：マイメモリーで記憶した設定をロードします（<a href="#">図2-6</a>）。</li> </ul> <p><b>マイメモリーを設定したときの MY BUTTON 動作</b></p> <p>MY BUTTON を押したときの「映像」メニュー設定と、ロードしようとする設定が異なると、右のような操作表示が現れます。</p> <p>現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン◀を押してください。</p> <p>ロードを実行するには、もう一度 MY BUTTON を押してください。</p> <p>メモリーに保存されているデータがあると設定をロードし、右のような表示が現れます。MY BUTTON を押すたびに保存しているデータを順次呼び出します。</p> <p>4 つのメモリーのいずれにも設定データが記憶されていないと右の表示が現れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像モード：映像モードを変更します（<a href="#">図2-3</a>）。</li> <li>・ フィルターリセット：フィルタータイマーの初期化確認を表示します（<a href="#">図2-19</a>）。</li> <li>・ アクティブアイリス：アクティブアイリスモードを変更します（<a href="#">図2-6</a>）。</li> <li>・ 音量＋：音量を上げます。</li> <li>・ 音量－：音量を下げます。</li> </ul> <div data-bbox="1036 785 1376 868" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>一時保存状態 MEMORY；保存しているデータを呼び出す ◀；戻る</p> </div> <div data-bbox="1219 938 1353 970" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>LOAD - 1</p> </div> <div data-bbox="1204 1027 1376 1059" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>保存データ無し</p> </div>				
特別な設定	<p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、特別な設定メニューが表示されます。カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すとその項目が操作できます。</p> <p>ファン速度 ↔ オートアジャスト ↔ ゴースト ↔ フィルター掃除通知 ↔ レンズタイプ ↔ 工場出荷設定 ↔ インフォメーション ↔ リモコン周波数 ↔ リモコン受光部 ↔ キーロック</p> <table border="1" data-bbox="398 1442 1392 1953"> <tr> <td data-bbox="398 1442 588 1734">ファン速度</td> <td data-bbox="588 1442 1392 1734"> <p>カーソルボタン▲/▼で冷却ファンの回転速度を選択できます。</p> <p><b>高速 ↔ 標準</b></p> <p>山岳地域などの高地でご使用の場合には「高速」設定とすることをおすすめします。「高速」に設定すると本機のファンの回転速度を上げ、冷却効率を上げることができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●「高速」ではファンによる騒音が大きくなります。高地以外で設定すると、逆に部品（ランプなど）の信頼性に影響を与える恐れがあります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="398 1734 588 1953">オートアジャスト</td> <td data-bbox="588 1734 1392 1953"> <p>カーソルボタン▲/▼でオートアジャストの有効化/無効化設定してください。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>表示している画像やお客様のご使用環境（ケーブル長・種類、分配器の使用等）によっては、画像の位置やサイズが自動的に合わない場合があります。この場合には「無効」を選択して手動で合わせてください。なお、対応信号については「パソコン信号について」（<a href="#">図2-38</a>）を参照してください。</p> </td> </tr> </table>	ファン速度	<p>カーソルボタン▲/▼で冷却ファンの回転速度を選択できます。</p> <p><b>高速 ↔ 標準</b></p> <p>山岳地域などの高地でご使用の場合には「高速」設定とすることをおすすめします。「高速」に設定すると本機のファンの回転速度を上げ、冷却効率を上げることができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●「高速」ではファンによる騒音が大きくなります。高地以外で設定すると、逆に部品（ランプなど）の信頼性に影響を与える恐れがあります。</p>	オートアジャスト	<p>カーソルボタン▲/▼でオートアジャストの有効化/無効化設定してください。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>表示している画像やお客様のご使用環境（ケーブル長・種類、分配器の使用等）によっては、画像の位置やサイズが自動的に合わない場合があります。この場合には「無効」を選択して手動で合わせてください。なお、対応信号については「パソコン信号について」（<a href="#">図2-38</a>）を参照してください。</p>
ファン速度	<p>カーソルボタン▲/▼で冷却ファンの回転速度を選択できます。</p> <p><b>高速 ↔ 標準</b></p> <p>山岳地域などの高地でご使用の場合には「高速」設定とすることをおすすめします。「高速」に設定すると本機のファンの回転速度を上げ、冷却効率を上げることができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●「高速」ではファンによる騒音が大きくなります。高地以外で設定すると、逆に部品（ランプなど）の信頼性に影響を与える恐れがあります。</p>				
オートアジャスト	<p>カーソルボタン▲/▼でオートアジャストの有効化/無効化設定してください。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>表示している画像やお客様のご使用環境（ケーブル長・種類、分配器の使用等）によっては、画像の位置やサイズが自動的に合わない場合があります。この場合には「無効」を選択して手動で合わせてください。なお、対応信号については「パソコン信号について」（<a href="#">図2-38</a>）を参照してください。</p>				

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容	
特別な設定	ゴースト	R（赤）、G（緑）、B（青）各色を調節し、ゴーストを低減するよう設定できます。 (1) カーソルボタン◀ / ▶で調節する色を選択してください。 (2) カーソルボタン▲ / ▼で、ゴーストが見えなくなるように数値を調節してください。
	フィルター掃除通知	カーソルボタン▲ / ▼でエアフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。 <b>50h ↔ 100h ↔ 200h ↔ 300h ↔ 無効</b> 「無効」を選択すると右図のメッセージが表示されます。ここで ENTER ボタンを押すと「無効」が設定されます。  「無効」以外を設定すると、フィルタータイマー（ <b>2-19</b> ）の値が設定した時間に達したとき、「エアフィルターを掃除して下さい」のメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。 <b>お知らせ</b> ●お知らせメッセージが表示されなくても、エアフィルターは定期的に掃除してください。エアフィルターがホコリなどで詰まると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ●一般には 100h を設定してご使用になることをお勧めします。200h、300h、無効のいずれかを設定される場合は、ご使用環境やエアフィルターの状態に気を付けてご使用ください。
	レンズタイプ	カーソルボタン▲ / ▼でレンズタイプによるキーストン補正設定を選択できます。 <b>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5</b> 1：標準レンズ（NL-600） 2：固定短焦点レンズ（FL-601） 3：短焦点レンズ（SL-602） 4：長焦点レンズ（LL-603） 5：超長焦点レンズ（UL - 604） 交換したオプションレンズにあわせて設定してください。
	キーロック	カーソルボタン▲ / ▼で本機のボタンをロック設定できます。 <b>有効 ↔ 無効</b> 「有効」を選ぶと、STANDBY/ON ボタン以外の本機のボタンを押しても反応しなくなります。いたずらや誤操作を防止したい場合などにこの機能をご使用ください。 <b>お知らせ</b> ●リモコン操作には影響しません。
	リモコン受光部	プロジェクターのリモコン受光部の設定を変更できます。 (1) カーソルボタン▲ / ▼で設定を変更するリモコン受光部を選択してください。 <b>1：前面 ↔ 2：上面 ↔ 3：背面</b> (2) ENTER ボタンで有効 / 無効を切り替えてください。 <input checked="" type="checkbox"/> (有効) ↔ <input type="checkbox"/> (無効) チェックマークを付けた項目が有効になります。 3 個とも全てを無効には設定できません。少なくとも 1 個は常に有効に設定されます。工場出荷時は全て有効に設定されています。蛍光灯妨害などでリモコンが正常に機能しない場合に、どれかを無効に設定してみてください。

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
	<p>プロジェクターのリモコン受光部のキャリア周波数を設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼でキャリア周波数の標準 / 高を選択してください。  <b>1：標準 ↔ 2：高</b></p> <p>(2) ENTER ボタンで有効 / 無効を切り替えてください。  <input checked="" type="checkbox"/> (有効) ↔ <input type="checkbox"/> (無効)                      チェックマークを付けた項目は有効になります。                      「1：標準」と「2：高」の両方を無効にすることはできません。工場出荷時には「1：標準」と「2：高」の両方とも有効になっています。                      リモコンが正常に機能しない場合、1：標準 または 2：高 だけを有効にしてください。リモコン送信機の周波数の切り替えも同時に実施してください。(P.1-21)</p>
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>この項目を選んでカーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、現在の入力（コンポーネントビデオ信号入力の解像度や垂直周波数、ビデオ信号入力の信号モードなど）や「COMPONENT」、「ビデオフォーマット」の設定状態についての情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>入力インフォメーション</p> <p>RGB1</p> <p>1024x768 @60Hz</p> <p>フレームロック</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>入力インフォメーション</p> <p>VIDEO</p> <p>NTSC</p> <p>オート</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>入力インフォメーション</p> <p>COMPONENT</p> <p>576i @ 50</p> <p>SCART RGB</p> </div> </div> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フレームロックは、表示映像のフレーム周波数が入力信号のフレーム周波数にロックしている状態を示します。</li> <li>● 「SCART RGB」メッセージは、COMPONENT 端子が SCART RGB 端子として動作していることを意味します。「COMPONENT」(P.2-10)を参照してください。</li> <li>● インフォメーションの表示は無信号または仕様外の信号の場合は表示できません。</li> </ul>
<p>工場出荷設定</p>	<p>メニューの各項目を一括して工場出荷初期設定に戻すことができます。カーソルボタン▲で設定してください。</p> <p><b>初期化する ← 初期化しない</b></p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「マイスクリーン」もクリアされます。ただし、「ランプタイマー」、「フィルタータイマー」、「表示言語」および「セキュリティー」は初期化されません。</li> </ul>

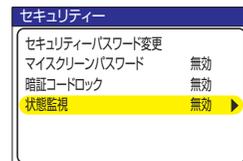
## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>セキュリティ</p>	<p>このプロジェクターはセキュリティ機能を備えています。</p> <p><b>1. セキュリティ機能の使用法</b></p> <p><b>1.1 セキュリティパスワードの入力</b></p> <p>(1) 「その他」メニュー上で▲/▼ボタンを使って「セキュリティ」を選択し、▶ボタンを押すと、「セキュリティパスワードを入力してください」の操作ガイドが現れます。工場出荷時にはパスワードは2400に設定されています。</p> <p>(2) ▲/▼/◀/▶ボタンを使って登録されているセキュリティパスワードを入力します。カーソルを「セキュリティパスワードを入力してください」操作ガイドの右側に移動し、▶ボタンを押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力した場合は、「セキュリティパスワードを入力してください」操作ガイドが再度現れます。間違ったパスワードを3回入力すると、プロジェクターのランプは消灯します。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびにプロジェクターのランプは消灯します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●セキュリティパスワードは変更できます。工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください</p> <p><b>1.2 セキュリティパスワードを変更する</b></p> <p>(1) 「セキュリティ」メニュー上で▲/▼ボタンを使って、「セキュリティパスワード変更」を選択し、▶ボタンを押すと、「セキュリティ新パスワードを入力してください」の操作ガイドが現れます。</p> <p>(2) ▲/▼/◀/▶ボタンを使って新しいパスワードを入力します。</p> <p>(3) カーソルを「セキュリティ新パスワードを入力してください」操作ガイドの右側に移動し、▶ボタンを押すと、「セキュリティ新パスワードを再入力してください」操作ガイドが表示されます。ここで先に入力したパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>(4) カーソルを「セキュリティ新パスワードを再入力してください。」操作ガイドの右側に移動して、▶ボタンを押すと、「セキュリティ新パスワードをメモしてください」操作ガイドが約20秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。</p> <p>(5) リモコンのENTERボタンまたはプロジェクターのINPUTボタンを押すと、「セキュリティ新パスワードをメモしてください」操作ガイドが閉じます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。</p> <p><b>1.3 セキュリティパスワードを忘れた場合</b></p> <p>(1) 1.1-(1)の手順に従って「パスワードを入力してください。」の操作ガイドを表示します。</p> <p>(2) この操作ガイドが表示されている間に、リモコンのRESETボタンを約3秒間押すか、またはプロジェクターのINPUTボタンと▶ボタンを約3秒間押すと、10桁の照合コードが表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●照合コードが表示されているときに約55秒間何も入力しないと、メニューは閉じてしまいます。必要ならば、1.3-(1)からのステップを繰り返してください。</p> <p>(3) 10桁の照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。</p>

応用編



「パスワードを入力してください」操作ガイド



「セキュリティ」メニュー



「新しいパスワードを入力してください」操作ガイド



「新パスワードを再入力してください」操作ガイド



「新パスワードをメモしてください」操作ガイド



照合コード（パスワード）

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
セキュリティー （つづき）	<p><b>2. マイスクリンパスワード機能を使用する</b>            マイスクリンパスワード機能を使って、マイスクリンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p><b>2.1 マイスクリンパスワードを有効にする（パスワードを登録する）</b></p> <p>(1) 「セキュリティー」メニュー上で▲/▼ボタンを使って「マイスクリンパスワード」を選択し、▶ボタンを押すと、「マイスクリンパスワード」を有効または無効にするメニューが表示されます。</p> <p>(2) ▲/▼ボタンを使って「有効」を選択すると、「パスワードを入力してください」の（小さい）操作ガイドが表示されます。</p> <p>(3) ▲/▼/◀/▶ボタンを使ってパスワードを入力します。</p> <p>(4) カーソルを「パスワードを入力してください」操作ガイドの右側に移動し、▶ボタンを押すと、「パスワードを確認してください」操作ガイドが現れます。</p> <p>(5) ▲/▼/◀/▶ボタンを使って先に入力したのと同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>(6) カーソルを「マイスクリンパスワードを確認してください」操作ガイドの右側に移動して、▶ボタンを押すと、パスワードが約 20 秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください</p> <p>(7) リモコンの ENTER ボタンまたはプロジェクターの INPUT ボタンを押すと、「マイスクリンパスワード」を有効または無効にするメニューに戻ります。</p> <p>マイスクリンパスワードが設定されていると</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ マイスクリンの登録機能（およびメニュー）を利用できなくなります。</li> <li>■ マイスクリン上でのスタートアップの設定がロックされます（メニューを利用できなくなります）。</li> </ul> <p>マイスクリンパスワードを無効にすると、通常の操作が可能になります。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マイスクリンパスワードを忘れないようにしてください。</li> </ul> <p><b>2.2 マイスクリンパスワードを無効にする</b></p> <p>(1) 2.1-(1) の手順で「マイスクリンパスワード」を有効または無効にするメニューを表示します。</p> <p>(2) 「無効」を選択して、「マイスクリンパスワードを入力してください。」の（大きい）操作ガイドを表示します。</p> <p>(3) ▲/▼/◀/▶ボタンを使って登録されているパスワードを入力すると、画面は「マイスクリンパスワード」を有効または無効にするメニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューは閉じます。必要ならば、2.2-(1) 以降のステップを繰り返してください。</p> <p><b>2.3 マイスクリンパスワードを忘れた場合</b></p> <p>(1) 2.1-(1) の手順で「マイスクリンパスワード」を有効または無効にするメニューを表示します。</p> <p>(2) 「無効」を選択して、「マイスクリンパスワードを入力してください」の（大きい）操作ガイドを表示します。操作ガイドには 10 桁の照合コードが表示されています。</p> <p>(3) 10 桁の照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後パスワードを連絡いたします。</p>



「マイスクリンパスワード」を有効/無効にするメニュー



「パスワードを入力してください」の（小さい）操作ガイド



「パスワードを確認してください」操作ガイド



「パスワードを入力してください」の（大きい）操作ガイド

設定項目	操作内容
<p>セキュリティ （つづき）</p>	<p><b>3. 暗証コードロック機能を使用する</b>                      暗証コードロック機能を有効にすると、登録されたコードを入力しない限りプロジェクターを使用できなくなります。</p> <p><b>3.1 暗証コードを有効にする（暗証コードを登録する）</b></p> <p>(1) 「セキュリティ」メニュー上で▲/▼ボタンを使って「暗証コードロック」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「暗証コードロック」を有効または無効にするメニューが表示されます。</p> <p>(2) 「暗証コードロック」を有効または無効にするメニュー上で▲/▼ボタンを使って「有効」を選択すると、「暗証コードメニュー」操作ガイドが現れます。</p> <p>(3) ▲/▼/◀/▶/RGB ボタン（または INPUT ボタン）を使って、4 つのパートからなる暗証コードを入力します。「暗証コード確認」操作ガイドが現れます。先に入力した暗証コードをもう一度入力してください。暗証コードの登録はこれで完了です。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「暗証コードメニュー」操作ガイドや「暗証コード確認」操作ガイドが表示されているときに約 55 秒間何も入力しないと、メニューは閉じてしまいます。必要ならば、3.1-(1)からのステップを繰り返してください。</li> <li>●これ以降、プロジェクターが再起動するたびに、「暗証コード確認」操作ガイドが表示されるようになります。間違った暗証コードを入力すると、「暗証コード確認」操作ガイドが再度表示されます。</li> <li>●間違った暗証コードを 3 回入力すると、プロジェクターのランプは消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにプロジェクターのランプは消灯します。「暗証コードメニュー」操作ガイドが表示されている間に約 5 分間何も入力しない場合も、プロジェクターのランプは消灯します。</li> <li>●この機能は、電源スイッチを「切」にしたあとで、プロジェクターの電源を再度「入」にしないと有効になりません。</li> <li>●暗証コードを忘れないようにしてください。</li> </ul> <p><b>3.2 暗証コードロック機能を無効にする</b></p> <p>(1) 3.1-(1) の手順で「暗証コードロック」を有効または無効にするメニューを表示します。</p> <p>(2) ▲/▼ボタンを使って「無効」を選択すると、「暗証コード確認」操作ガイドが現れます。</p> <p>(3) 登録された暗証コードを入力し、暗証コードロック機能を無効にします。間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。</p> <p><b>3.3 暗証コードを忘れた場合</b></p> <p>(1) 3.1-(3) の「暗証コード確認」操作ガイドが開いているときに、RESET ボタンを 3 秒間押すか、または INPUT ボタンと▶ボタンを 3 秒間押すと、10 桁の照合コードが表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●照合コードが表示されているときに約 5 分間何も入力しないと、プロジェクターのランプは消灯します。</li> </ul> <p>(2) 10 桁の照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後パスワードを連絡いたします。</p>



応用編

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>セキュリティ (つづき)</p>	<p><b>4. 状態監視機能を使用する</b></p> <p>状態監視機能を有効にすると、電源スイッチを「入」にしたときのプロジェクターの動作は次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクターを移動または再設置している場合、状態監視のアラームが表示されることがあります。</li> <li>■ 反転表示の設定を変更している場合、状態監視のアラームが表示されることがあります。</li> <li>■ 状態監視機能が有効になっているときには、キーストンの調整機能は無効になります</li> </ul> <p><b>4.1 状態監視機能を有効にする（パスワードを登録する）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「セキュリティ」メニュー上で▲/▼ボタンを使って「状態監視」を選択し、カーソルボタン▶（またはENTERボタン）を押すと、「状態監視」を有効または無効にするメニューが表示されます。</li> <li>(2) 「状態監視」を有効または無効にするメニュー上で「有効」を選択すると、現在の角度、反転表示、キーストンの設定が記録され、「パスワードを入力してください」の（小さい）操作ガイドが表示されます。</li> <li>(3) ▲/▼/◀/▶ボタンを使ってパスワードを入力します。カーソルを「状態監視パスワードを入力してください」操作ガイドの右側に移動し、▶ボタンを押すと、「状態監視パスワードを確認してください」操作ガイドが現れます。</li> <li>(4) ▲/▼/◀/▶ボタンを使って先に入力したのと同じパスワードをもう一度入力してください。</li> <li>(5) カーソルを「パスワードを確認してください」操作ガイドの右側に移動して、▶ボタンを押すと、「状態監視完了しました」操作ガイドが表示されパスワードが約20秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。約20秒が経過すると、画面は「状態監視」を有効または無効にするメニューに戻ります。</li> <li>(6) リモコンのENTERボタンまたはプロジェクターのINPUTボタンを押して、「パスワード」操作ガイドを閉じます。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;&lt;状態監視オン&gt;&gt;</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">インストール時から設置状態が変化しています。</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">通常表示を行う場合には、メニューで状態監視を解除してください。</p> </div> <p style="text-align: center;">「状態監視」のアラーム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">◀状態監視</p> <p style="text-align: center;">○ 有効</p> <p style="text-align: center;">● 無効</p> </div> <p style="text-align: center;">「状態監視」を有効/無効にするメニュー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">状態監視 パスワードを入力してください</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">◀ 0 0 0 ▶</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">◀戻る 次へ▶</p> </div> <p style="text-align: center;">「パスワードを入力してください」の（小さい）操作ガイド</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">状態監視 パスワードを確認してください</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">◀ 0 0 0 ▶</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">◀戻る 次へ▶</p> </div> <p style="text-align: center;">「パスワードを確認してください」操作ガイド</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">状態監視 完了しました</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">0 0 0 0</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">[ENTER], [▶]:EXIT</p> </div> <p style="text-align: center;">「パスワード」操作ガイド</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「状態監視」を有効または無効にするメニュー上で「有効」を選択したとき、プロジェクターが安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動きません。</li> <li>● この機能を有効にしているとき、プロジェクターを起動時の垂直角度、反転表示、キーストン設定が記録されている設定と異なると、状態監視のアラームが現れ、プロジェクターは入力信号を表示しません。「セキュリティ」メニューで状態監視を無効にするか、またはプロジェクターを記録されたとおりの垂直角度、反転表示、キーストン設定にすると、入力信号が表示されるようになります。</li> <li>● 状態監視のアラームが表示されてから約5分が経過すると、ランプは消灯します。</li> <li>● この機能は、電源スイッチを「切」にしたあとで、プロジェクターの電源を再度「入」にしないと有効になりません。</li> <li>● 状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。</li> </ul> </div>

## その他メニュー（つづき）

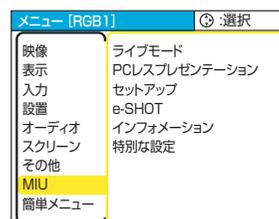
設定項目	操作内容
セキュリティ （つづき）	<p><b>4.2 状態監視を無効にする</b></p> <p>(1) 4.1-(1) の手順で「状態監視」を有効または無効にするメニューを表示します。</p> <p>(2) 「無効」を選択して、「パスワードを入力してください」の（大きい）操作ガイドを表示します。登録したパスワードを入力すると、画面は「状態監視」を有効または無効にするメニューに戻ります。間違ったパスワードを入力すると、メニューは閉じます。必要ならば、4.2-(1) からのステップを繰り返してください。</p> <p><b>4.3 パスワードを忘れた場合</b></p> <p>(1) 4.1-(1) の手順で「状態監視」を有効または無効にするメニューを表示します。</p> <p>(2) 「無効」を選択して、「パスワードを入力してください」の（大きい）操作ガイドを表示します。操作ガイドには 10 桁の照合コードが表示されています。</p> <p>(3) 10 桁の照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後パスワードを連絡いたします。</p> <div data-bbox="1114 555 1342 661" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>状態監視 パスワードを入力してください</p><p>照合コード 0123456789</p><p>戻る 次へ</p></div> <p>「パスワードを入力してください」の（大きい）操作ガイド</p>

# MIU メニュー

ネットワーク機能をご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

MIU メニューでは下記表の設定ができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。

下表およびメニュー表示に従って操作してください。

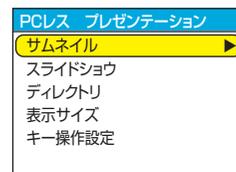


## お知らせ

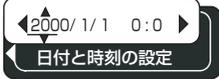
●工場出荷時設定では DHCP を無効にしています。ご利用のネットワークが DHCP 有効であり、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」を自動で設定する必要がある場合、「DHCP」を「有効」に設定してください。（下表参照）

●ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合（下表参照）、初期設定時に「日付と時刻の設定」を設定する必要があります。下記表の「日付と時刻」の欄をご覧ください。

設定項目	操作内容
ライブモード	<p>入力信号を MIU に切り替え、ネットワークを介して PC 上の画像を表示するモードに切り替えます。</p> <p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、ライブモードメニューが表示されます。詳細は、「ライブモード」( 3-3 ) を参照してください。</p>
PC レス プレゼンテーション	<p>入力信号を MIU に切り替え、SD メモリカードのデータまたは USB メモリーのデータを表示するモードに切り替えます。</p> <p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、PC レスプレゼンテーションメニューが表示されます。詳細は、「PC レスプレゼンテーションモード」( 3-4 ) を参照してください。</p>



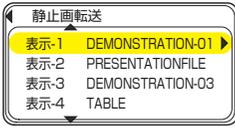
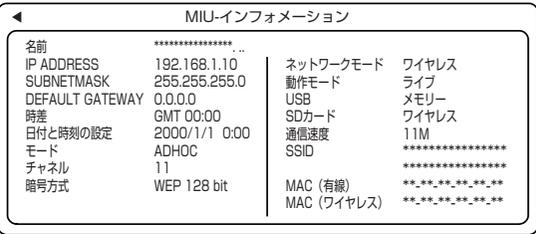
## MIU メニュー (つづき)

設定項目	操作内容
<b>セットアップ</b>	ネットワーク設定を変更します。 カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと MIU セットアップメニューが表示されます。
	<b>DHCP</b> (Dynamic Host Configuration Protocol) カーソルボタン▲/▼で DHCP を有効または無効にします。 <b>有効 ↔ 無効</b> ネットワークで DHCP が有効でない場合は、「無効」を選択してください。 
	<b>IP ADDRESS</b> カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使って、IP アドレスを入力します。 この機能は「DHCP」が「無効」に設定されているときのみ使用できます。 <b>お知らせ</b> ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別する数字です。同一ネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 
	<b>SUBNET MASK</b> カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使って、ご利用の PC と同じ SUBNET MASK を入力します。 この機能は「DHCP」が「無効」に設定されているときのみ使用できます。 
	<b>DEFAULT GATEWAY</b> カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使って、DEFAULT GATEWAY のアドレスを入力します。 DEFAULT GATEWAY は、他のネットワークへのアクセスポイントとして機能するコンピュータネットワーク上のノードです。 この機能は「DHCP」が「無効」に設定されているときのみ使用できます。 
	<b>時 差</b> カーソルボタン▲/▼を使って時差を入力します。 ご利用の PC と同じ時差を設定してください。不確かな場合はネットワーク管理者にお尋ねください。 時差を設定し終わったら、カーソルボタン▶を押してメニューに戻ります。 
	<b>日付と時刻</b> カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使って、年 (西暦下 2 桁)、月、日、時、分を入力します。 接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。 
	<b>モード</b> カーソルボタン▲/▼を使って、本機とコンピュータ間で使用する通信接続コントロール方法を選択します。 お使いのコンピュータの設定に合わせて下さい。 <b>ADHOC ↔ INFRASTRUCTURE</b> 
<b>チャンネル</b> カーソルボタン▲/▼を使って無線 LAN 接続時に使用するチャンネルを選択します。 (1 ~ 11 のチャンネルがあります) ※使用可能なチャンネルはお使いになる国によって異なります。また、標準規格によってはワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。  ※ 1 ~ 11 で変化	

## MIUメニュー(つづき)

設定項目	操作内容	
セットアップ (つづき)	暗号方式	<p>暗号化の方法を選択します。 カーソルボタン▲ / ▼で使用する暗号方式を選択します。</p>  <p>WPA2-PSK (AES) ↔ WPA-PSK (AES) ↔ WPA-PSK (TKIP) ↕ 無効 ↔ WEP 64bit ↔ WEP 128bit ↕</p>
	通信速度	<p>カーソルボタン▲ / ▼で転送速度を選択します。 オート ↔ 54 ↔ 48 ↔ 36 ↔ 24 ↔ 18 ↔ 12 (Mbps) ↕ 11 ↔ 9 ↔ 6 ↔ 5.5 ↔ 2 ↔ 1 (Mbps) ↕</p> <p>オートモードに設定すると、最適な転送速度が自動的に選択されます。 Mbps = メガビット/秒</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワークの状態により、転送速度が変わる場合があります。</li> </ul> 
	ネットワークモード	<p>ネットワークモードを選択します。 カーソルボタン▲ / ▼で設定してください。 ワイヤレス (無線 LAN) ↔ 有線 LAN</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワークモードは、電源スイッチを「切」から「入」にすると初期設定に戻ります。</li> <li>● ワイヤレスネットワークカードをインストールすると、ワイヤレスモードが有効になります。</li> <li>● ワイヤレスネットワークカードがインストールされていない場合は、有線 LAN モードが有効になります。</li> </ul> 

## MIU メニュー (つづき)

設定項目	操作内容
<p>静止画転送</p>	<p>ネットワーク経由で転送された静止画をプロジェクトで表示できます。SD メモリカードまたは USB メモリーをプロジェクトに差し込んでから、静止画転送機能进行操作してください。静止画転送機能を使用するには、専用のアプリケーションが必要です。「4.7 静止画転送機能について」(P.3-72)をご覧ください。</p> <p>■カーソルボタン▲/▼で表示したい静止画項目(ファイル)を選び、カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、各項目を表示できます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●静止画像を含まない項目は選択できません。</li> <li>●表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。</li> <li>●プロジェクトの表示言語が日本語に設定されていないと、日本語のファイル名は正しく表示されません。また、日本語モードでは英数字以外の文字(Ç, ä など)は正しく表示されません。</li> </ul> <p>■画像が表示されたら、カーソルボタン▲/▼で、表示する静止画を切り替えることができます。</p> <p>■カーソルボタン◀(またはリモコンで ESC ボタン)を押すと、メニュー画面に戻ることができます。</p> <p>■画像表示中にリモコンの RESET ボタンを押すと、静止画像初期化メニューが表示されます。初期化メニューでリモコンの ENTER ボタン(またはプロジェクトの INPUT ボタン)を押すと、表示している画像のファイルを SD メモリカードまたは USB メモリから削除できます。削除したくない場合は、リモコンの ESC ボタンを押します(またはプロジェクトの◀ボタンと INPUT ボタンを同時に押します)</p>   
<p>インフォメーション</p>	<p>カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すとネットワーク情報を表示して設定を確認できます。</p>  <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト名の最初の 16 文字のみが表示されます。</li> <li>●SSID の最初の 32 文字のみが表示されます。</li> <li>●内蔵時計用電池の電圧が低下すると、正確な日時が入力されていても設定時刻に狂いが生じる場合があります。「内蔵時計用電池の交換」(P.1-33)の手順に従って電池を交換してください。</li> <li>●ネットワークモードが有線 LAN に設定されているときは、ワイヤレスネットワークカードを装着しても、MAC (ワイヤレス) の項目は表示されません。</li> <li>●以下の状態では、IP ADDRESS、SUBNET MASK および DEFAULT GATEWAY はそれぞれ "0.0.0.0" と表示されます。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ネットワークモードがワイヤレスに設定されているのに、ワイヤレスネットワークカードが装着されていない場合</li> <li>(2) DHCP が有効に設定されているのに、プロジェクトが DHCP サーバーからアドレスを取得していない場合</li> </ol> </li> </ul>

応用編

## MIU メニュー (つづき)

設定項目	操作内容
<p>特別な設定</p>	<p>カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと特別な設定メニューが表示されます。 特別な設定メニューでは、カーソルボタン▲ / ▼で各項目を選択します。</p> <div data-bbox="1152 321 1376 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">特別な設定</p> <p style="text-align: center;">全メディア取外し SDカード取外し USBメモリ取外し MIUリスタート ▶</p> </div> <p><b>メディアの取外し (全メディア取外し / SD カード取外し / USB メモリー取外し)</b> SD カード (ワイヤレスネットワークカード含む) や USB メモリーを正常に取り外すには、取り外すメディアの種類を選択してカーソルボタン▶を押してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div data-bbox="519 655 707 761" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>◀ 全メディア取外し</p> <p>実行する</p> <p style="background-color: yellow;">初期化しない</p> </div> <div data-bbox="793 655 981 761" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>◀ SDカード取外し</p> <p>実行する</p> <p style="background-color: yellow;">初期化しない</p> </div> <div data-bbox="1063 655 1251 761" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>◀ USBメモリ取外し</p> <p>実行する</p> <p style="background-color: yellow;">初期化しない</p> </div> </div> <p>カーソルボタン▲で実行します。 メディアが取り外せる状態になると、「成功しました」のメッセージが表示されます。「失敗しました」のメッセージが出た場合は、しばらくしてから再度メディアの取外しを実行してください。 必ず「成功しました」のメッセージが表示されてから、メディアを取り外してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●既に取外しの操作を行われていて、取り外し可能な状態である場合、あるいはメディアが挿入されていない場合もメディアが使用中ではないという意味で「成功しました」のメッセージが表示されます。</li> </ul> <p><b>MIU のリスタート</b> MIU 機能をいったん停止し、再起動することができます。 MIU の動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。 MIU リスタートを選択してカーソルボタン▶を押してください。</p> <div data-bbox="519 1364 707 1470" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>◀ MIUリスタート</p> <p>実行する</p> <p style="background-color: yellow;">初期化しない</p> </div> <p>カーソルボタン▲で実行します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。</li> <li>●DHCP が有効に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。</li> <li>●MIU リスタートを実行後、ネットワークメニューは約 50 秒間操作できなくなります。</li> </ul>

# 故障かなと思ったら

## メッセージについて

プロジェクターの電源を入れたとき、下表のようなメッセージは表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

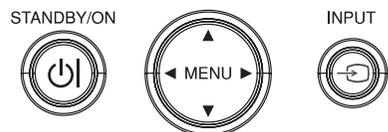
応用編

メッセージ	内容
信号が入力されていません ***	入力信号が見つかりません。以下のことを行ってください。 ・ 信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ ・ 信号源（ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
信号は同期範囲外です *** [FH] **kHz [fV] **Hz	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。 ・ 入力している信号は本機の仕様（ <a href="#">図2-38</a> ）に合っていますか？ ・ 信号源（ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
吸気口をチェックしてください	内部の温度が上昇しています。すぐに電源を切り、20分以上冷ましてから、以下のことをご確認ください。 ・ 通風口はふさがっていませんか？ ・ エアークフィルタは汚れていませんか？ ・ 周囲温度が35℃を超えていませんか？
ご注意 前回のエアークフィルタの掃除から *** 時間以上経過しました。 エアークフィルタの掃除をお願いします。 エアークフィルタ掃除後、フィルタタイ マーをリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	エアークフィルタの掃除時期です。すぐに電源を切り、エアークフィルタを掃除または交換してください（ <a href="#">図1-32</a> ）。エアークフィルタを掃除または交換したら、フィルタタイマーのリセットを忘れずに行ってください。（ <a href="#">図2-19</a> ）

# インジケータ表示について

POWER インジケータ、LAMP インジケータ、TEMP インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後も同じ点灯や点滅が表示されたり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は販売店にご相談ください。

LAMP インジケータ  LAMP  
 TEMP インジケータ  TEMP  
 POWER インジケータ  POWER



POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
橙色の点滅	消 灯	消 灯	冷却中です。POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
橙色の点灯	消 灯	消 灯	冷却が完了しました。 この状態で電源スイッチを切ることができます。「電源を切る」(☞1-29)の項をご覧ください。
緑色の点滅	消 灯	消 灯	ウォームアップ中です。POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消 灯	消 灯	通常の動作状態です。
赤色の点滅	—	—	不具合が見つかったため、冷却中です。POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、LAMP インジケータおよび TEMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点灯	消 灯	ランプの取付けが不完全であったり、なんらかの理由でランプが点灯しなかったり、または内部温度が上がりすぎている可能性があります。すぐに電源を切り、45分以上待って冷ましてください。以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがっていませんか？ ・エアフィルターは汚れていませんか？ ・周囲温度が35℃を超えていませんか？ ・ランプは正しく取り付けられていますか？ インジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。
	赤色の点滅	消 灯	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全である可能性があります。すぐに電源を切り、45分以上待って冷ましてください。 ランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。「ランプについてのご注意」(☞1-30)、「ランプの交換」(☞1-31)をご覧ください。

## インジケータ表示 (つづき)

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消 灯	赤色の 点 滅	冷却ファンが動作しません。すぐに電源を切り、20分以上待って冷ましてください。以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものがありますか？
	消 灯	赤色の 点 灯	内部温度が上がりすぎている可能性があります。すぐに電源を切り、20分以上待って冷ましてください。以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがっていませんか？ ・エアフィルターは汚れていませんか？ ・周囲温度が 35℃ を超えていませんか？
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 交互に赤色の点滅		内部温度が下がりすぎている可能性があります。適切な温度環境 (5 ~ 35℃) でご使用ください。周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 同時に赤色の点滅		エアフィルターが汚れている可能性があります。すぐに電源を切り、「エアフィルターのお手入れ」(☞1-32)の項に従ってエアフィルターを掃除または交換してください。エアフィルター掃除または交換したら、フィルタータイマーのリセットを忘れずに行ってください。(☞2-19)
緑色の点滅 (約 3 秒間)	消 灯	消 灯	少なくとも 1 つの“電源オン”スケジュールがプロジェクトに保存されています。 (詳細は「Schedule Settings」(☞3-30)を参照してください。)

### お知らせ

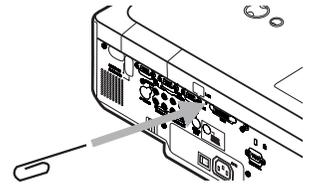
内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、本機では安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータランプも消灯することがありますのでご注意ください。この場合はすぐに電源スイッチの「○」(切る)側を押し、45分以上待って冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。「ランプについてのご注意」(☞1-30)、「ランプの交換」(☞1-31)をご覧ください。

# 故障と間違えやすい現象について

## 警告

●ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」(P.1-2)をお読みください。煙が出ている、異臭がする、異音がする、などの異常が発生した場合はすぐに電源プラグを抜いてください。

■内蔵マイコンの誤作動などで、正常な操作で電源を切ることができない場合があります。この場合シャットダウンスイッチを押すと本機の動作を終了しランプが消灯します。シャットダウンスイッチは、細い棒状のものを差し込んで押ししてください。シャットダウンスイッチを押した後の再起動は10分以上放置して冷ましてから行ってください。



■誤った設定をされた場合があります。「工場出荷設定」機能を使用してください。「その他メニュー」の中の「特別な設定」の「工場出荷設定」で「初期化する」を選ぶと、メニューの各項目を一括して工場出荷初期設定に戻すことができます。処理後も問題が解決しない場合、販売店にご相談ください。

■以下のような現象は故障ではない場合があります。修理をご依頼になるまえに、下記表に従ってご確認ください。

現象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認してください。	1-19
	電源スイッチは入っていますか？ 電源スイッチの「I」（入れる）側を押してください。	1-23
	停電などで動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源スイッチの「O」（切る）側を押してください。2分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	1-19 1-29
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源スイッチの「O」（切る）側を押し、45分以上待って冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	1-19 1-29 1-31
映像も音声も出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルやコネクタの接続状態を確認してください。	1-16
	信号源（ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	—
	信号が入力されている端子を選んでいますか？ 入力信号を選びなおしてください。	1-25
映像は出るが音声が出ない	音声信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認してください。	1-16
	「音量」が小さく調節されていませんか？ 「音量」を大きく調節してください。	1-24
	消音モード設定されていませんか？ リモコンのMUTE（消音）ボタンまたはVOLUMEボタンを押し、消音モードを解除してください。	1-24
	音声信号入力端子が正しく設定されていますか？ 「オーディオ」メニューの「AUDIO」の設定を確認してください。	2-14
音声は出るが映像が出ない (次頁につづく)	映像信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認してください。	1-16
	画面の明るさが暗く調整されていませんか？ 「明るさ」を明るく調節してください。	2-3

## 故障と間違えやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
(前頁のつづき) 音声は出るが映像が出ない	レンズカバーは外れていますか？ レンズカバーを外してください	—
	接続しているパソコンがプラグ&プレイ・モニターを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニターを使用してプラグ・アンド・プレイ・モニターを検知することができるか確かめてください。	1-16 1-17
	ブランク画面になっていませんか？ BLANK ボタンを押して確認してください。	1-28
	コンポーネントビデオ入力の場合は「COMPONENT」が正しく設定されていますか？ 「COMPONENT」の設定を変更してください。	2-10
色が薄い、 色あいが悪い	色の濃さや色あいは正しく調節されていますか？ 「色の濃さ」「色あい」などの調節を行ってください。	2-4
	色空間は正しく設定されていますか？ 「色空間」の設定を変更してください。	2-10
	色温度は正しく設定されていますか？ 「色温度」の設定を変更してください。	2-5
	ビデオフォーマットは正しく調節されていますか？ 「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	2-11
	画面の明るさやコントラスト、ガンマは正しく調節されていますか？ 「明るさ」や「コントラスト」、「ガンマ」を調節してください。	2-3 2-5
映像が暗い	静音モードが設定されていませんか？ 「静音」を「標準モード」にしてください。	2-4
	ランプの寿命は近づいていませんか？ 電源を入れたとき「ランプを交換して下さい」などのメッセージが出ていたら、ランプを交換してください。	1-30 1-31
画像がぼやける、 もやがかかってみえる、 画像周辺が明るい	フォーカスは調節されていますか？クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「クロック位相」を調節してください。	1-23 2-8
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	1-34
映像がゆれる (陽炎)	前面の排気口が何かでじゃまされていませんか？ 障害物を取り除いてください。	1-11

### お知らせ

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画や動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比 (16:9 など) の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。この場合は白画面 (画面全体が白い無地の映像) を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能 (☐ 1-28、2-15) をご利用ください。
- ランプ点灯後の暖気期間 (約 5 分間) 中にランプによる画面ちらつきが発生する場合があります。また暖気期間を過ぎてもわずかな画面ちらつきがつづく場合があります。静音モードを標準 ↔ 静音切り替えるとちらつきが止まる場合があります。ちらつきが気になる場合は試して見てください。また、ランプによるちらつきが発生しても、故障や寿命劣化の原因にはなりません。そのままお使いください。ランプの経時変化にともなってちらつきがなくなることがあります。

# 技術情報

## パソコン信号について

### 対応信号例

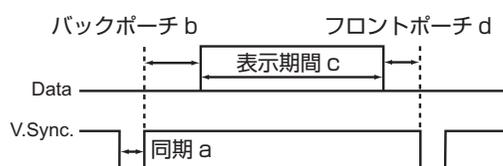
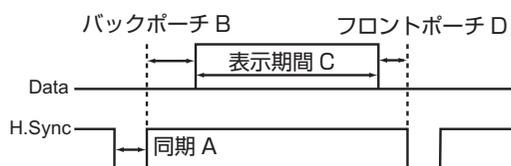
解像度 (水平 x 垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード
720 x 400	37.9	85	VESA	TEXT
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 x 480	37.5	75	VESA	VGA (75Hz)
640 x 480	43.3	85	VESA	VGA (85Hz)
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 x 600	46.9	75	VESA	SVGA (75Hz)
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832 x 624	49.7	74.5		Mac 16" mode
1024 x 768	48.4	60	VESA	XGA (60Hz)
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 x 768	60	75	VESA	XGA (75Hz)
1024 x 768	68.7	85	VESA	XGA (85Hz)
1152 x 864	67.5	75	VESA	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 960	60	60	VESA	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	64	60	VESA	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	80	75	VESA	SXGA (75Hz)
1280 x 1024	91.1	85	VESA	SXGA (85Hz)
1600 x 1200	75	60	VESA	UXGA (60Hz)
1280 x 768	47.7	60	VESA	W-XGA (60Hz)
1400 x 1050	65.2	60	VESA	SXGA+ (60Hz)

### お知らせ

- 本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性を予めご確認ください。
- コンピュータによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照下さい。
- 本機ではUXGA (1600 × 1200) の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。  
入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 「オートアジャスト」機能は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- コンポジットシンク、シンクオングリーンなどの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

## 初期設定信号

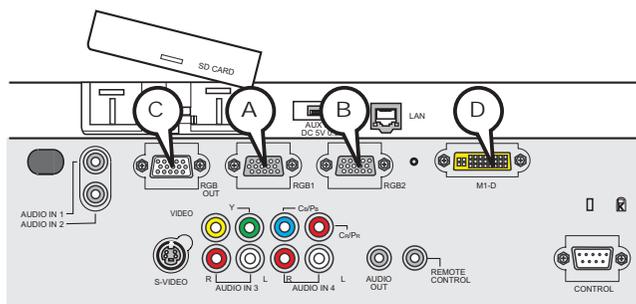
本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて表示メニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



パソコン／信号源	水平信号タイミング (μs)			
	(A)	(B)	(C)	(D)
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
VGA (72Hz)	1.3	4.1	20.3	0.8
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16" mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152 x 864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280 x 960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
SXGA (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
SXGA (75Hz)	1.1	1.8	9.5	0.1
SXGA (85Hz)	1.0	1.4	8.1	0.4
UXGA (60Hz)	1.2	1.9	9.9	0.4
W-XGA (60Hz)	1.7	2.5	16.0	0.8
SXGA+ (60Hz)	1.2	2.0	11.4	0.7

パソコン／信号源	垂直信号タイミング (ライン数)			
	(a)	(b)	(c)	(d)
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (85Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16" mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152 x 864 (75Hz)	3	32	864	1
1280 x 960 (60Hz)	3	36	960	1
SXGA (60Hz)	3	38	1024	1
SXGA (75Hz)	3	38	1024	1
SXGA (85Hz)	3	44	1024	1
UXGA (60Hz)	3	46	1200	1
W-XGA (60Hz)	3	23	768	1
SXGA+ (60Hz)	3	33	1050	1

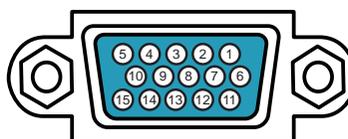
# 入出力信号端子について



## ⒶRGB IN1, ⒷRGB IN2, ⒸRGB OUT

D-sub 15ピンミニシュリンクジャック

- ・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
- ・水平 / 垂直同期信号振幅：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号；TTL レベル

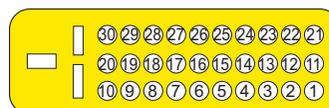


ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号（赤）	9	—
2	映像信号（緑）	10	接地
3	映像信号（青）	11	—
4	—	12	A : SDA (DDC データ) B / C : —
5	接地	13	水平同期信号 / 複合同期信号 .
6	接地（赤）	14	垂直同期信号
7	接地（緑）	15	A : SCL (DDC クロック) B / C : —
8	接地（青）		

## ⒹM1-D

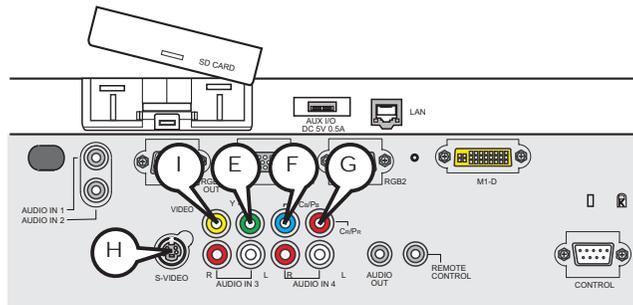
M1-D ジャック

- ・信号種別：T.M.D.S
- ・差動信号振幅：DC 150-1200mV / AC 1.56Vp-p
- ・信号振幅：TTL レベル（正極性 / 負極性）



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2 +	11	T.M.D.S. データ 1 +	21	T.M.D.S. データ 0 +
2	T.M.D.S. データ 2 -	12	T.M.D.S. データ 1 -	22	T.M.D.S. データ 0 -
3	接地 (T.M.D.S. データ 2)	13	接地 (T.M.D.S. データ 1)	23	接地 (T.M.D.S. データ 0)
4	接地 (T.M.D.S. クロック)	14	T.M.D.S. クロック +	24	USB +5V DC 入力
5	—	15	T.M.D.S. クロック -	25	接地 (DDC & USB)
6	垂直同期信号 .	16	USB データ +	26	DDC データ (SDA)
7	—	17	USB データ -	27	DDC クロック (SCL)
8	ホットプラグ検出 (+5V DC 出力)	18	—	28	DDC +5V DC 入力
9	—	19	—	29	—
10	—	20	—	30	—

## 入出力信号端子について (つづき)



応用編

COMPONENT VIDEO ① Y, ② C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>, ③ C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>

RCA ジャック × 3

・ 信号方式 : 525i(480i), 525p(480p), 625i(576i), 750p(720p), 1125i(1080i)

端子	信号
Y	コンポーネントビデオ Y 1.0 ± 0.1V <sub>p-p</sub> , 75 Ω 終端, コンポジット同期
C <sub>B</sub> / R <sub>B</sub>	コンポーネントビデオ C <sub>B</sub> / R <sub>B</sub> 0.7 ± 0.1V <sub>p-p</sub> , 75 Ω 終端
C <sub>P</sub> / P <sub>R</sub>	コンポーネントビデオ C <sub>P</sub> / P <sub>R</sub> 0.7 ± 0.1V <sub>p-p</sub> , 75 Ω 終端

④ S-VIDEO

ミニ DIN4 ピンジャック



ピン No.	信号
1	色信号 0.286V <sub>p-p</sub> (NTSC, burst), 75 Ω 終端 0.300V <sub>p-p</sub> (PAL / SECAM, burst), 75 Ω 終端
2	輝度信号 1.0V <sub>p-p</sub> , 75 Ω 終端
3	接地
4	接地

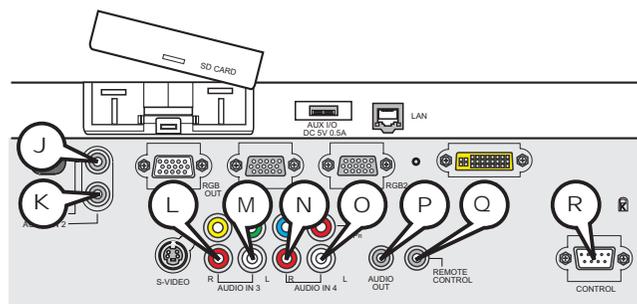
① VIDEO

RCA ジャック

・ 信号方式 : NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43

・ 入力信号 : 1.0 ± 0.1V<sub>p-p</sub>, 75 Ω 終端

## 入出力信号端子について (つづき)



### Ⓜ AUDIO IN1, Ⓨ AUDIO IN2

φ 3.5 ステレオミニジャック  
 ・入力信号：500mVrms, 47k Ω終端

### AUDIO IN3 Ⓦ R/ Ⓧ L, AUDIO IN4 Ⓩ R/ ⓐ L

RCA ジャック× 各2  
 ・入力信号：500mVrms, 47k Ω終端

### ⓑ AUDIO OUT

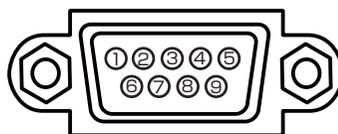
φ 3.5 ステレオミニジャック  
 ・入力信号：500mVrms, 出力インピーダンス 1k Ω

### ⓓ REMOTE CONTROL

φ 3.5 ステレオミニジャック  
 ・本端子とリモコン送信機を接続してください。

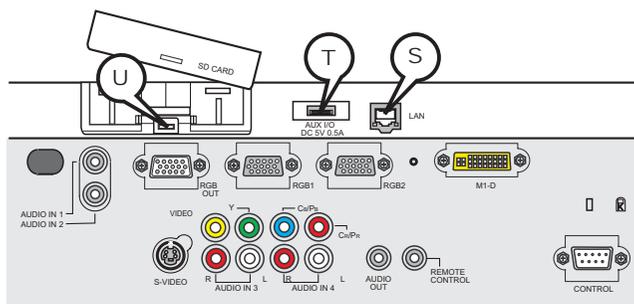
### Ⓡ CONTROL

D-sub 9 ピンプラグ  
 ・RS-232C 通信については、  
 次章「RS-232C 通信について」をご参照下さい。



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	—	4	—	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	—	9	—

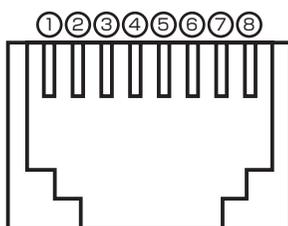
## 入出力信号端子について (つづき)



応用編

### ⑤ LAN

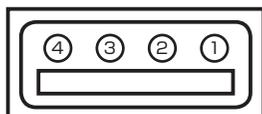
RJ-45 ジャック



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	TX+	4	—	7	—
2	TX-	5	—	8	—
3	RX+	6	RX-		

### ① AUX I/O

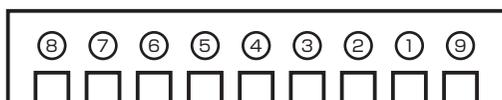
USB A type jack



ピン No.	信号
1	+5V
2	- データ
3	+ データ
4	接地

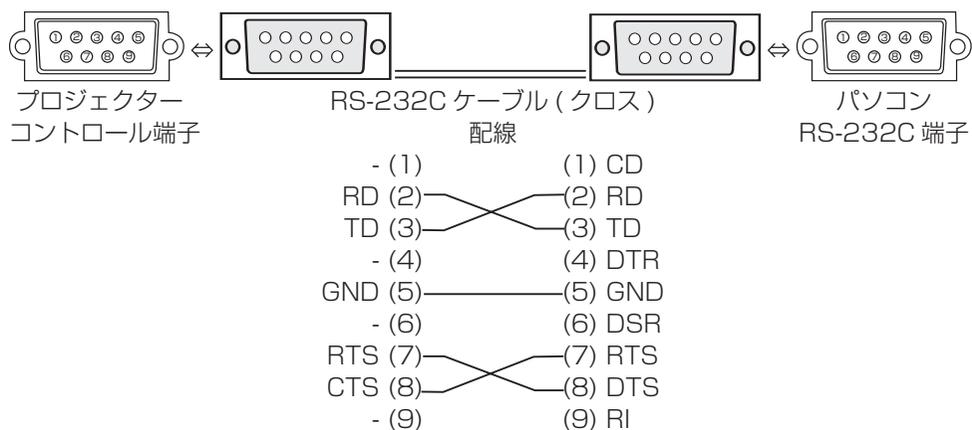
### ④ SD card slot

SD card slot



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	CD/ データ 3	4	電源	7	データ 0
2	コマンドライン	5	クロック	8	データ 1
3	接地	6	接地	9	データ 2

# RS-232C 通信について



## ケーブルの接続

1. 本機とパソコンの電源を切って下さい。
2. プロジェクターのコントロール端子とコンピュータの RS-232C 端子を RS-232C ケーブル (クロス) で接続してください。ケーブルには上図の配線仕様のものをお使いください。
3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが立ち上がったあとに本機の電源を入れてください。

## 通信設定

### 19200bps, 8N1

1. プロトコル構成  
ヘッダ (7 バイト) + コマンドデータ (6 バイト)
2. ヘッダ  
BE + EF + 03 + 06 + 00 + CRC\_low + CRC\_high  
CRC\_low : コマンドデータに対する CRC フラグ下位 1 バイト  
CRC\_high : コマンドデータに対する CRC フラグ上位 1 バイト
3. コマンドデータ

#### コマンドデータの構成

byte_0	byte_1	byte_2	byte_3	byte_4	byte_5
Action		Type		Setting code	
low	high	low	high	low	high

#### Action (byte\_0 - 1)

Action	Classification	Content
1	SET	Change setting to desired value.
2	GET	Read projector internal setup value.
4	INCREMENT	Increment setup value by 1
5	DECREMENT	Decrement setup value by 1
6	EXECUTE	Run a command.

## RS-232C 通信について (つづき)

### 3. コマンドデータ (つづき)

#### プロジェクターの状態を問い合わせる場合 (Get command)

- (1) コンピュータから 質問コードヘッダ + コマンドデータ ( '02H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは 回答コード '1DH' + data(2byte) をコンピュータへ返します。

#### プロジェクターの設定を変更する場合 (Set command)

- (1) コンピュータから 設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '01H' + '00H' + type(2bytes) + セットアップコード (2 bytes)) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を変更します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

#### プロジェクターの設定をデフォルトにする場合 (Reset Command)

- (1) コンピュータからデフォルト設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '06H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは指定された設定コードをデフォルトに変えます。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

#### プロジェクターの設定値を増やす場合 (Increment command)

- (1) コンピュータから増加設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '04H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を増加します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

#### プロジェクターの設定値を減らす場合 (Decrement command)

- (1) コンピュータから減少設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '05H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を減少します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

#### プロジェクターが受信したコマンドを理解できない場合

プロジェクターが受信したコマンドを理解できない場合は、プロジェクターはエラーコード '15H' をコンピュータへ送信します。

まれに、プロジェクターがコマンドを正しく受信できない場合があり、この場合受信コマンドは実行されず、エラーコード '15H' をコンピュータへ送信します。エラーコード '15H' を受信した場合は再度同じコマンドを送信してください。

#### プロジェクターが受信したコマンドを実行できない場合

プロジェクターが受信したコマンドを実行できない場合は、プロジェクターはエラーコード '1CH' + 'xxxxH' をコンピュータへ送信します。

なお、必要なコマンドコード長より長い場合は、プロジェクターは余分なコードを無視します。逆に、必要なコマンドコード長より短い場合、本エラーコードをコンピュータへ送信します。

#### お知らせ

- プロジェクターが未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 回答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- プロジェクターの電源投入時およびランプ点灯後にプロジェクターからテスト用のデータが出力されますが無視してください。
- ウォームアップ中はコマンドを受信できません。

# RS-232C コマンド一覧

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
Power	Set	Turn off	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		Turn on	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
		[Example return]	00 00 [Off]	01 00 [On]	02 00 [Cool down]				
Input Source	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		M1-D	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
		MIU	BE EF	03	06 00	5E D1	01 00	00 20	06 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00	
Error Status	Get		BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00
		[Example return]	00 00 [Normal]	01 00 [Cover error]	02 00 [Fan error]	03 00 [Lamp error]	04 00 [Temp error]	05 00 [Air flow error]	06 00 [Lamp time error]
BRIGHTNESS	Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
BRIGHTNESS Reset	Execute	BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
CONTRAST	Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
CONTRAST Reset	Execute	BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00	
PICTURE MODE	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00
		CINEMA	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00
		DYNAMIC	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00
		BOARD(BLACK)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00
		BOARD(GREEN)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00
		WHITEBOARD	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00
	Get	BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00	
	[Example return]	00 00 [Normal]	01 00 [Cinema]	04 00 [Dynamic]	10 00 [Custom]	20 00 [BOARD(BLACK)]	21 00 [BOARD(GREEN)]	22 00 [WHITEBOARD]	
GAMMA	Set	#1 DEFAULT	BE EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00
		#1 CUSTOM	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00
		#2 DEFAULT	BE EF	03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00
		#2 CUSTOM	BE EF	03	06 00	97 FC	01 00	A1 30	11 00
		#3 DEFAULT	BE EF	03	06 00	67 E8	01 00	A1 30	22 00
		#3 CUSTOM	BE EF	03	06 00	67 FC	01 00	A1 30	12 00
		#4 DEFAULT	BE EF	03	06 00	F7 E9	01 00	A1 30	23 00
		#4 CUSTOM	BE EF	03	06 00	F7 FD	01 00	A1 30	13 00
		#5 DEFAULT	BE EF	03	06 00	C7 EB	01 00	A1 30	24 00
	#5 CUSTOM	BE EF	03	06 00	C7 FF	01 00	A1 30	14 00	
Get	BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00		

## RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
User Gamma Pattern	Set	Off	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00
		9 step gray scale	BE EF	03	06 00	6B FB	01 00	80 30	01 00
		15 steps gray scale	BE EF	03	06 00	9B FB	01 00	80 30	02 00
		Ramp	BE EF	03	06 00	0B FA	01 00	80 30	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00	
User Gamma Point 1	Get	BE EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00	
User Gamma Point 2	Get	BE EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00	
User Gamma Point 3	Get	BE EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00	
User Gamma Point 4	Get	BE EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00	
User Gamma Point 5	Get	BE EF	03	06 00	38 FF	02 00	94 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	5E FF	04 00	94 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	8F FE	05 00	94 30	00 00	
User Gamma Point 6	Get	BE EF	03	06 00	C4 FE	02 00	95 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	A2 FE	04 00	95 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	73 FF	05 00	95 30	00 00	
User Gamma Point 7	Get	BE EF	03	06 00	80 FE	02 00	96 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	E6 FE	04 00	96 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	37 FF	05 00	96 30	00 00	
User Gamma Point 8	Get	BE EF	03	06 00	7C FF	02 00	97 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	1A FF	04 00	97 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB FE	05 00	97 30	00 00	
COLOR TEMP	Set	LOW	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00
		MID	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00
		Hi-BRIGHT-1	BE EF	03	06 00	3B F2	01 00	B0 30	08 00
		Hi-BRIGHT-2	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	B0 30	09 00
		CUSTOM-LOW	BE EF	03	06 00	AB F9	01 00	B0 30	11 00
		CUSTOM-MID	BE EF	03	06 00	5B F9	01 00	B0 30	12 00
		CUSTOM-HIGH	BE EF	03	06 00	CB F8	01 00	B0 30	13 00
		CUSTOM-Hi-BRIGHT-1	BE EF	03	06 00	FB FF	01 00	B0 30	18 00
	CUSTOM-Hi-BRIGHT-2	BE EF	03	06 00	6B FE	01 00	B0 30	19 00	
	Get	BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00	
COLOR TEMP GAIN R	Get	BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00	
COLOR TEMP GAIN G	Get	BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00	

## RS-232C コマンド一覧(つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
COLOR TEMP GAIN B	Get	BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00	
COLOR TEMP OFFSET R	Get	BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00	
COLOR TEMP OFFSET G	Get	BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00	
COLOR TEMP OFFSET B	Get	BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00	
COLOR	Get	BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00	
COLOR Reset	Execute	BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00	
TINT	Get	BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00	
TINT Reset	Execute	BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00	
SHARPNESS	Get	BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00	
SHARPNESS Reset	Execute	BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00	
MY MEMORY Load	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
MY MEMORY Save	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00
PROGRESSIVE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF	03	06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		FILM	BE EF	03	06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	79 72	02 00	07 22	00 00	
3D-YCS	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	0A 22	00 00
		MOVIE	BE EF	03	06 00	76 71	01 00	0A 22	01 00
		STILL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	0A 22	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	D5 70	02 00	0A 22	00 00	
VIDEO NR	Set	LOW	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00
		MID	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00	

## RS-232C コマンド一覧(つづき)

Names	Operation Type	Header					Command Data		
						CRC	Action	Type	Setting Code
ASPECT	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		14:9	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	08 20	09 00
		SMALL	BE EF	03	06 00	FE D1	01 00	08 20	02 00
		NORMAL	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00
	Get	BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00	
OVER SCAN	Get	BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00	
OVER SCAN Reset	Execute	BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00	
V POSITION	Get	BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00	
V POSITION Reset	Execute	BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00	
H POSITION	Get	BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00	
H POSITION Reset	Execute	BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00	
H PHASE	Get	BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00	
H SIZE	Get	BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00	
H SIZE Reset	Execute	BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00	
AUTO ADJUST	Execute	BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00	
COLOR SPACE	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00	
COMPONENT	Set	COMPONENT	BE EF	03	06 00	4A D7	01 00	17 20	00 00
		SCART RGB	BE EF	03	06 00	DA D6	01 00	17 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	79 D7	02 00	17 20	00 00	
C-VIDEO FORMAT	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	11 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	11 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	11 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	52 70	01 00	11 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	62 77	01 00	11 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	11 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	11 22	07 00
	Get	BE EF	03	06 00	31 76	02 00	11 22	00 00	
S-VIDEO FORMAT	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	12 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	86 74	01 00	12 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	16 75	01 00	12 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	16 70	01 00	12 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	26 77	01 00	12 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	12 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	76 74	01 00	12 22	07 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 76	02 00	12 22	00 00	

## RS-232C コマンド一覧(つづき)

Names	Operation Type	Header					Command Data		
						CRC	Action	Type	Setting Code
M1-D	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	3E D9	01 00	20 20	00 00
		ENHANCED	BE EF	03	06 00	AE D8	01 00	20 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	0D D9	02 00	20 20	00 00	
RGB 1	Set	SYNC ON G OFF	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	10 20	02 00
		SYNC ON G ON	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	10 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	0D D6	02 00	10 20	00 00	
RGB 2	Set	SYNC ON G OFF	BE EF	03	06 00	A2 D6	01 00	11 20	02 00
		SYNC ON G ON	BE EF	03	06 00	32 D7	01 00	11 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	F1 D7	02 00	11 20	00 00	
FRAME LOCK	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	CB D6	01 00	14 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	5B D7	01 00	14 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	F8 D6	02 00	14 30	00 00	
KEYSTONE V	Get	BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00	
KEYSTONE V Reset	Execute	BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00	
KEYSTONE H	Get	BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00	
KEYSTONE H Reset	Execute	BE EF	03	06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00	
ACTIVE IRIS	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	0B 22	01 00	04 33	00 00
		THEATER	BE EF	03	06 00	CB 5F	01 00	04 33	10 00
		PRESENTATION	BE EF	03	06 00	5B 2E	01 00	04 33	11 00
	Get	BE EF	03	06 00	38 22	02 00	04 33	00 00	
WHISPER	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		WHISPER	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00	
MIRROR	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		H:INVERT	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		V:INVERT	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		H&V:INVERT	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00	
VOLUME-RGB1	Get	BE EF	03	06 00	CD CC	02 00	60 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	AB CC	04 00	60 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	7A CD	05 00	60 20	00 00	
VOLUME-RGB2	Get	BE EF	03	06 00	FD CD	02 00	64 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B CD	04 00	64 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A CC	05 00	64 20	00 00	
VOLUME-M1-D	Get	BE EF	03	06 00	89 CC	02 00	63 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF CC	04 00	63 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E CD	05 00	63 20	00 00	
VOLUME-Video	Get	BE EF	03	06 00	31 CD	02 00	61 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	57 CD	04 00	61 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	86 CC	05 00	61 20	00 00	
VOLUME-S-Video	Get	BE EF	03	06 00	75 CD	02 00	62 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	13 CD	04 00	62 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	C2 CC	05 00	62 20	00 00	

## RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data		
						CRC	Action	Type
VOLUME-Component	Get	BE EF	03	06 00	01 CC	02 00	65 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	67 CC	04 00	65 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B6 CD	05 00	65 20	00 00
VOLUME - MIU	Get	BE EF	03	06 00	45 CC	02 00	66 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	23 CC	04 00	66 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	F2 CD	05 00	66 20	00 00
TREBLE-RGB1	Get	BE EF	03	06 00	0D C8	02 00	70 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6B C8	04 00	70 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA C9	05 00	70 20	00 00
TREBLE-RGB2	Get	BE EF	03	06 00	3D C9	02 00	74 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5B C9	04 00	74 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8A C8	05 00	74 20	00 00
TREBLE-M1-D	Get	BE EF	03	06 00	49 C8	02 00	73 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2F C8	04 00	73 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE C9	05 00	73 20	00 00
TREBLE-Video	Get	BE EF	03	06 00	F1 C9	02 00	71 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	97 C9	04 00	71 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 C8	05 00	71 20	00 00
TREBLE-S-Video	Get	BE EF	03	06 00	B5 C9	02 00	72 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 C9	04 00	72 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 C8	05 00	72 20	00 00
TREBLE-Component	Get	BE EF	03	06 00	C1 C8	02 00	75 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A7 C8	04 00	75 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	76 C9	05 00	75 20	00 00
TREBLE - MIU	Get	BE EF	03	06 00	85 C8	02 00	76 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E3 C8	04 00	76 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	32 C9	05 00	76 20	00 00
BASS-RGB1	Get	BE EF	03	06 00	0D FB	02 00	80 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6B FB	04 00	80 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA FA	05 00	80 20	00 00
BASS-RGB2	Get	BE EF	03	06 00	3D FA	02 00	84 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5B FA	04 00	84 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8A FB	05 00	84 20	00 00
BASS-M1-D	Get	BE EF	03	06 00	49 FB	02 00	83 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2F FB	04 00	83 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE FA	05 00	83 20	00 00
BASS-Video	Get	BE EF	03	06 00	F1 FA	02 00	81 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	97 FA	04 00	81 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 FB	05 00	81 20	00 00
BASS-S-Video	Get	BE EF	03	06 00	B5 FA	02 00	82 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 FA	04 00	82 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 FB	05 00	82 20	00 00
BASS-Component	Get	BE EF	03	06 00	C1 FB	02 00	85 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A7 FB	04 00	85 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	76 FA	05 00	85 20	00 00

応用編

## RS-232C コマンド一覧(つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
BASS - MIU	Get	BE EF	03	06 00	85 FB	02 00	86 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	E3 FB	04 00	86 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	32 FA	05 00	86 20	00 00	
SRS WOW - RGB1	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FE FF	01 00	90 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	9E FE	01 00	90 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	0E FF	01 00	90 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD FF	02 00	90 20	00 00	
SRS WOW - RGB2	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	CE FE	01 00	94 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	AE FF	01 00	94 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	3E FF	01 00	94 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	FD FE	02 00	94 20	00 00	
SRS WOW - M1-D	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	BA FF	01 00	93 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	DA FE	01 00	93 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	4A FF	01 00	93 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	89 FF	02 00	93 20	00 00	
SRS WOW - Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	02 FE	01 00	91 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	62 FF	01 00	91 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	F2 FE	01 00	91 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	31 FE	02 00	91 20	00 00	
SRS WOW - S-Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	46 FE	01 00	92 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	26 FF	01 00	92 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	B6 FE	01 00	92 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 FE	02 00	92 20	00 00	
SRS WOW - Component	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	32 FF	01 00	95 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	52 FE	01 00	95 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	C2 FF	01 00	95 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	01 FF	02 00	95 20	00 00	
SRS WOW - MIU	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	76 FF	01 00	96 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	16 FE	01 00	96 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	86 FF	01 00	96 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	45 FF	02 00	96 20	00 00	
MUTE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00	
SPEAKER	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00	
AUDIO - RGB1	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FE DD	01 00	30 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	6E DC	01 00	30 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	9E DC	01 00	30 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	0E DD	01 00	30 20	03 00
	Audio4	BE EF	03	06 00	3E DF	01 00	30 20	04 00	
Get	BE EF	03	06 00	CD DD	02 00	30 20	00 00		

## RS-232C コマンド一覧(つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
AUDIO - RGB2	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	CE DC	01 00	34 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	34 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	AE DD	01 00	34 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	3E DC	01 00	34 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	0E DE	01 00	34 20	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	FD DC	02 00	34 20	00 00
AUDIO - M1-D	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	BA DD	01 00	33 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	2A DC	01 00	33 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	DA DC	01 00	33 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	4A DD	01 00	33 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	7A DF	01 00	33 20	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	89 DD	02 00	33 20	00 00
AUDIO - Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	02 DC	01 00	31 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	92 DD	01 00	31 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	62 DD	01 00	31 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	F2 DC	01 00	31 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	C2 DE	01 00	31 20	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	31 DC	02 00	31 20	00 00
AUDIO - S-Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	46 DC	01 00	32 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	D6 DD	01 00	32 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	26 DD	01 00	32 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	B6 DC	01 00	32 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	86 DE	01 00	32 20	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	75 DC	02 00	32 20	00 00
AUDIO - Component	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	32 DD	01 00	35 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	A2 DC	01 00	35 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	52 DC	01 00	35 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	C2 DD	01 00	35 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	F2 DF	01 00	35 20	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	01 DD	02 00	35 20	00 00
AUDIO - MIU	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	76 DD	01 00	36 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	E6 DC	01 00	36 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	16 DC	01 00	36 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	86 DD	01 00	36 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	B6 DF	01 00	36 20	04 00
		MIU	BE EF	03	06 00	B6 D0	01 00	36 20	10 00
Get	BE EF	03	06 00	45 DD	02 00	36 20	00 00		
IR REMOTE Front	Set	Off	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00	
IR REMOTE Rear	Set	Off	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00	
IR REMOTE Top	Set	Off	BE EF	03	06 00	47 33	01 00	02 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	D7 32	01 00	02 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	74 33	02 00	02 26	00 00	
IR REMOTE FREQ. NORMAL	Set	Off	BE EF	03	06 00	FF 3D	01 00	30 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	6F 3C	01 00	30 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	CC 3D	02 00	30 26	00 00	

## RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
IR REMOTE FREQ. HIGH	Set	Off	BE EF	03	06 00	03 3C	01 00	31 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	93 3D	01 00	31 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	30 3C	02 00	31 26	00 00	
LANGUAGE	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		简体中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		繁體中文	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		РУССКИЙ	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
		SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00
	POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00	
TÜRKÇE	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00		
	Get	BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00	
MENU POSITION H	Get	BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00	
MENU POSITION H Reset	Execute	BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00	
MENU POSITION V	Get	BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00	
MENU POSITION V Reset	Execute	BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00	
BLANK	Set	My Screen	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		ORIGINAL	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
		BLUE	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		WHITE	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		BLACK	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
	Get	BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00	
BLANK On/Off	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00	
START UP	Set	My Screen	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
		ORIGINAL	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		TURN OFF	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00	
My Screen LOCK	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00	

## RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header					Command Data		
						CRC	Action	Type	Setting Code
MESSAGE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30	00 00	
AUTO SEARCH	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00	
AUTO OFF	Get	BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00	
AUTO ON	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00	
LAMP TIME	Get	BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00	
LAMP TIME Reset	Execute	BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00	
FILTER TIME	Get	BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00	
FILER TIME Reset	Execute	BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00	
AUTO KEYSTONE EXECUTE	Execute	BE EF	03	06 00	E5 D1	06 00	0D 20	00 00	
AUTO KEYSTONE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	EAD1	01 00	0F 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	7AD0	01 00	0F 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	D9 D1	02 00	0F 20	00 00	
MY BUTTON-1	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	3A 33	01 00	00 36	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	FA 31	01 00	00 36	04 00
		M1-D	BE EF	03	06 00	CA 33	01 00	00 36	03 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	6A 30	01 00	00 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	5A 32	01 00	00 36	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	AA 32	01 00	00 36	01 00
		MIU	BE EF	03	06 00	9A 30	01 00	00 36	06 00
		INFORMATION	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		AUTO KEYSTONE EXECUTE	BE EF	03	06 00	6A 3F	01 00	00 36	11 00
		MY MEMORY	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		PICTURE MODE	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		FILTER RESET	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		ACTIVE IRIS	BE EF	03	06 00	AA 3D	01 00	00 36	15 00
		e-SHOT	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00
	VOLUME +	BE EF	03	06 00	CA 3C	01 00	00 36	17 00	
VOLUME -	BE EF	03	06 00	3A 39	01 00	00 36	18 00		
Get	BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00		

応用編

## RS-232C コマンド一覧(つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
MY BUTTON-2	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	C6 32	01 00	01 36	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	06 30	01 00	01 36	04 00
		M1-D	BE EF	03	06 00	36 32	01 00	01 36	03 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	96 31	01 00	01 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	A6 33	01 00	01 36	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	56 33	01 00	01 36	01 00
		MIU	BE EF	03	06 00	66 31	01 00	01 36	06 00
		INFORMATION	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		AUTO KEYSTONE EXECUTE	BE EF	03	06 00	96 3E	01 00	01 36	11 00
		MY MEMORY	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		PICTURE MODE	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		FILTER RESET	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		ACTIVE IRIS	BE EF	03	06 00	56 3C	01 00	01 36	15 00
		e-SHOT	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00
		VOLUME +	BE EF	03	06 00	36 3D	01 00	01 36	17 00
VOLUME -	BE EF	03	06 00	C6 38	01 00	01 36	18 00		
	Get	BE EF	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00	
MAGNIFY	Get	BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00	
FREEZE	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		FREEZE	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00	

# 取扱説明書

液晶プロジェクター

型名 CP-X608

## 【MIU 編】

この【MIU 編】では、本製品のネットワーク機能と、PC レスプレゼンテーション機能について説明します。

### はじめに

ご使用の前に、必ず本書の【基本編】、【応用編】、【MIU 編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ

基本編	1 - 1
応用編	2 - 1
使用上のご注意 < 必ずお読みください >	3 - 2
1. 主な機能	3 - 3
1.1 “ライブモード”	3 - 3
1.2 “PC レス プレゼンテーション” モード	3 - 4
2. 機器の接続とネットワーク設定について	3 - 6
2.1 必要な機器について	3 - 6
2.2 “One-Click” 機能で自動的にネットワークに接続する	3 - 6
2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合	3 - 8
2.4 手動で設定してネットワークに接続する - 無線 LAN の場合	3 - 14
2.5 Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定と制御をする	3 - 17
2.6 Web ブラウザを使ってプロジェクターをリモートコントロールする	3 - 40
3. 専用ソフトウェアの使い方 - 基本編	3 - 42
3.1 “MIU LiveViewer” について	3 - 42
3.2 “PC レス プレゼンテーション” 機能の使い方 - 基本編	3 - 50
4. より進んだ使い方について	3 - 52
4.1 “MIU LiveViewer” の使い方 - 応用編	3 - 52
4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編	3 - 54
4.3 プレイリストについて	3 - 65
4.4 電子メールによるエラー / 警告の通知をする	3 - 66
4.5 SNMP を使ってプロジェクターを管理する	3 - 68
4.6 スケジュール機能でプロジェクターを制御する	3 - 69
4.7 静止画転送機能について	3 - 72
4.8 ネットワークからのコマンド制御	3 - 73
5. 故障かな?と思ったら	3 - 78
6. 仕様	3 - 80

保証とアフターサービスについて (必ずお読みください。)

# はじめに

## 使用上のご注意 <必ずお読みください>

**SD メモリカード、ワイヤレスネットワークカード、USB メモリの抜き差しに関する制限事項**  
SD メモリカードや USB メモリを抜き取る前に、「MIU」メニューの「特別な設定」から「USB メモリ取外し」、「SD カード取外し」、または「全メディア取外し」の機能を実行してください。ワイヤレスネットワークカードを抜き取る前に、プロジェクターの電源を切ってください。(カード上の LED が点灯していないことも確認してください。)( 2-32)

### その他のご注意

■ 同梱している IEEE 802.11g ワイヤレスネットワークカードは、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。

特に無線局の免許は要りませんが、下記の内容をご理解のうえ、ご使用ください。

● 次の電波を利用する機器の近くでは、使用しないでください。

- ・ 電子レンジ
- ・ 産業・科学・医療機器
- ・ 特定小電力無線局
- ・ 構内無線局

電波の干渉により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなる可能性があります。

● お使いになる場所によっては、電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり、通信できなくなることがあります。

特に、鉄筋、金属、コンクリートなどは、電波を通さないため、ご利用の際は、ご注意ください。

● 使用できるチャンネルについて

2.4GHz の電波を使用しますが、国や地域によって、使用できるチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は異なります。本製品では、同梱された IEEE802.11g ワイヤレスネットワークカードとの組み合わせにより、国、地域によって使用可能なチャンネルは、下表のとおりです。ご確認ください。その他の国については販売店にご相談ください。

国や地域	使用可能なチャンネル
日本	1 ~ 11
アメリカ	1 ~ 11
台湾	1 ~ 11
フランス	1 ~ 11
カナダ	1 ~ 11
イギリス、スペイン、ドイツ、イタリア、オーストリア、スイス、ベルギー、スウェーデン、オランダ、ポルトガル、デンマーク、フィンランド、ギリシャ、ノルウェー	1 ~ 11

● 指定された国以外に、ワイヤレスネットワークカードを持ち込むことはできません。その国の電波法に抵触する恐れがあります。

# 1. 主な機能

## 1.1 “ライブモード”

プロジェクターに内蔵された MIU (Multi Information processing Unit) の主な機能の 1 つに “ライブモード” があります。“ライブモード” 機能を使うと PC に表示されている画像を取り込んで、その画像を有線 LAN または無線 LAN 接続を介してプロジェクターに送信することができます (図 1.1.a)。

PC 画面の画像をキャプチャする場合は、“MIU LiveViewer” という専用ソフトウェアを使用します (図 3-42)。

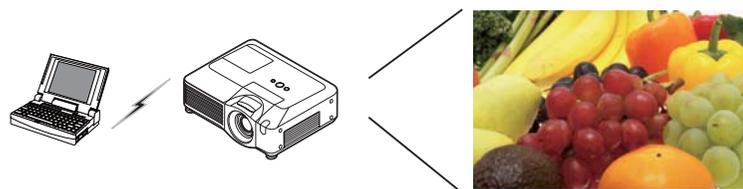


図 1.1.a キャプチャ画像を “MIU LiveViewer” からプロジェクターに出力 (無線 LAN 接続時)

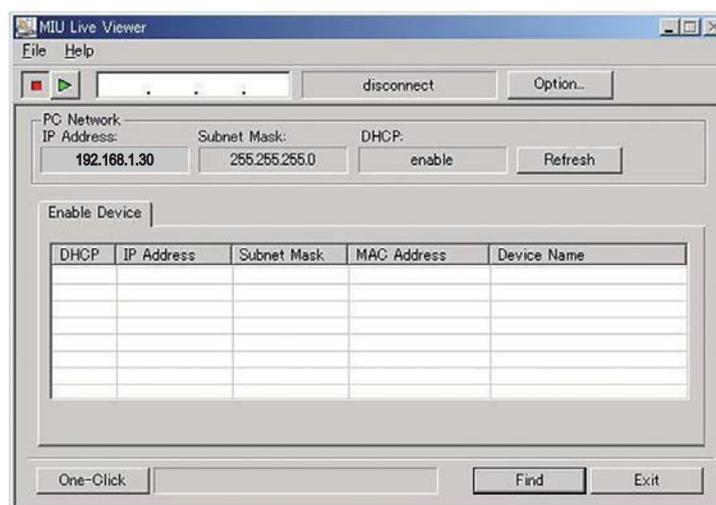


図 1.1.b “MIU LiveViewer” の画面

“MIU LiveViewer” を使って 1 台のプロジェクターから最大 4 台までの PC に接続することができます (図 3-52)。

## 1.2 “PC レス プレゼンテーション” モード

MIU のもう 1 つの主な機能に “PC レス プレゼンテーション” があります、この機能を用いて、SD メモリカードや USB メモリに保存されている画像をプロジェクターに表示させることができます (図 1.2.a)。“PC レス プレゼンテーション” モードには次の 4 つのモードがあります。

- 1) サムネイルモード：複数の画像のサムネイル (縮小した画像) を同時に表示します。
- 2) 全画面モード：1 枚の映像または動画を画面全体で表示します。
- 3) スライドショーモード：一定間隔で次々に画像を表示します。
- 4) ディレクトリモード：メモリに保存されているディレクトリおよびファイルの一覧を表示します。

### [ 使用可能なメモリの種類について ]

-SD メモリカード (SD カード)

-USB メモリ (USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダー)

### お知らせ

- USB メモリーカードは、複数のドライブとして認識されるものは除きます。
- 対応するフォーマットは FAT12 / FAT16(FAT) / FAT32 です。NTFS フォーマットは対応していません。



図 1.2.a “PC レス プレゼンテーション” の画面

“PC レス プレゼンテーション” 機能の操作は、リモコンまたはプロジェクターの各ボタンを用いて行います (図 3-54 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編)。

図 1.2.b に示す Web ブラウザによるリモートコントロールで “PC レス プレゼンテーション” 機能进行操作し、画像の選択、ページの切り替え、表示モードの切り替えが行えます。Web ブラウザによるリモートコントロールで “ライブモード” と “PC レス プレゼンテーション” を切り替えることもできます。

## 1.2 “PC レス プレゼンテーション” モード (つづき)

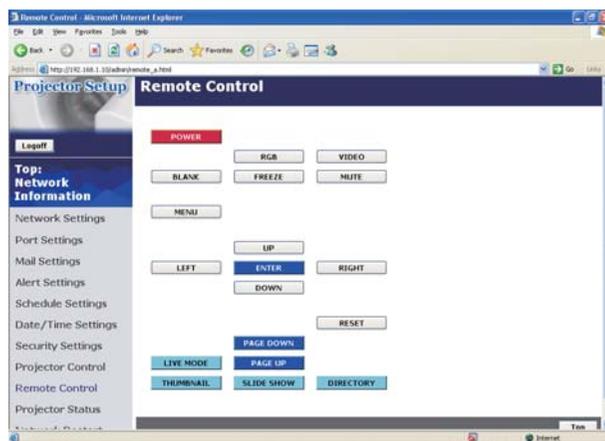


図 1.2.b Web ブラウザでのリモートコントロール

### お知らせ

- “PC レス プレゼンテーション” モードでは、ファイル名とディレクトリ名が以下のように制限されています。
  - (1) プロジェクターの言語設定が日本語に設定されている場合：  
半角英数字および日本語の漢字以外は使用できません。
  - (2) プロジェクターの言語設定が日本語に設定されていない場合：  
半角英数字およびラテン系アルファベット (Latin-1 コード：アルファベットと西ヨーロッパの特殊文字) 以外は使用できません。
- USB ハードディスクに AC アダプタが接続できる場合は AC アダプタを接続して使用してください。

## 2. 機器の接続とネットワーク設定について

### 2.1 必要な機器について

プロジェクター 1 台と PC 1 台の間での接続には、以下の機器が必要です。プロジェクター 1 台と PC 複数台の接続については、4.1 項で説明します。

液晶プロジェクター 1 台

PC（“ライブモード”を使用するためには“MIU LiveViewer”をあらかじめインストールしてください。）

PC で無線接続を行うには、IEEE802.11b または g の無線 LAN 機能（内蔵あるいは外付け）が必要です。

PC に無線 LAN 機能が搭載されていても、プロジェクターと一部の無線 LAN 装置や無線 LAN 内蔵 PC との間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN デバイスを使用することをおすすめします。

LAN ケーブル（有線接続に必要）\*1

ワイヤレスネットワークカード（無線接続に必要）\*2

SD メモリカードまたは USB メモリ（“PC レス プレゼンテーション”に必要）

\*1: CAT-5 以上の LAN ケーブル

\*2: 無線 LAN 接続をインフラストラクチャモードで使用するときには、無線 LAN アクセスポイントが必要です。

### 2.2 “One-Click” 機能で自動的にネットワークに接続する

このセクションでは、“One-Click” 機能を使用してネットワーク接続を行う方法について説明します。この機能を使用すると、PC とプロジェクター間のネットワーク接続が簡単に行えるため、IP アドレスや SSID などの複雑な設定が不要になります。

\* この機能は、複数の PC や複数のプロジェクターを接続しているときには使用できません。

\* “One-Click” 機能を使用するには、OS が Windows 2000 Professional Service Pack 4 または Windows XP で管理者権限で PC にログインしていることが必要です。

\* この機能は一部の LAN ドライバでは使用できない場合があります。“One-Click” 通信機能で接続できない場合は、手動で接続の設定をしてください。（[図3-8](#)、[図3-14](#)、および PC と無線機器の取扱説明書を参照してください。）

#### [有線 LAN 接続] の場合

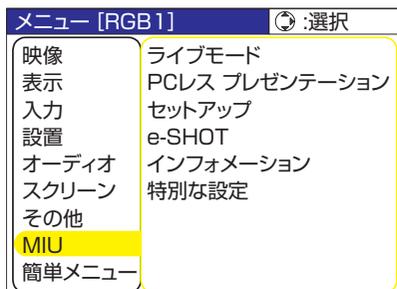
1) プロジェクターのネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスクなど) を変更している場合、プロジェクターのネットワーク設定を工場出荷時のものに戻すことが必要になります。

①リモコンの MENU ボタン、またはプロジェクターの各矢印ボタン▲ / ◀ / ▶ / ▼ を押し、

メニューを表示します。簡単メニューが表示されたときは、詳細メニューに切り替えてください。

②矢印ボタン▲ / ▼ を押して「MIU」メニューを選択します。

## 2.2 “One-Click” 機能で自動的にネットワークに接続する（つづき）



③リモコンの RESET ボタンを押し、「初期化」メニューを表示します。



④▲ボタンを押してネットワーク設定をリセットします。

### お知らせ

- SSID と WEP KEY は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
- これらの項目は、Web ブラウザで再設定することができます（[図3-17](#)）。

2) LAN ケーブルで PC とプロジェクターを接続し、通信の準備を行います。

\* 既存のネットワークに接続する際は、社内のネットワーク管理者にお問い合わせください。

3) “MIU LiveViewer” を起動し、[図 2.2.a](#) のウィンドウを表示します（[図3-42](#)）。

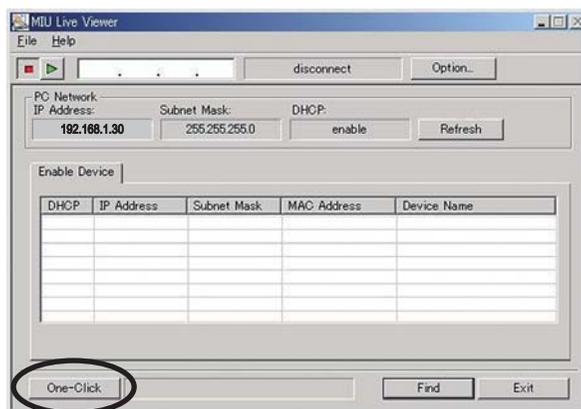


図 2.2.a “MIU LiveViewer” メインウィンドウ

## 2.2 “One-Click” 機能で自動的にネットワークに接続する（つづき）

- 4) 図 2.2.a の “One-Click” ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプロジェクターが検索されます。次に、キャプチャスタートボタンをクリックしてリアルタイム表示を開始します。

### [ 無線 LAN 接続 ]

- 1) プロジェクターのネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスクなど）を変更すると、プロジェクターのネットワーク設定を工場出荷時のものに戻す必要があります。“[ 有線 LAN 接続 ] の場合” をご参照ください。（[図 3-6](#)）
- 2) PC に 802.11b/g 無線 LAN デバイスが内蔵されている場合は、LAN を有効にして、他のネットワーク接続をすべて無効にしてください。PC に無線 LAN デバイスが内蔵されていない場合は、802.11b/g 無線 LAN デバイスを PC に接続してデバイスドライバをインストールしてください。（詳細については、無線 LAN デバイスの取扱説明書を参照して下さい。）
- 3) “MIU LiveViewer” を起動し、図 2.2.a のウィンドウを表示します。
- 4) 図 2.2.a の “One-Click” ボタンをクリックすると、プロジェクターが検出されます。次に、キャプチャ開始ボタンをクリックすると液晶プロジェクターへのリアルタイム表示を開始します。

## 2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合

IP アドレスや SSID を工場出荷時のデフォルト設定以外のものに設定するときには、ネットワーク接続を手動で設定しなければなりません。

この項では、ネットワーク接続を手動で設定する方法について説明します。

### 機器の接続について

まず、プロジェクターと PC を有線 LAN 接続で接続し、PC 設定と接続状態をチェックしてください。次の項では、PC の設定について説明します。

LAN ケーブルを用いてプロジェクターを接続し、PC との通信の準備を行います。

\* 既存のネットワークに接続する際は、社内のネットワーク管理者にお問い合わせください。最後に、プロジェクターの電源を入れます。これで、機器の接続は終わりです。

## 2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合 (つづき)

### ネットワーク設定方法

ここでは、Windows XP と Internet Explorer で行うネットワーク接続の設定方法について説明します。

- 1) 管理者権限のあるユーザーで Windows XP にログオンします。 (\*)
- 2) “スタート” メニューから “コントロールパネル” を開きます。
- 3) “コントロールパネル” の “ネットワークとインターネット接続” を開きます (図 2.3.2.a)。

\* 管理者権限のあるユーザーとは、PC すべての機能にアクセスできるユーザー権限のことをいいます。

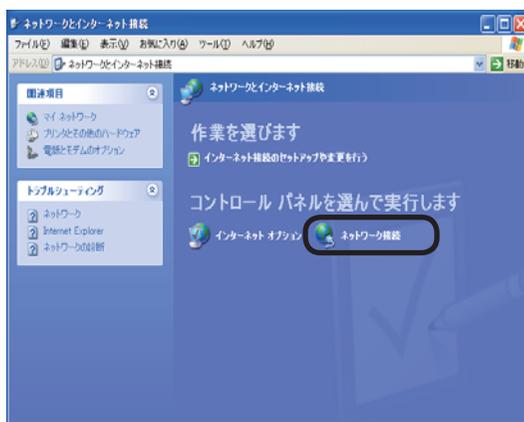


図 2.3.2.a “ネットワークとインターネット接続” ウィンドウ

- 4) “ネットワーク接続” のウィンドウを開きます (図 2.3.2.b)。



図 2.3.2.b “ネットワーク接続” ウィンドウ

## 2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合 (つづき)

- 5) 使用可能なネットワーク装置が複数存在するときには、使用したい装置のみを“有効”にし、残りのデバイスは“無効”にしてください。(この場合、“ローカルエリア接続”を選択します。)
- 6) “ローカルエリア接続のプロパティ” ウィンドウを開きます (図 2.3.2.c)。



図 2.3.2.c “ローカルエリア接続のプロパティ” ウィンドウ

- 7) 使用プロトコルとして“TCP/IP”を設定し、“インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ” ウィンドウを開きます。

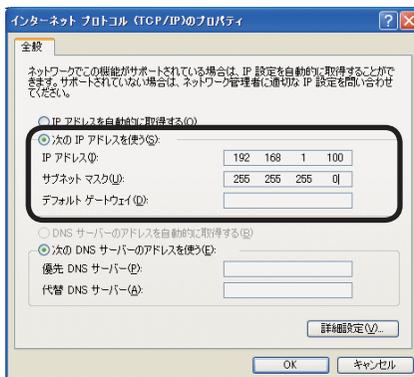


図 2.3.2.d “インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ” ウィンドウ

- 8) PC の “IP アドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルトゲートウェイ” を設定します。

## 2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合 (つづき)

### [IP アドレスについて]

PC に設定する IP アドレスのうちネットワークアドレスを示す部分はプロジェクターと同じでなければなりません。PC の IP アドレス全体が他のネットワーク装置と全く同じになるようには設定しないでください。

たとえば、プロジェクターの初期設定は次のようになっています。

IP address: 192.168.1.10

Subnet mask: 255.255.255.0

この場合、PC の IP アドレスは次のように指定します。

IP address: 192.168.1.xxx (xxx の部分に 10 進数を入力)

Subnet mask: 255.255.255.0

他のネットワークデバイスと重複しない 1 ~ 254 の数値を “xxx” 部分に指定します。この場合、プロジェクターの IP アドレスが “192.168.1.10” であるため、PC の IP アドレスの xxx 部分には 1 ~ 254 の数値を指定できますが、10 は指定できません (プロジェクターで使用しているため)。

プロジェクターの IP アドレスは、「MIU」メニューの「セットアップ」- 「IP ADDRESS」(図2-29) あるいは Web ブラウザを使用して変更できます (図3-17)。

ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、プロジェクターの IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

プロジェクターと PC が同じネットワーク上にある場合 (ネットワークアドレスが同じ場合) は、デフォルトゲートウェイに何も設定しない場合もあります。

\* DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) は、DHCP サーバーから機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。DHCP 機能を搭載したサーバーを DHCP サーバーといいます。

\* プロジェクターと PC がそれぞれ異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、社内のネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合 (つづき)

### “インターネットオプション” の設定

- 1) “ネットワークとインターネット接続” ウィンドウの“インターネットオプション” (図 2.3.3.a) をクリックし、“インターネットのプロパティ” ウィンドウ (図 2.3.3.b) を開きます。

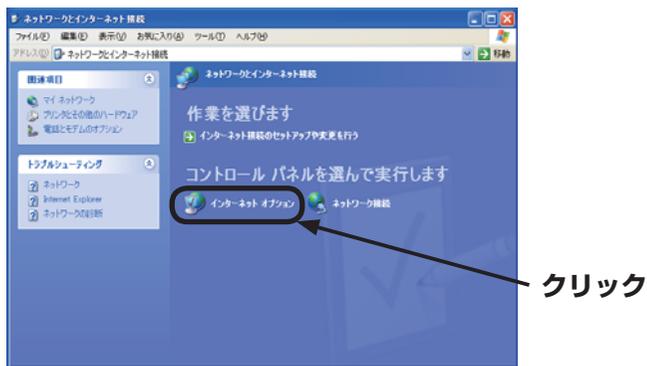


図 2.3.3.a “ネットワークとインターネット接続” ウィンドウ



図 2.3.3.b “インターネットのプロパティ” ウィンドウ

- 2) “接続” タブをクリックした後、“LAN の設定” ボタンをクリックして“ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定”を開きます (図 2.3.3.c)。

## 2.3 手動で設定してネットワークに接続する - 有線 LAN の場合 (つづき)

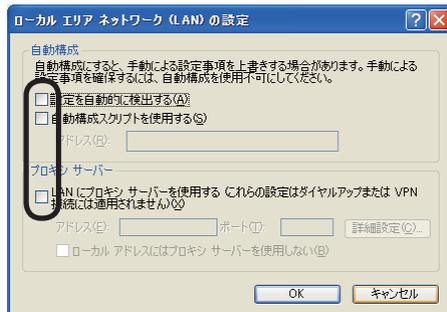


図 2.3.3.c “ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” ウィンドウ

- 3) “ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” ウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します (図 2.3.3.c)。

### 接続の確認方法について

- 1) PC 上で Web ブラウザを起動して以下の URL を入力し、PC とプロジェクターが正しく接続されているかどうかをチェックします。

URL: [http://\(プロジェクターの IP アドレス\)/](http://(プロジェクターの IP アドレス)/)

たとえば、プロジェクターの IP アドレスが 192.168.1.10 であれば、URL は次のようになります。

URL: <http://192.168.1.10/>

- 2) 図 2.3.4 の画面が表示されたなら、正常に接続されたこととなります。接続できない場合は、ケーブルの接続と設定が正しく行われていることをチェックしてください。

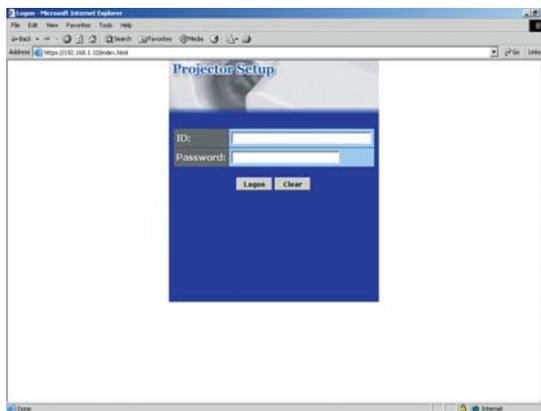


図 2.3.4 [ログオンメニュー]

## 2.4 手動で設定してネットワークに接続する

### - 無線 LAN の場合

ワイヤレスネットワークカードを挿入することで、プロジェクターと PC 間の通信が [AD-HOC] モードと [INFRASTRUCTURE] モードの両方で可能になります。  
ここでは無線 LAN を手動で設定してネットワークに接続する方法を説明します。

#### 無線 LAN への接続準備をする

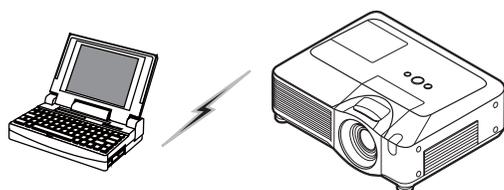


図 2.4.1.a アクセスポイントを使用しない通信 (AD-HOC)

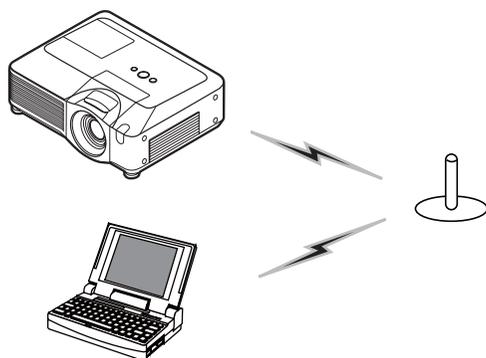


図 2.4.1.b アクセスポイントを使用した通信 (INFRASTRUCTURE)

\* [AD-HOC] モードは、通信用のアクセスポイントを必要としない無線 LAN の通信方式です。

\* [INFRASTRUCTURE] モードは、通信用のアクセスポイントを必要とする無線 LAN の通信方式です。このモードのほうが多数の機器を接続する場合に便利です。

既存のネットワークに接続する際は、社内のネットワーク管理者にお問い合わせください。

最初に、ワイヤレスネットワークカードを SD カードスロットに差し込みます (☞1-18)。

次に、無線通信に使用する PC を準備します。

PC が 802.11b/g 無線 LAN 装置を内蔵されている場合は、無線 LAN を有効にして、他のネットワーク接続をすべて無効にしてください。PC に無線 LAN 装置が内蔵されていない場合は、802.11b/g 無線 LAN 装置を PC に接続してデバイスドライバをインストールしてください。(詳細については、無線 LAN 装置の取扱説明書を参照してください。)

## 2.4 手動で設定してネットワークに接続する - 無線 LAN の場合 (つづき)

### 無線 LAN の接続設定をする

標準的な Windows XP での無線 LAN の使用方法について

このプロジェクターでは無線 LAN は初期設定で次のようになっています。

接続制御 : AD-HOC  
SSID : wireless  
チャンネル : 1ch  
データの暗号化 : 無効  
通信速度 : オート  
IP アドレス : 192.168.1.10

\* これらの設定は、Web ブラウザからの設定 (図 3-17) あるいは「MIU」メニューの「セットアップ」(図 2-29) を使用して変更できます。

- 1) “ネットワーク接続” を開きます (図 2.4.2.a)。



図 2.4.2.a “ネットワーク接続”

- 2) “ワイヤレスネットワーク接続” を “有効” に設定し、他のネットワークデバイスはすべて “無効” に設定します。
- 3) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウを開きます (図 2.4.2.b)。

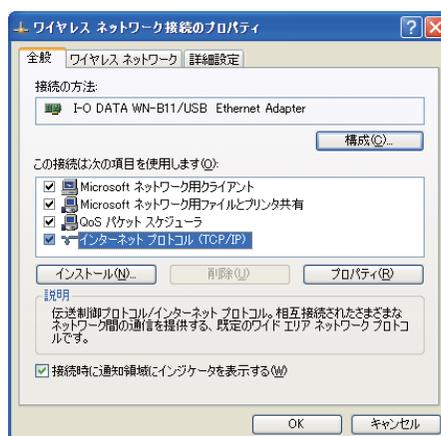


図 2.4.2.b “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウ (1)

## 2.4 手動で設定してネットワークに接続する – 無線 LAN の場合 (つづき)

- 4) 使用するプロトコルとして“TCP/IP”を設定し、“インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ”ウィンドウを開きます。有線 LAN 接続の場合と同様に、IP アドレスや他の設定を行います (図 3-10)。
- 5) “ワイヤレスネットワーク”タブをクリックします (図 2.4.2.c)。



図 2.4.2.c “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウ (2)

- 6) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ”ウィンドウの“Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する”にチェックを付けます。
- 7) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ”ウィンドウ (図 2.4.2.c) の“優先ネットワーク”の下にある“追加”ボタンをクリックし、“ワイヤレスネットワークのプロパティ”ウィンドウ (図 2.4.2.d) を開きます。



図 2.4.2.d “ワイヤレスネットワークのプロパティ” ウィンドウ

## 2.4 手動で設定してネットワークに接続する - 無線 LAN の場合 (つづき)

8) 以下の各項目を設定します。

ネットワーク名 (SSID): wireless

データの暗号化: 無効 (工場出荷設定は“無効”になっています)

\* これは工場出荷時と同じプロジェクター設定に関する説明です。アクセスポイントやデータ暗号化を使用する場合は、設定方法が違います。(詳細については、PC と無線 LAN デバイスの取扱説明書を参照してください。)

\* 既存のネットワークに接続する際は、社内のネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 2.5 Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定と制御をする

プロジェクターの設定または制御は、同じネットワークに接続されている PC 上の Web ブラウザからネットワーク経由で行うことができます。

### お知らせ

- Internet Explorer 5.5 あるいはそれ以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で Java スクリプトが無効になっている場合は、Java スクリプトを有効にしてプロジェクターの Web ページを正しく出来るようにしてください。Java スクリプトを有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプファイルを参照してください。
- ケーブルがぬけるなどで、ネットワークへ約 50 秒間つながっていなかった場合、システムが自動的にログオフを行います。Web ブラウザでの操作を続ける場合は、ログオンしなおしてください。
- ログオン後に、メインの操作ウィンドウの後ろに小さな空白のウィンドウが表示されます。この小さなウィンドウは閉じないようにしてください。このウィンドウを閉じると、たとえ操作中であってもしばらくするとシステムが自動的にログオフします。この小さな空白ウィンドウは、メインの操作ウィンドウを閉じたときに自動的に閉じます。
- この空白ウィンドウはポップアップウィンドウとみなされ、Windows XP Service Pack 2 や他のセキュリティソフトウェアを使用しているときに表示されない場合があります。Service Pack 2 を使用して、このウィンドウの表示がブロックされると、次のメッセージが表示されます。“ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...”このウィンドウを開く前に、“ポップアップを一時的に許可”または“このサイトのポップアップを常に許可”を選択してください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用しておいてください。Windows XP Service Pack 2 以前の Microsoft Windows で Internet Explorer を使用している場合は、セキュリティ更新プログラム Q832894 (MS04-004) を必ずインストールするようにしてください。インストールしておかないと、Web ブラウザの画面が正常に表示されないことがあります。また、古いバージョンの Internet Explorer を使用すると、操作開始から 50 秒後にブラウザがログアウトする場合があります。

## 2.5 Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定と制御をする（つづき）

Web ブラウザからプロジェクターを設定または制御する場合には、ID とパスワードが必要になります。ID には管理者 ID とユーザー ID の 2 種類あります。下表はユーザー ID と管理者 ID の比較一覧です。

項目	説明	管理者 ID	ユーザー ID
Network Information	プロジェクターの現在のネットワーク設定を表示します。	○	○
Network Settings	ネットワーク設定の表示と設定を行います。	○	×
Port Settings	通信ポート設定の表示と設定を行います。	○	×
Mail Settings	電子メールのアドレス設定の表示と変更を行います。	○	×
Alert Settings	エラー / 警告通知の設定の表示と変更を行います。	○	×
Schedule Settings	スケジュール設定の表示と変更を行います。	○	×
Date/Time Settings	日時設定の表示と変更を行います。	○	×
Security Settings	パスワードや他のセキュリティ設定の表示と変更を行います。	○	×
Projector Control	プロジェクターを制御します。	○	○
Remote Control	リモコンのイメージでプロジェクターを制御します。	○	○
Projector Status	現在のプロジェクターの状態表示と変更を行います。	○	○
Network Restart	プロジェクターのネットワーク接続を再起動します。	○	×

管理者 ID、ユーザー ID、およびパスワードの工場出荷時のデフォルト設定は下記の通りです。

ID の種類	ID	パスワード
管理者 ID	Administrator	(デフォルトでは設定されていません)
ユーザー ID	User	(デフォルトでは設定されていません)

## 2.5 Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定と制御をする（つづき）

Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定と制御を行う場合、下記の例を参照してください。  
例：プロジェクターの IP アドレスとして 192.168.1.10 が設定されている場合：

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに、  
[http://192.168.1.10] と入力すると、  
図 2.5.a のような画面が表示されます。
- 2) ID とパスワードを入力して、[Logon] を  
クリックします。

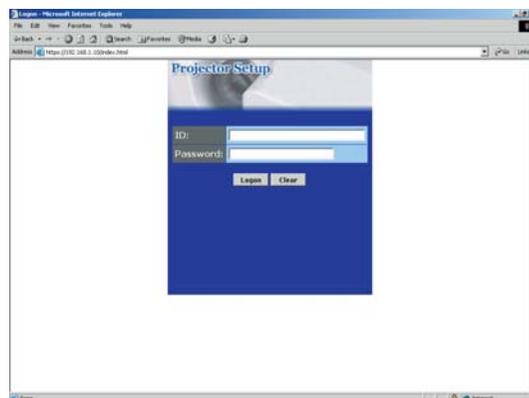


図 2.5.a [Logon Menu]

正常にログオンされると、図 2.5.b または図 2.5.c の画面が表示されます

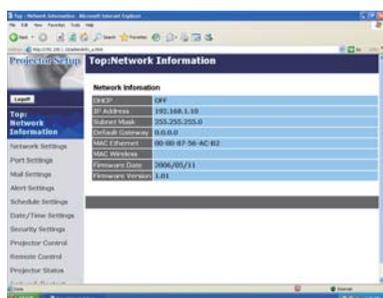


図 2.5.b 管理者 ID を使用したログオン

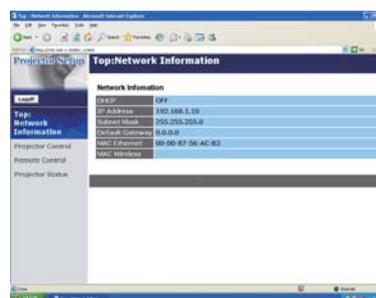
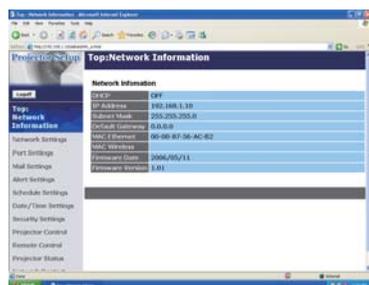


図 2.5.c ユーザー ID を使用したログオン

- 3) 画面（図 2.5.b または図 2.5.c）左側のメインメニューから操作 / 設定したい項目をクリックします。

## Network Information (ネットワークの設定情報)



下記に示す各表の説明を参照してください。

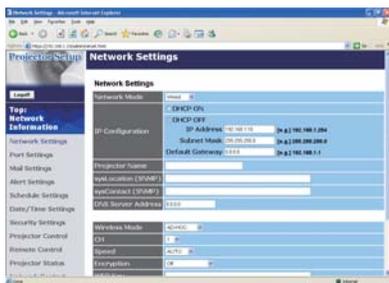
### お知らせ

●このマニュアルに表示されている画面の画像は、すべてネットワーク管理者 ID を用いてログオンしたときの画面です。ユーザー ID でログオンしたときには、管理者の専用機能は表示されません。

プロジェクターの現在のネットワークの設定を表示します。

項目	説明
DHCP	DHCP 設定を表示します。
IP Address	現在の IP アドレスを表示します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表示します。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイを表示します。
MAC Ethernet	有線 LAN の MAC アドレスを表示します。
MAC Wireless	無線 LAN の MAC アドレスを表示します。有線 LAN を使用中およびワイヤレスネットワークカードが挿入されていない場合はこの項目は表示されません。
Firmware Date	ネットワークファームウェアのタイムスタンプを表示します。この情報は、管理者 ID でログオンしたときのみ表示されます。
Firmware Version	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。この情報は、管理者 ID でログオンしたときのみ表示されます。

## Network Settings (ネットワーク設定)



ネットワーク設定の表示と構成を行います。

項目	説明
<b>NETWORK MODE</b>	“有線 LAN” または “ワイヤレス” のいずれかのネットワークモードを選択します。
<b>IP Configuration</b>	ネットワークの設定を行います。
<b>DHCP ON</b>	DHCP を有効にします。
<b>DHCP OFF</b>	DHCP を無効にします。
<b>IP Address</b>	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。
<b>Subnet Mask</b>	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。
<b>Default Gateway</b>	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。
<b>Projector Name</b>	プロジェクター名を設定します。
<b>sysLocation (SNMP)</b>	SNMP 使用時に参照する設定場所情報を設定します。
<b>sysContact (SNMP)</b>	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を設定します。
<b>DNS Server Address</b>	DNS サーバーのアドレスを設定します。

## Network Settings (ネットワーク設定) (つづき)

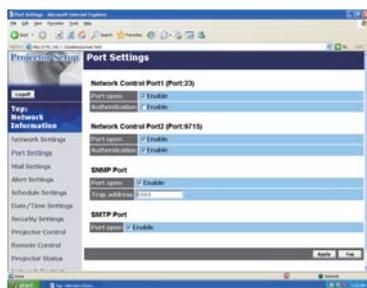
項目	説明
Wireless Mode	[AD-HOC] モード、または [INFRASTRUCTURE] モードを選択する 場合に使用します。
CH (Communication channel)	チャンネル (1 ~ 11) を選択する場合に使用します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>△注意</b> ●使用可能なチャンネルは、ワイヤレスネットワークカードを使用する国や地域に応じて制限されます。一部の国 / 地域では、その国や地域で定める規格に適合しているワイヤレスネットワークカードを使用することが必要になる場合があります。</p> </div>
Speed (Communication speed)	通信速度を変更する場合に使用します。
Encryption	データの暗号化方式を変更する場合に使用します。
WEP Key	暗号方式に WEP を使用する場合に入力します。“64 ビット” WEP には 10 文字のキー、“128 ビット” WEP には 26 文字のキーを入力します。キーには “0” ~ “9” の数字と “a” ~ “f” のアルファベット以外は使用できません。
WPA Passphrase	WPA パスフレーズ (8 ~ 63 文字) を入力します。半角英数字以外の、以下のような記号は使用できません。 ! "\$ % & ' ( ) * + , - . / [ \ ] ^ _ {   } ~
SSID	SSID を 32 文字までの長さで入力します。半角英数字以外の、以下のような記号は使用できません。 ! "\$ % & ' ( ) * + , - . / [ \ ] ^ _ {   } ~

設定が終わったら **[Apply]** ボタンをクリックして保存してください。

### お知らせ

- 新しく設定した値は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したときには、ネットワーク接続を再起動する必要があります。ネットワーク接続を再起動するには、Web ブラウザで左側に表示されているメインメニューで **[Network Restart]** をクリックします。
- プロジェクターを既存のネットワークに接続する場合は、ネットワークのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。

## Port Settings (ポート設定)



通信ポート設定の表示と変更を行います。

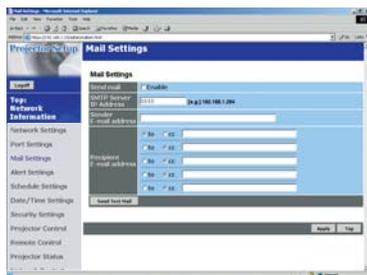
項目	説明
<b>Network Control Port1 (Port:23)</b>	コマンド制御ポート 1 (Port:23) を設定します。
Port open	ポート 23 を使用するには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートでパスワード認証をする場合は、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Network Control Port2 (Port:9715)</b>	コマンド制御ポート 2 (Port:9715) を設定します。
Port open	ポート 9715 を使用するには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートでパスワード認証をする場合は、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>SNMP Port</b>	SNMP ポートを設定します。
Port open	SNMP を使用するには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Trap address	SNMP Trap の宛先の IP アドレスを設定します。
<b>SMTP Port</b>	SMTP ポートを設定します。
Port open	電子メール機能を使用するには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。

設定が終わったら **[Apply]** ボタンをクリックして保存してください。

### お知らせ

●新しく設定した値は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したときには、ネットワーク接続を再起動する必要があります。ネットワーク接続を再起動するには、Web ブラウザで左側に表示されているメインメニューで **[Network Restart]** をクリックします。

## Mail Settings (メール設定)



電子メールのアドレス設定の表示と構成を行います。

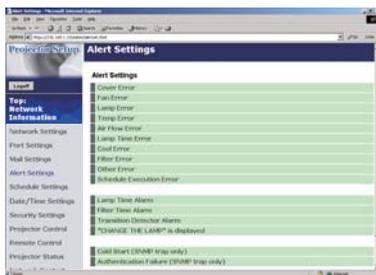
項目	説明
Send Mail	電子メール機能を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。電子メールの送信条件を [Alert Settings] フィールドで設定します。
SMTP Server IP Address	メールサーバーの IP アドレスを設定します。
Sender E-mail address	送信者の電子メールアドレスを設定します。 送信者の電子メールアドレスの長さは、半角で 255 文字まで入ります。
Recipient E-mail address	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。各アドレスの [TO] または [CC] を指定することもできます。受信者の電子メールアドレスは、半角で 255 文字まで入ります。

設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

### お知らせ

- メールの設定が正しく機能するかどうかは、[Send Test Mail] ボタンをクリックして確認できます。
- プロジェクターを既存のネットワークに接続する場合は、ネットワークのアドレスを設定する前にネットワーク管理者に相談してください。

## Alert Settings (自動通知設定)



エラー / 警告 通知の表示と構成を行います。

項目	説明
<b>Cover Error</b>	ランプドアのエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目のSNMPトラップを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Fan Error</b>	ファンのエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目のSNMPトラップを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。

## Alert Settings (自動通知設定) (つづき)

項目	説明
<b>Lamp Error</b>	ランプのエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Temp Error</b>	温度のエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Air Flow Error</b>	フィルターの目詰まりのエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。

## Alert Settings (自動通知設定) (つづき)

項目	説明
<b>Lamp Time Error</b>	ランプタイマーのエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目のSNMPトラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Cool Error</b>	低温のエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目のSNMPトラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Filter Error</b>	フィルターのエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目のSNMPトラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。

## Alert Settings (自動通知設定) (つづき)

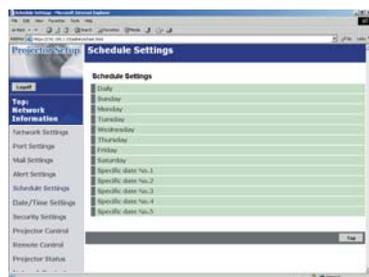
項目	説明
<b>Other Error</b>	その他のエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Schedule Execution Error</b>	スケジュールの実行のエラーに関する通知を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Lamp Time Alarm</b>	ランプ時間に関する通知を設定します。
Alarm Time	警告を出す時間を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。

## Alert Settings (自動通知設定) (つづき)

項目	説明
<b>Filter Time Alarm</b>	フィルタータイマーに関する通知を設定します。
<b>Alarm Time</b>	警告を出す時間を設定します。
<b>SNMP Trap</b>	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Send Mail</b>	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Mail Subject</b>	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
<b>Mail Text</b>	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Transition Detector Alarm</b>	状態監視に関する通知を設定します。
<b>SNMP Trap</b>	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Send Mail</b>	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Mail Subject</b>	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
<b>Mail Text</b>	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>“CHANGE THE LAMP” is displayed</b>	“ランプを交換して下さい。”と表示されたときの通知を設定します。
<b>SNMP Trap</b>	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Send Mail</b>	この項目の電子メール通知を有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Mail Subject</b>	送信する電子メールの件名を設定します。 件名の長さは、半角で 255 文字まで設定できます。
<b>Mail Text</b>	送信する電子メールの本文を設定します。 メール本文の長さは、半角で 1024 文字まで設定できます。
<b>Cold Start</b>	Cold Start に関する通知を設定します。
<b>SNMP Trap</b>	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Authentication Failure</b>	認証失敗に関する通知を設定します。
<b>SNMP Trap</b>	この項目の SNMP トラップを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。

設定が終わったら **[Apply]** ボタンをクリックして保存してください。

## Schedule Settings (スケジュール設定)



スケジュール設定の表示と構成を行います。

項目	説明
<b>Daily</b>	毎日実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	毎日実行されるスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている毎日実行されるスケジュールを表示します。
<b>Sunday</b>	日曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	日曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている日曜日に実行されるスケジュールを表示します。
<b>Monday</b>	月曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	月曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている月曜日に実行されるスケジュールを表示します。
<b>Tuesday</b>	火曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	火曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている火曜日に実行されるスケジュールを表示します。
<b>Wednesday</b>	水曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	水曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている水曜日に実行されるスケジュールを表示します。
<b>Thursday</b>	木曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	木曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている木曜日に実行されるスケジュールを表示します。
<b>Friday</b>	金曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	金曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている金曜日に実行されるスケジュールを表示します。
<b>Saturday</b>	土曜日に実行されるスケジュールを設定します。
<b>Schedule</b>	土曜日に設定されたスケジュールを有効にするには、 <b>[Enable]</b> チェックボックスをオンにします。
<b>Schedule List</b>	現在設定されている土曜日に実行されるスケジュールを表示します。

## Schedule Settings (スケジュール設定) (つづき)

項目	説明
<b>Specific date No.1</b>	特定日 (No.1) のスケジュールを設定します。
Schedule	特定日 (No.1) のスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Month/Day	月日を設定します。
Schedule List	現在設定されている特定日 (No.1) のスケジュールの内容を表示します。
<b>Specific date No.2</b>	特定日 (No.2) のスケジュールを設定します。
Schedule	特定日 (No.2) のスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Month/Day	月日を設定します。
Schedule List	現在設定されている特定日 (No.2) のスケジュールの内容を表示します。
<b>Specific date No.3</b>	特定日 (No.3) のスケジュールを設定します。
Schedule	特定日 (No.3) のスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Month/Day	月日を設定します。
Schedule List	現在設定されている特定日 (No.3) のスケジュールの内容を表示します。
<b>Specific date No.4</b>	特定日 (No.4) のスケジュールを設定します。
Schedule	特定日 (No.4) のスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Month/Day	月日を設定します。
Schedule List	現在設定されている特定日 (No.4) のスケジュールの内容を表示します。
<b>Specific date No.5</b>	特定日 (No.5) のスケジュールを設定します。
Schedule	特定日 (No.5) のスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Month/Day	月日を設定します。
Schedule List	現在設定されている特定日 (No.5) のスケジュールの内容を表示します。

MIU  
編

設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

## Schedule Settings (スケジュール設定) (つづき)

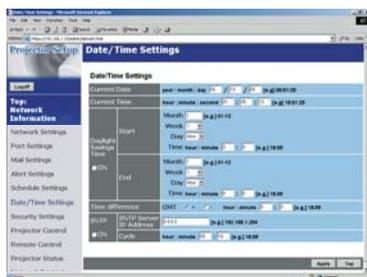
さらに機能やイベントを追加するには、[Add] ボタンをクリックして以下の項目を設定します。

項目	説明
Time	コマンドを実行する時間を設定します。
Command	実行するコマンドを設定します。
Power Parameter	電源制御を設定します。
Input Source Parameter	入力切替を設定します。
Display Image Parameter	転送した画像データを表示するためのパラメータを設定します。

スケジュールリストに新しいコマンドを追加するには、[Register] ボタンをクリックします。

スケジュールリストからコマンドを削除するには、[Delete] ボタンをクリックします。

## Date/Time Settings (日付 / 時刻設定)



日時設定の表示と構成を行います。

項目	説明
Current Date	年 / 月 / 日の形式で現在日を設定します。
Current Time	時 : 分 : 秒の形式で現在時刻を設定します。

## Date/Time Settings (日付 / 時刻設定) (つづき)

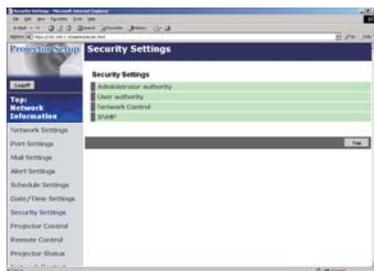
項目	説明
<b>Daylight Savings Time</b>	夏時間を有効にして以下の項目を設定するには、 <b>[ON]</b> チェックボックスをクリックします。
<b>Start</b>	夏時間が開始する日時を設定します。
<b>Month</b>	夏時間が開始する月 (1 ~ 12) を設定します。
<b>Week</b>	夏時間が開始する曜日がその月で何番目か (First、2、3、4、Last) を設定します。
<b>Day</b>	夏時間が開始する週単位の曜日 (Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat) を設定します。
<b>Hour</b>	夏時間が開始する“時” (0 ~ 23) を設定します。
<b>Minute</b>	夏時間が開始する“分” (0 ~ 59) を設定します。
<b>End</b>	夏時間が終了する日時を設定します。
<b>Month</b>	夏時間が終了する月 (1 ~ 12) を設定します。
<b>Week</b>	夏時間が終了する曜日がその月で何番目か (First、2、3、4、Last) を設定します。
<b>Day</b>	夏時間が終了する週単位の曜日 (Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat) を設定します。
<b>Hour</b>	夏時間が終了する“時” (0 ~ 23) を設定します。
<b>Minute</b>	夏時間が終了する“分” (0 ~ 59) を設定します。
<b>Time difference</b>	グリニッジ標準時に対する時差 (時 : 分) を設定します。PC に設定されている同じ時差を設定してください。不明な場合は、社内のネットワーク管理者に問い合わせてください。
<b>SNTP</b>	SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、チェックボックスをオンにします。
<b>SNTP Server IP Address</b>	SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。
<b>Cycle</b>	SNTP サーバーから Date および Time 情報を取り出す間隔 (時 : 分) を設定します。

設定が終わったら **[Apply]** ボタンをクリックして保存してください。

### お知らせ

- 新しく設定した値は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したときには、ネットワーク接続を再起動する必要があります。ネットワーク接続を再起動するには、Web ブラウザで左側に表示されているメインメニューで **[Network Restart]** をクリックします。
- プロジェクターを既存のネットワークに接続する場合は、ネットワークのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- SNTP 機能を設定する前に、時差を設定してください。
- プロジェクターの SNTP 機能が有効のときは Time Server から日付 / 時間の情報を取り出し、時間の設定を上書きします。
- 内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めいたします。

## Security Settings (セキュリティ設定)



パスワードや他のセキュリティ設定の表示と構成を行います。

項目	説明
<b>Administrator authority</b>	管理者 ID とパスワードを設定します。
<b>Administrator ID</b>	管理者 ID を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
<b>Administrator Password</b>	管理者パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
<b>Re-enter Administrator Password</b>	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
<b>User authority</b>	ユーザー ID とパスワードを設定します。
<b>User ID</b>	ユーザー ID を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
<b>User Password</b>	ユーザーパスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
<b>Re-enter User Password</b>	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。

## Security Settings (セキュリティ設定) (つづき)

項目	説明
<b>Network Control</b>	コマンド制御の認証パスワードを設定します。
<b>Authentication Password</b>	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
<b>Re-enter Authentication Password</b>	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
<b>SNMP</b>	SNMP のコミュニティ名を設定します (SNMP 使用時)。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。
<b>Community Name</b>	コンフィギュレーションのコミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。
<b>FTP</b>	FTP で使用するユーザー名とパスワードを設定します。
<b>User</b>	ユーザー名を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
<b>Password</b>	パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
<b>Re-enter Password</b>	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。

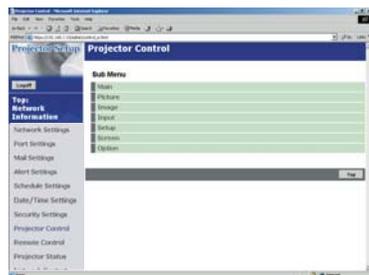
目  
編

設定が終わったら **[Apply]** ボタンをクリックして保存してください。

### お知らせ

●新しく設定した値は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したときには、ネットワーク接続を再起動する必要があります。ネットワーク接続を再起動するには、Web ブラウザで左側に表示されているメインメニューで **[Network Restart]** をクリックします。

## Projector Control (プロジェクター制御)



下表に示す各項目は、[Projector Control] メニューを用いて実行することができます。PCの上矢印キーと下矢印キーを用いて任意の項目を選択します。

ほとんどの項目にはサブメニューがあります。詳細については下表を参照してください。

プロジェクターを制御します。

項 目	説 明
<b>Main</b>	
Power	電源をオン / オフします。
Input Source	入力切替を行います。
Picture Mode	映像モード設定を選択します。
Blank On/Off	ブランクをオン / オフします。
Mute	音声を消す / 出す設定をします。
Freeze	映像を静止させる / 静止させない設定を行います。
Magnify	画面の拡大を行います。入力ソースによっては設定値を大きくしても拡大する量が途中で止まります。
<b>Picture</b>	
Brightness	明るさを調節します。
Contrast	コントラストを調節します。
Gamma	ガンマ設定を選択します。
Color Temp	色温度設定を選択します。
Color	色の濃さを調節します。
Tint	色あいを調節します。
Sharpness	画質を調節します。
MyMemory Recall	マイメモリー設定をロードします。
MyMemory Save	マイメモリー設定をセーブします。

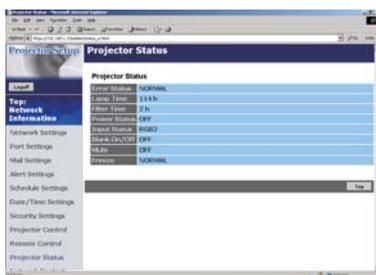
## Projector Control (プロジェクター制御) (つづき)

項目	説明
<b>Image</b>	
Aspect	アスペクトを選択します。
Over Scan	オーバースキャンを選択します。
V Position	垂直位置を調節します。
H Position	水平位置を調節します。
H Phase	クロック位相を調節します。
H Size	水平サイズを調節します。
Auto Adjust	オートアジャストを実行します。
<b>Input</b>	
Progressive	プログレッシブモードを選択します。
Video NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
Color Space	色空間モードを選択します。
Component	COMPONENT VIDEO 端子の機器を選択します。
C-Video Format	ビデオフォーマットを選択します。
S-Video Format	S-ビデオフォーマットを選択します。
Frame Lock	フレームロックを有効 / 無効にします。
RGB in-1	RGB1 の SYNC ON G モードを選択します。
RGB in-2	RGB2 の SYNC ON G モードを選択します。
<b>Setup</b>	
Auto Keystone Execute	オートキーストンを実行します。
Keystone	キーストンを調節します。
Whisper	ファン速度 (標準、または静音) を選択します。
Mirror	反転モードを選択します。
Volume	音量を調節します。
<b>Audio</b>	
Volume	音量を調節します。
Treble	音の高音域の調節をします。
Bass	音の低音域の調節をします。
SRS WOW	SRS WOW 機能のモード設定を行います。
Speaker	内蔵スピーカの音声出力をオン / オフします。
Audio-RGB1	RGB1 入力と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-RGB2	RGB2 入力と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-M1-D	M1-D 入力と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-Video	ビデオ入力と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-S-Video	S-ビデオ入力と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-Component	コンポーネント入力と連動する音声入力ポートを設定します。

Projector Control (プロジェクター制御) (つづき)

項 目	説 明
<b>Screen</b>	
Language	メニュー表記言語を選択します。
Menu Position V	メニューの垂直位置を調整します。
Menu Position H	メニューの水平位置を調整します。
Blank	ブランク画面を選択します。
Startup	初期画面を選択します。
MyScreen Lock	マイスクリーンロックをオン / オフします。
Message	メッセージモードを選択します。
<b>Option</b>	
Auto Search	入力信号の自動検索機能の有効 / 無効の切り替えをします。
Auto Keystone	オートキーストン機能の有効 / 無効の切り替えをします。
Auto on	自動電源オン機能の有効 / 無効の切り替えをします。
Auto off	自動電源オフ機能の設定をします。
My Button-1	リモコンのマイボタン 1 に割り付ける機能の選択をします。
My Button-2	リモコンのマイボタン 2 に割り付ける機能の選択をします。
Auto Adjust	オートアジャスト機能の有効 / 無効の切り替えをします。
Remote Receiv. Front	本機前面のリモコン受光部の有効 / 無効の切り替えをします。
Remote Receiv. Rear	本機背面のリモコン受光部の有効 / 無効の切り替えをします。
Remote Receiv. Top	本機上面のリモコン受光部の有効 / 無効の切り替えをします。
Remote Freq. Normal	リモコン受光周波数 “標準” の有効 / 無効の切り替えをします。
Remote Freq. High	リモコン受光周波数 “高い” の有効 / 無効の切り替えをします。

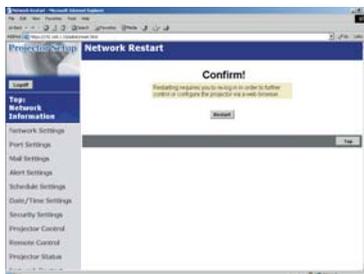
## Projector Status (プロジェクターステータス)



現在のプロジェクターステータスの表示と構成を行います。

項目	説明
Error Status	現在の起きているエラーを表示します。
Lamp Time	現在使用中のランプの使用時間を表示します。
Filter Time	現在使用中のフィルターの使用時間を表示します。
Power Status	現在の電源状態を表示します。
Input Status	現在使用中の選択されている映像入力端子を表示します。
Blank On/Off	ブランクの有効化 / 無効化の状態を表示します。
Mute	現在の音声出力の消す / 出すの状態を表示します。
Freeze	現在の映像を静止させる / 静止させないの設定を表示します。

## Network Restart (ネットワークリスタート)



プロジェクターのネットワーク接続を再起動します。

項目	説明
Restart	プロジェクターのネットワーク接続を再起動し、新しい設定を有効にします。

### お知らせ

●ネットワーク接続を再起動した後、再び Web ブラウザでプロジェクターを調整、またはプロジェクターの設定を変更するには、再起動して 1 分以上経ってから再度ログオンする必要があります。

### ログオフ

ログオフをクリックすると、ログオン画面が表示されます (図 2.5.a)。ブラウザを終了する際には、ログオフしてから終了することを推奨します。ログオフしないでブラウザを終了した場合、約 50 秒間は再度ログオンできませんので、再度のログオンは 1 分程度経ってから行ってください。

## 2.6 Web ブラウザを使ってプロジェクターを リモートコントロールする

プロジェクターを正しく設定し、無線または有線 LAN でプロジェクターを PC に接続すれば、Web ブラウザを使用してプロジェクターを遠隔操作することができます。

### お知らせ

- リモコンと Web ブラウザを同時に使用してプロジェクターを操作しないでください。同時に使用すると、誤動作が生じるおそれがあります。

プロジェクターとの通信を行うには、Web ブラウザを開きます。Web ブラウザは、Internet Explorer 5.5 以降に対応しています。

URL を “[http:// \(プロジェクターの IP アドレス\) /](http://(プロジェクターのIPアドレス)/)” に設定します。

例 : <http://192.168.1.10/>

(上記の URL 例はプロジェクターのデフォルト IP アドレスです。)

Logon メニューが表示されたら自分の ID とパスワードを入力し、[Logon] をクリックします。ウィンドウ (図 2.6.a) が表示されます。

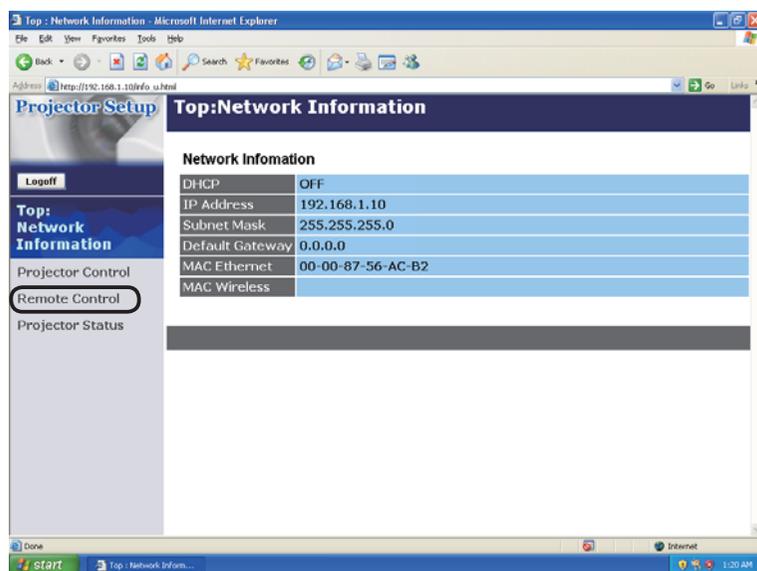
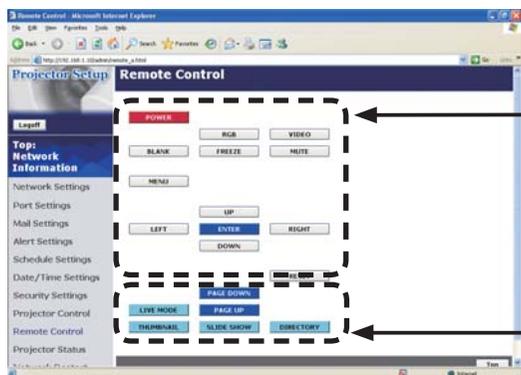


図 2.6.a Web リモートコントロール選択ウィンドウ

## 2.6 Web ブラウザを使ってプロジェクターをリモートコントロールする (つづき)

このウィンドウの左側にある **[Remote Control]** をクリックし、Web のリモートコントロール画面 (図 2.6.b) を表示します。



Web のリモートコントロール画面を使用し、リモコン (プロジェクターに付属) と同じ操作を実行することができます。

Web のリモートコントロール画面の各 UP/LEFT/RIGHT/DOWN ボタンは、リモコンの各矢印ボタン▲/◀/▶/▼に相当します。**[RGB]****[VIDEO]****[BLANK]****[FREEZE]****[MUTE]****[MENU]****[ENTER]**の各ボタンも同じボタンに相当します。

また、以下の各ボタンをクリックすると、そのモードが起動します。

- LIVE MODE (ライブモード)
- THUMBNAIL (サムネイル)
- SLIDE SHOW (スライドショー)
- DIRECTORY (ディレクトリ)

図 2.6.b Web のリモートコントロール画面

### お知らせ

- これらのボタンを押したままにしてもコマンドを連続して送ることはできません。押したままにする代わりにボタンを繰り返しクリックする必要があります。
- ボタンを連続してクリックすると、一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。
- **[POWER]** ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックしてプロジェクターの電源を切るか、**[CANCEL]** をクリックしてプロジェクターの電源を入れた状態にします。
- Web のリモートコントロール画面の **[PAGE DOWN]** ボタンと **[PAGE UP]** ボタンでマウス機能の操作を実行することはできません。

# 3. 専用ソフトウェアの使い方 - 基本編

## 3.1 “MIU LiveViewer” について

この項では、専用ソフトウェアの“MIU LiveViewer”の使用方法について説明します。

### “MIU LiveViewer” をインストールするには

“ライブモード”を使用するには、プロジェクターと一緒に使用する PC に、付属のソフトウェア“MIU LiveViewer”をインストールする必要があります。

※ “MIU LiveViewer” は改良品の無料配布を予定しております。

入手方法については下記ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/proj/service/software.html>

#### PCに必要なハードおよびソフトの必要条件

- OS : Windows 2000 Professional Service Pack 4、  
Windows XP Home /Professional 以降
- グラフィックインタフェース : DirectX 6.1a 以上、Video RAM 4MB 以上 (推奨 8MB)
- CPU : Pentium III (推奨 600MHz 以上)
- ディスプレイ : VGA 640x480 以上 (推奨 XGA 1024x768)、  
65,536 色表示以上

#### お知らせ

- プロジェクターと LAN で接続する PC の解像度は XGA 以下に設定してください。
- 場合によって画面が正しく表示されないことがあります。たとえば 1024x768 より高い解像度に設定されている画面では、画面の 1024x768 部分のみが表示されます。
- OS のバージョンやネットワークアダプタドライバに問題があると、画像を適切に送信できないことがあります。OS とドライバは最新バージョンを使用することをお勧めします。

- メモリ : 64MB 以上 (Windows XP 使用の場合 128MB 以上を推奨)
- ハードディスク空き容量 : 10MB 以上
- Web ブラウザ : Internet Explorer® (5.5 あるいはそれ以降のバージョン)
- CD-ROM ドライブ

#### 無線 LAN を使用する場合は

- PC カードスロット (PCMCIA Type-II) インタフェースをもつ PC と IEEE802.11b あるいは g の無線 LAN PC カードの組合せ、または、USB インタフェースをもつ PC と IEEE802.11b あるいは g の無線 LAN USB アダプタ

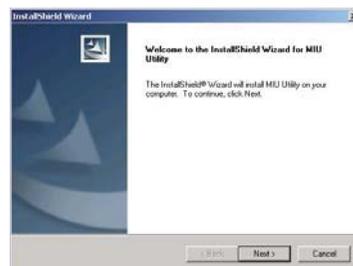
#### お知らせ

- PC に IEEE802.11b あるいは g の無線 LAN デバイスが搭載されている場合は必要はありません。
- PC に内蔵の無線 LAN 機能が搭載されていても、プロジェクターと一部の無線 LAN 装置や PC との間で正常に通信できない場合があります。その場合は通信関連の障害を防止するために、Wi-Fi 認定の無線 LAN 装置を使用してください。
- IEEE802.11b を使用した場合、画面の更新が遅くなります。IEEE802.11g をご使用になることをおすすめいたします。

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

#### ソフトウェアのインストール手順

- 1) PC の電源を入れます。
- 2) 他に開いているアプリケーションがあればすべて閉じます。
- 3) 付属の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入します。
- 4) 少し間を置いて、右側の “Welcome to the InstallShield Wizard for MIU Utility” ダイアログが表示されます。“Next” をクリックします。



#### お知らせ

● “Welcome to the InstallShield Wizard for MIU Utility” ダイアログが表示されない場合は、以下の手順に従ってください。

- (1) ツールバーから “Start” ボタンをクリックして、“Run” を選択します。
- (2) “E: ¥software ¥setup.exe” と入力してから “OK” をクリックします。

↑ PC で CD-ROM ドライブが E ドライブでない場合は、E の代わりに CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。

MIU  
編

ソフトウェアがすでにインストールされている場合、すでにインストールされているソフトウェアは削除されます。ソフトウェアの削除を取り消す場合は、“Cancel” ボタンをクリックします。間違ってソフトウェアを削除した場合は、上の手順に従って再インストールしてください。

- 5) License Agreement (ライセンス契約書) のダイアログが表示されますのでお読み頂き、了承頂けますのであれば Yes のボタンを押してください。
- 6) “Choose Destination Location” ダイアログが表示されたら、“Next” をクリックします。



#### お知らせ

- “C: ¥Program Files ¥MIU\_Utility” フォルダが作成され、プログラムはそのフォルダにインストールされます。
- 別のフォルダにインストールしたい場合は、“Browse” をクリックし、インストール先のフォルダを選択します。

- 7) プログラムのフォルダ名を確認します。フォルダ名が “MIU\_Utility” でよければ、“Next” をクリックして先に進みます。フォルダ名を変更したい場合は、好きな名前を入力し、“Next” をクリックします。



### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

- 8) ハードウェアのインストールのウィンドウが出たら “続行” を押してください。
- 9) 少し時間を置いて、インストールが完了すると右側の “InstallShield Wizard Complete” ダイアログが表示されます。 “Finish” をクリックすると自動的に PC をリスタートします。これでソフトウェアのインストールが完了しました。



- (1) ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認したい場合、タスクバーの “スタート” をクリックし、 “プログラム” を選択して次に “MIU Utility” フォルダを選択します。
- (2) インストールが正常に終了していれば、 “MIU Utility” フォルダ内に “MIU LiveViewer” が表示されます。

#### “MIU LiveViewer” の画面の説明

“MIU\_LiveViewer.exe” をダブルクリックして起動します。図 3.1.3.a の画面が表示されます。

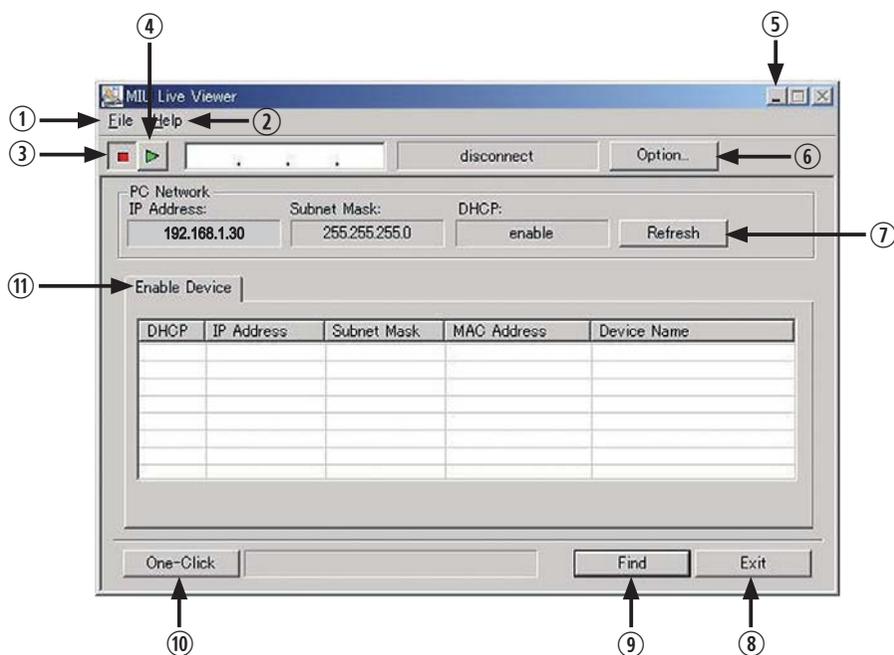


図 3.1.3.a “MIU LiveViewer” ウィンドウ

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

#### [ “MIU LiveViewer” ウィンドウ : 図 3.1.3.a]

- 1) “File” ボタン  
ファイルメニューを表示します
- 2) “Help” ボタン  
“MIU LiveViewer” の詳細を表示します
- 3) ストップボタン  
プロジェクターを停止します。
- 4) キャプチャスタートボタン  
ライブモードでのリアルタイム表示を開始します。

#### ～お知らせ～

スタート/ストップボタンを何度も繰り返してクリックすると、映像が正常に表示されない場合があります。

- 5) 最小化ボタン  
“MIU LiveViewer” ウィンドウを閉じ、“MIU LiveViewer” をタスクトレイにアイコンで表示します。
- 6) “Option” ボタン  
“Option” ウィンドウを表示します。
- 7) “Refresh” ボタン  
PC の現在のネットワーク設定を更新します。
- 8) “Exit” ボタン  
“MIU LiveViewer” プログラムを終了します。
- 9) “Find” ボタン  
接続可能なプロジェクターを検索します。
- 10) “One-Click” ボタン  
自動でプロジェクターと PC を接続します。
- 11) “Enable Device”  
接続可能なプロジェクターの一覧を表示します。

#### お知らせ

●接続されている PC が 1 台のみの場合、“ライブモード”を終了するか、プロジェクターの電源を切らない限り、最後に表示された画像がスクリーンに残ります。  
この機能により、プロジェクターとの通信を一度切ってもスクリーンに画像が残っている間に、PC 上でファイルの準備ができます。

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

[ “Options” ウィンドウ ]

[ “General” タブ、図 3.1.3.b ]

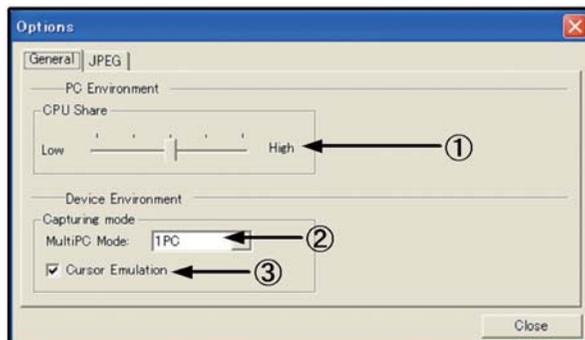


図 3.1.3.b “Options” ウィンドウの “General” タブ

#### 1) “CPU Share”

コントロールバーを使って、PC 画面をキャプチャするための CPU 使用率を設定します。

Low (左端): “MIU LiveViewer” 以外のアプリケーションが CPU リソースを大幅に使用する場合はこちらに設定します。左側に設定すると画面のリフレッシュ速度が低下するので、頻繁に表示パターンを変更する場合には不適切です。

High(右端): “MIU LiveViewer” が CPU リソースを大幅に使用する場合はこちらに設定します。“MIU LiveViewer” の画面のリフレッシュ速度は上がりますが、他のアプリケーションのリフレッシュ速度は下がります。

#### 2) “MultiPC Mode”

プロジェクターに同時に表示する PC の台数 (1 ~ 4 台) を設定します。

#### 3) “Cursor Emulation”

PC の表示カーソル (ポインタ) が出力画面に表示されない場合は、このチェックボックスをチェックします。カーソルが 2 つ (PC とプロジェクター) 表示されている場合はチェックボックスのチェックを外します。

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

#### [JPEG タブ]

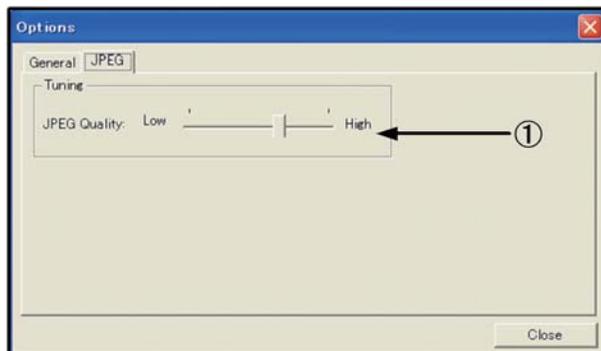


図 3.1.3.c “Options” ウィンドウの “JPEG” タブ

#### 1) “JPEG Quality”

“MIU LiveViewer” は PC 画面の画像をキャプチャし、JPEG で圧縮したものをプロジェクターに送信します。このタブのコントロールバーを使用して JPEG の圧縮率を設定できます。

Low (左端、低画質) : JPEG 圧縮率を高くする。圧縮率を高く設定すると、送信するデータ量が少なくなるため画面の書換る早さは上がりますが、画質は低下します。

High (右端、高画質) : JPEG 圧縮率を低くする。圧縮率を低く設定すると、送信するデータ量が多くなるため画面の書換る早さは少し遅くなりますが、画質は高くなります。

#### [タスクトレイのアイコン]

タスクトレイに “MIU LiveViewer” アイコンを表示する場合、“MIU LiveViewer” ウィンドウの最小化ボタンをクリックします。接続時には黄色の稲妻マークが付いたアイコンが表示されます。また切断時には赤い×マークの付いたアイコンが表示されます。(図 3.1.3.d は接続時のアイコンを示します。)

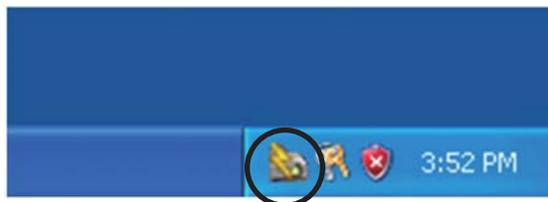


図 3.1.3.d タスクトレイのアイコン

タスクトレイの “MIU LiveViewer” アイコンをダブルクリックすると、“MIU LiveViewer” ウィンドウが表示されます。

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

#### “MIU LiveViewer” の使い方 - 基本編

ここでは、“MIU LiveViewer” 機能の基本的な使用について説明します。

• “MIU LiveViewer” を開始する前に、次の手順に従ってプロジェクターを“ライブモード”に設定します。

1) Web ブラウザのリモートコントロールでの操作

(1) “LIVE MODE” を選択します。

2) プロジェクターのメニューでの操作

(1) プロジェクターの▲ / ◀ / ▶ / ▼ボタンのいずれか、またはリモコンの MENU ボタンを押して、プロジェクターのメニューを開きます。「簡単メニュー」が表示されたときは、「詳細メニュー」に切り替えてください。

(2) リモコン、またはプロジェクターのボタンを使用して「MIU」メニューを選択します。

(3) 「MIU」メニューの「ライブモード」を選択し、プロジェクターの▶ボタンを押すか、リモコンの ENTER ボタンを押します。



• プロジェクターを“ライブモード”に設定した後

1) “MIU LiveViewer” を起動します。“MIU LiveViewer” をまだインストールしていない場合は、3.1.1 項「“MIU LiveViewer” のインストール」の手順に従ってインストールしてください。

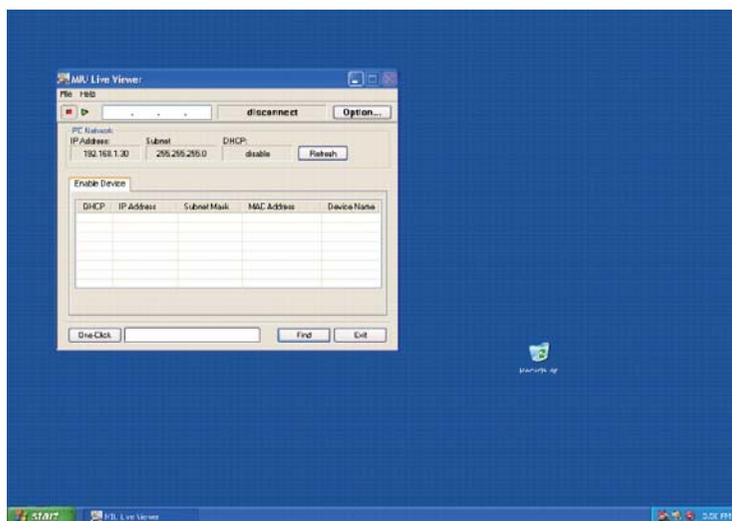
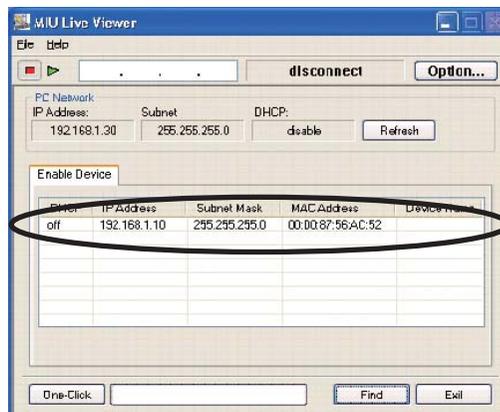


図 3.1.4.a “MIU LiveViewer” メインウィンドウ

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

- 2) Web によるリモートコントロールを起動し (図3-40 「Web ブラウザを使ってプロジェクターをリモートコントロールする」を参照)、“LIVE MODE” ボタンをクリックします。プロジェクターが接続待ちの画面になります。
- 3) 下記の手順に従ってプロジェクターに接続します。
  - (1) “Find” ボタンをクリックして、接続可能なプロジェクターを検索します。プロジェクターが見つからず、“Enable Device” タブにプロジェクターが表示されない場合、2.2 項を参照した上でもう一度検索を試みてください。

接続可能なプロジェクターが検索されたら、ここに表示されます。



MIU  
編

図 3.1.4.b プロジェクターの検索結果 (1)

- (2) 上記 (1) の手順を実行して接続可能なプロジェクターが検索されたら、接続して PC の画面を映したいプロジェクターをクリックして選択してください。

接続したプロジェクターの行をクリックすると (まだ接続されませんが)、プロジェクターの IP アドレスがキャプチャスタートボタンの右側のスペースに表示されます。

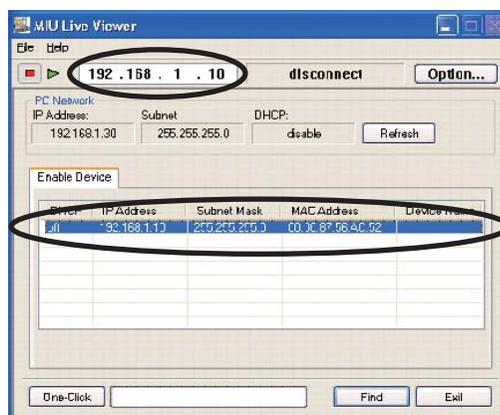


図 3.1.4.c プロジェクターの検索結果 (2)

### 3.1 “MIU LiveViewer” について (つづき)

(3) キャプチャ開始ボタンをクリックします。

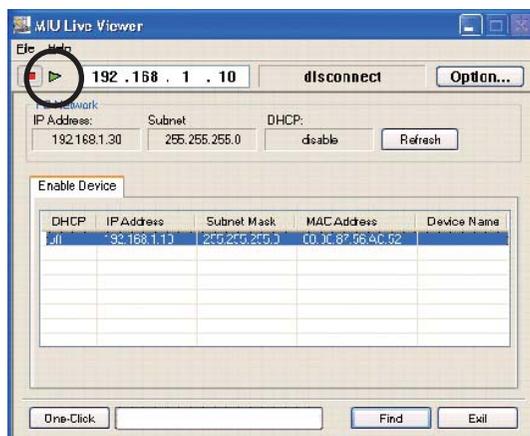


図 3.1.4.d キャプチャを開始

上記の手順を行った後、PC 画面の画像がプロジェクターに表示されたら、正常に接続されたこととなります。“One-Click” 機能 (2.2 項) を使用すると、プロジェクターとの接続が容易になります。ここでは“MIU LiveViewer”の基本的な使い方をまずご説明しました。より進んだ使い方については 図 3-52 「“MIU LiveViewer” の使い方 - 応用編」を参照してください。

## 3.2 “PC レス プレゼンテーション” 機能の使い方 - 基本編

ここでは、“PC レス プレゼンテーション” 機能の基本的な使い方について説明します。

- 1) JPEG 画像ファイルを SD メモリカードまたは USB メモリのルートディレクトリに保存します。SD メモリカードをプロジェクターの SD スロットに、または USB メモリを AUX I/O ポートに差し込みます。(図 1-18)
- 2) 3 章を参照してネットワークを接続し、Web ブラウザでリモートコントロールを起動してください。
- 3) Web ブラウザのリモートコントロールから [THUMBNAIL] ボタンをクリックして、プロジェクターのモードを“PC レス プレゼンテーション”モードにします。“サムネイル”画面が表示されます。
- 4) SD メモリカードや USB メモリを抜き取る場合は、「MIU」メニューの“特別な設定”でメディアを抜き取るための機能を選択して成功のメッセージが出てから抜き取ります。もし、抜き取りを失敗しましたというメッセージが出た場合は、少し待って再び抜き取りのメニュー操作を行ってください。

### 3.2 “PC レス プレゼンテーション” 機能の使い方 - 基本編 (つづき)

上記の手順を終えると“サムネイル”画面(図 3.2.a)が表示されます。ここでは“PC レス プレゼンテーション”機能の基本的な使い方を説明します。より進んだ使い方については、セクション 4.2 を参照してください。



図 3.2.a サムネイルモード

“PC レス プレゼンテーション”機能はプロジェクターのメニューからも起動できます。

- 1) リモコンの MENU ボタン、またはプロジェクターの▲ / ◀ / ▶ / ▼ ボタンを押して、プロジェクターのメニューを開きます。「簡単メニュー」が表示されたときは、「詳細メニュー」に切り替えてください。
- 2) 「MIU」メニューの「PC レス プレゼンテーション」を選択して、リモコンの ENTER ボタンかプロジェクターの▶ ボタンを押します。「PC レス プレゼンテーション」メニューが表示されます。



- 3) 「PC レス プレゼンテーション」メニューの“サムネイル”を選択して、リモコンの ENTER ボタンかプロジェクターの▶ ボタンを押します。“サムネイル”画面が表示されます。

**△注意**

- メモ리카ードへのアクセス中はカードを抜き取らないでください。
- SDHC (4GB など) のSD メモ리카ードはサポートされていません。標準の SD メモ리카ードのみ対応しており、容量は最大 2GB までです。
- SD メモ리카ードまたは USB メモリの種類によっては正常に動作しないものもあります。
- セキュア USB メモリはサポートされていません。

# 4. より進んだ使い方について

## 4.1 “MIU LiveViewer” の使い方 - 応用編

ここでは、複数の PC の画像を一度に表示する方法を説明します。

### 複数の PC を 1 台のプロジェクターに接続（複数 PC 接続）

複数の PC を接続して、プロジェクター 1 台に一度に表示することができます。1 台のプロジェクターで最大 4 台まで接続可能です。

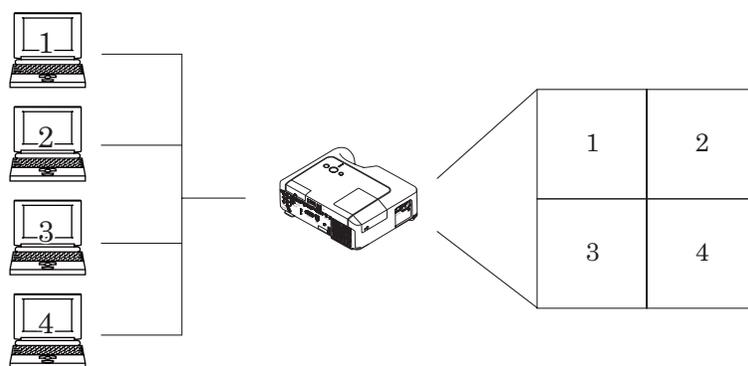


図 4.1.1.a 複数 PC 接続の例

複数の PC を接続するには、以下の機器が必要です。

- 2 ~ 4 台の PC（すべて “MIU LiveViewer” がインストール済みであること）
- プロジェクター（1 台）
- CAT-5 以上の LAN ケーブル：必要数（有線 LAN でつなぐ PC の台数による）
- イーサネットハブ（有線 LAN 接続の場合）

### お知らせ

●無線 LAN でプロジェクターと接続するには、すべての PC の無線通信機能が有効になっていなければなりません。ワイヤレスネットワークカードをプロジェクターに接続してください。  
[INFRASTRUCTURE] モードで接続する場合には無線アクセスポイントが必要です。(📖3-14)

## 4.1 “MIU LiveViewer” の使い方 - 応用編 (つづき)

### [ 接続 ]

- 1) LAN ケーブルとハブで、有線 LAN でつなぐ全ての PC とプロジェクターを接続します (図 4.1.1.a 参照)。
- 2) 各 PC で “MIU LiveViewer” を起動します。各 PC の IP アドレスをチェックし、それぞれの IP アドレスが重複していないかどうかを確認します ([192.168.1.xxx] の xxx の部分は各 PC で異なる)。
- 3) “MIU LiveViewer” の “Find” ボタンをクリックして、接続可能なプロジェクターを検索します。
- 4) プロジェクターを検索できたら、“MIU LiveViewer” の “Option” ボタンをクリックします。“General” タブが開くので、“MultiPC Mode” で接続する PC の台数を選択します。PC の台数を設定したら、“Close” ボタンをクリックします。
- 5) キャプチャスタートボタンをクリックします。
- 6) すべての PC で 3) から 5) までの手順を繰り返します。

\* 画面の優先順位を表示します。

表示優先順位は、PC をプロジェクターに接続した順番に基づいて自動的に決まります。モードごとに異なる優先順位が指定されます (図 4.1.1.b 参照) (番号が小さいほど優先度が高い)。

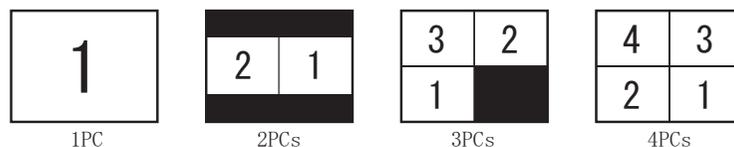


図 4.1.1.b 各モードでの優先順位

優先順位の決定条件を以下に示します。

- a) 後で接続する PC ほど優先順位が高くなります。
- b) “MultiPC Mode” (最大 4 台までの PC) を 1PC モードに切り替えた場合、その PC が最も高い優先順位になります。
- c) “MultiPC Mode” の設定は、PC が通信しているときでも自由に切り替えることができます。
- d) “MultiPC Mode” で設定した PC の台数が、接続されている PC の台数よりも少ない場合、優先順位の低い PC の画面は表示されませんが、プロジェクターとの接続は維持されています。5 台以上の PC がプロジェクターに接続されていると、優先順位が低い PC の接続は切断されます。

### お知らせ

- “MultiPC Mode” のとき、PC の画面解像度を変更した場合、その PC の優先順位が最上位になります。このとき、その PC のモード設定がプロジェクターに反映されますのでご注意ください。
- “MultiPC Mode” では、各画面の画像解像度は実際の画像の 1/4 になります。このため、小さな文字や線は判読できないこともあります。できるだけ大きな文字を使用してください。クロック位相の調整を手動で行うと画質を良くなる場合もあります。

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編

“PC レス プレゼンテーション” モードでは、SD メモリカードまたは USB メモリから画像データを読み取って表示します。画像の表示は次のいずれかの表示モードを使用します。SD メモリカードとワイヤレスネットワークカードを同時に使用する（プロジェクターに挿入する）ことはできません。



図 4.2.a サムネイルモード



図 4.2.b 全画面モード



図 4.2.c スライドショーモード



図 4.2.d ディレクトリモード

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

“PC レス プレゼンテーション” 機能で表示できる映像または動画のファイル形式は以下の通りです。

- JPEG (.jpeg, .jpg) \* ただし、プログレッシブエンコード JPEG は除きます。
- BMP (.bmp) \* 1, 2, 4, 8, 24, 32bit の BMP に対応します。
- PNG (.png) \* インターレース PNG は除きます。
- MPEG4 (.mp4) \* Simple Profile でビット解像度 1Mbps 以下をサポートしています。  
解像度は VGA までをサポート。  
オーディオ形式は AAC をサポートしています。

### サムネイルモードの使い方

図 4.2.1 にサムネイルモードを示します。サムネイルモードに切り替える場合、Web ブラウザのリモートコントロールで [THUMBNAIL] ボタンをクリックします。

プロジェクターのメニューを使用してサムネイル表示モードにすることもできます ( 3-51 )。



図 4.2.1 サムネイル表示モード

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

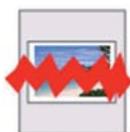
サムネイルモードのときは次の操作が可能です。

▲ / ◀ / ▶ / ▼ リモコン / プロジェクターのボタン	カーソルを移動します。
[PAGE UP] [PAGE DOWN] リモコン	ページを切り替えます。
[ENTER] リモコン [INPUT] プロジェクターのボタン	選択した画像をフルスクリーン表示モードで表示します。
[MENU] リモコン	「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示します。

\* 上記の操作は、プロジェクターのメニュー表示中は実行できません。

### お知らせ

- サムネイル表示モードでは1ページに最大12枚の画像を表示します。
- サムネイル、スライドショー、ディレクトリの各モードで操作しているとき、プロジェクターのINPUT ボタンを押しても入力ポートを切り替えることはできません。
- 入力ポートを切り替える場合、プロジェクターのメニューを開いてから切り替えてください。
- 右端の列にある画像のどれかを選択しているときに▶ ボタンを押すと、サムネイルメニューを選択することができます。
- 画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイルの画像の代わりにエラーアイコンが表示されます。



ファイルが破損しているか、サポートされていない形式が使われています。



ファイルはプレイリスト ( 67 ) の一覧にありますが、実際のファイルは存在しないか、見つかりません。

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

### 全画面モードの使い方

フルスクリーン表示モードは (図 4.2.2)、スクリーン全体に 1 つの画像を表示します。サムネイル表示モードでサムネイルが選択されている状態で、[ENTER] をクリックすると全画面モードとなりフルスクリーンサイズの画像を表示できます。

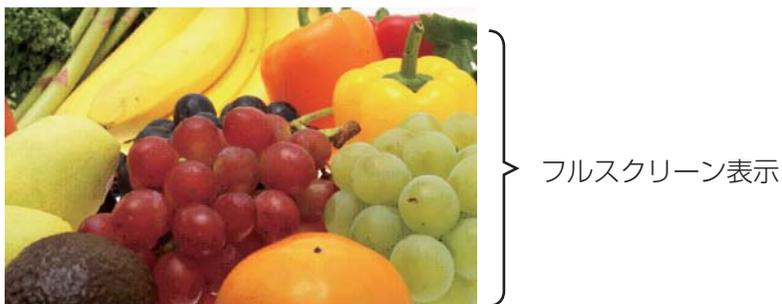


図 4.2.2 全画面モード

全画面モードのときは次の操作が可能です。

◀ / ▶ または ▲ / ▼ (キー操作設定メニューで 選択 3-58)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 右回り / 左回りで 90 度画像を回転します。画像を回転させると、表示モードをサムネイル / スライドショー表示モードに変更しても画像はそのままになります。画像を元に戻したい場合、画像を 360 度回転させるか、メモ리카ード内のプレイリストを消去します。(3-65)</li><li>• 前後の画像にスライドします。</li></ul>
[ENTER] リモコン	サムネイル表示モードに切り替えます。
[INPUT] プロジェクターのボタン	
[MENU] リモコン	「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示します。

\* 上記の操作は、プロジェクターのメニュー表示中は実行できません。

#### お知らせ

- サムネイル、スライドショー、ディレクトリの各表示モードで操作しているとき、プロジェクターの INPUT ボタンを押しても入力ポートを切り替えることはできません。
- 入力ポートを切り替える場合、プロジェクターのメニューを開いてから切り替えてください。
- MP4 ファイルの再生で開始と終了部分の画像が適切に表示されない場合があります。

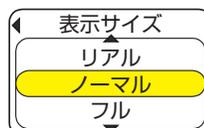
## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

■ 静止画像の表示を変更することもできます。

- 1) 「PC レス プレゼンテーション」メニューで「表示サイズ」を選択します。
- 2) リモコンの ENTER ボタン、またはプロジェクターの▶ ボタンを押します。



- 3) “表示サイズ”メニューが表示されます。



- 4) 表示サイズを選択します。

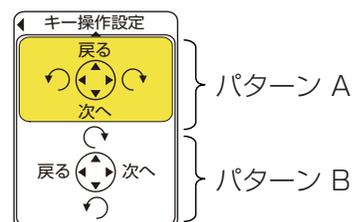
- リアル : 実際の画像サイズで表示します。  
画像のオリジナルサイズがスクリーンサイズより小さい場合、スクリーン中央に画像を表示します。画像のオリジナルサイズがスクリーンサイズより大きい場合、画像の中央部分のみ表示します。
- ノーマル : 画像のオリジナルのアスペクト比を維持しながら可能な限り最大サイズで画像全体を表示します。
- フル : フルスクリーンサイズで画像を表示します。  
画像のアスペクト比は、スクリーンのアスペクト比に変わります。

### お知らせ

- 動画の場合、動画ファイルの解像度がVGAより高い場合、それらの動画ファイルは常にVGAモードで再生されます。動画ファイルの解像度がVGAより低い場合、それらの動画ファイルは常にスクリーン中央で再生されます。
- パワーポイントをJPEGファイル交換形式で保存すると解像度が低くなり、ノーマル表示では粗い映像となる場合があります。この場合、設定をリアル表示にさせていただくか、パワーポイントの「ファイル」-「ページ設定」-「スライドのサイズ指定」にて「ユーザ設定」から幅と高さを大きくしてからJPEGファイル交換形式で保存することをお奨めします。

■ サムネイル表示モードとディレクトリ表示モードでの▲/▼/◀/▶ボタンは、次の2つの設定から1つを選んで使用してください。選択方法は次の通りです。

- 1) 「PC レス プレゼンテーション」メニューで「キー操作設定」を選択します。
- 2) ▶ボタンを押します。
- 3) 「キー操作設定」メニューが表示されます。



- 4) ▲/▼ボタンでキー設定を選択します。以下の2つの設定パターンがあります。

- パターン A : ◀ : 左回転                      ▶ : 右回転  
                 ▲ : 前の画像                      ▼ : 次の画像
- パターン B : ◀ : 前の画像                      ▶ : 次の画像  
                 ▲ : 右回転                              ▼ : 左回転

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

### スライドショーモードの使い方

スライドショーモードは (図 4.2.3)、一連の画像をスクリーン全体に順番に表示します。スライドショーモードを選択するには、Web ブラウザのリモートコントロールの [SLIDE SHOW] ボタンをクリックします。各画像の表示時間はプレイリスト (図 3-65) またはメニューを使って設定できます。



図 4.2.3 スライドショーモード

スライドショーモードのときは次の操作が可能です。

<b>[ENTER]</b> リモコン	サムネイル表示モードに切り替えます。
<b>[INPUT]</b> プロジェクターのボタン	
<b>[MENU]</b> リモコン	「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示します。

\* 上記の操作は、プロジェクターのメニュー表示中は実行できません。

#### お知らせ

- サムネイル、スライドショー、ディレクトリの各表示モードで操作しているとき、プロジェクターの INPUT ボタンを押しても入力ポートを切り替えることはできません。
- 入力ポートを切り替える場合は、プロジェクターのメニューを開いてから切り替えてください。
- スライドショーモードでは、プレイリストに記載されている画像が表示されます。表示しようとしているディレクトリにプレイリストがない場合は、プレイリストを作成し、表示できる画像を自動的にプレイリストに登録します。
- 画像がプレイリストに記載されていない場合、サムネイルモード / スライドショーモードで表示されません (図 3-65)。
- サムネイルメニューで“スタート #”、“ストップ #”、“インターバル”や“モード”の設定をすると、プレイリストで設定したものより優先されます。
- 優先順位をリセットするには、“slidemode.txt” ファイルをディレクトリから削除します。
- “スライドショー”の“モード”を“ワнтаイム”に設定している場合、リモコンの ENTER ボタンか、プロジェクターの INPUT キーを押さない限り、スライドショーの最後のスライドが表示され続けます。

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

スライドショー表示モードはプロジェクターのメニューからも起動できます。  
「PC レス プレゼンテーション」メニューから「スライドショー」を選択して、リモコンの ENTER ボタンかプロジェクターの▶ボタンを押します。スライドショーが起動します。



“サムネイル”画面のサムネイルメニューからスライドショーの再生オプションを設定できます。

- 1) スタート # : スライドショーを開始する画像番号を設定します。画像番号はサムネイルモード時に画像の左上に表示されている番号です。
- 2) ストップ # : スライドショーを終了する画像番号を設定します。
- 3) インターバル : スライドショーで画像 1 枚あたりの表示時間を設定します。動画の場合はインターバルに関わらず動画の長さだけ再生します。また、インターバルの設定が数秒間と短く、画像の保存されているディレクトリが深い、画像ファイルが多い等の場合は設定した時間より数秒長くなる場合があります。
- 4) モード : スライドショーの再生モードを選択します。次の 2 種類があります。  
ワンタイム : スライドショーを 1 回再生します。  
エンドレス : スライドショーの終了の画像を表示すると再び最初に戻ることを繰り返し続けます。
- 5) プレイ : スライドショーを開始します。

PCレス プレゼンテーション メニュー	
スライドショー	
スタート	#1
ストップ	#13
インターバル	3S
モード	ワンタイム
プレイ	



## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

ディレクトリ表示モードのときは次の操作が可能です。

▲ / ▼	項目を選択するカーソルを上下に移動します。
▶	閉じているフォルダを開きます。
◀	開いているフォルダを閉じます。
<input type="button" value="PAGE UP"/> <input type="button" value="PAGE DOWN"/> リモコン	ツリー表示が画面内に収まらない場合、表示されていない部分を表示します。
<input type="button" value="ENTER"/> リモコン <input type="button" value="INPUT"/> プロジェクターのボタン	選択箇所が表示可能なファイルの場合、全画面で表示します。ディレクトリを選択していると、サムネイルモードへ移り、そのディレクトリのサムネイルを表示します。表示不可能なファイルは再生できません。全画面の表示中に ENTER ボタンを押すと、ディレクトリ表示に戻ります。
<input type="button" value="MENU"/> リモコン	メニューを表示します。

\* 上記の操作は、プロジェクターのメニュー表示中は実行できません。

### お知らせ

- サムネイル、スライドショー、ディレクトリの各モードで操作しているとき、プロジェクターの INPUT ボタンを押しても入力ポートを切り替えることはできません。
  - 入力ポートを切り替える場合、プロジェクターのメニューを開いてから切り替えてください。
  - ディレクトリ名およびファイル名に使用できる文字は半角英数字のみです。
  - ディレクトリ表示モードで表示できるディレクトリの階層はメディアの種類を含め 10 階層までです (例えば SD メモリの中のディレクトリは 9 階層まで)。10 階層以降のファイルおよびディレクトリは表示できません。
- また、ファイルやディレクトリが多すぎる場合、一部のファイルまたはディレクトリは表示されません。この場合、メモリカードから必要のないいくつかのファイルまたはディレクトリを削除してください。

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

ディレクトリ表示モードはプロジェクターのメニューからも起動できます。  
「PC レス プレゼンテーション」メニューから「ディレクトリ」を選択して、リモコンの ENTER ボタンかプロジェクターの▶ボタンを押します。ディレクトリモードに切り換わります。



### [ ファイル情報 ]

ファイル情報として表示されるのは以下の内容です。

#### 表示可能な画像ファイル

- File format (JPEG、PNG、BMP)
- Time stamp (ファイルの作成日)
- File size (ファイルの容量)
- Image size (ファイルの解像度)

#### 表示可能な動画ファイル

- File format (MP4)
- Time stamp (ファイルの作成日)
- File size (ファイルのサイズ)
- Movie size (ファイルの解像度)
- Movie time (再生時間)

#### ディレクトリまたは表示できないファイル

- File format (ディレクトリ : Directory、表示できないファイル : File)
- Time stamp (ファイルの作成日)
- File size (ファイルのサイズ)

## 4.2 “PC レス プレゼンテーション” の使い方 - 応用編 (つづき)

### “PC レス プレゼンテーション” でのエラー表示について

“PC レス プレゼンテーション” モードのとき、エラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージが表示される場所はスクリーン下部の灰色の部分です。

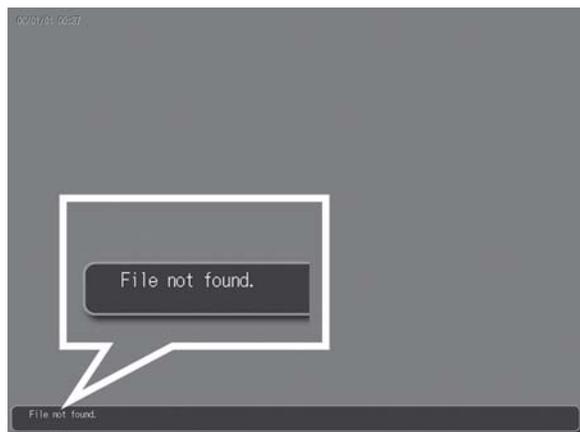


図 4.2.5 “PC レス プレゼンテーション” のエラーメッセージ

### “PC レス プレゼンテーション” エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	エラー内容	表示モード
File not found	表示可能なファイルがありません。	フルスクリーン表示、スライドショー表示
Illegal Playlist file	プレイリストファイルに問題があります。(ファイルサイズが64KBを超えている、ファイル内の1行が1022文字を超えている、改行コードが異常など)	フルスクリーン表示、スライドショー表示

## 4.3 プレイリストについて

プレイリストとはサムネイルやスライドショーモードで表示される画像ファイルおよび動画ファイルと、それらの表示される順番を決める DOS 形式のテキストファイルのことです。プレイリストのファイル名は [imagelistdir.txt] です。“PC レス プレゼンテーション” モードで、プレイリストファイルが存在しないディレクトリを表示すると、そのディレクトリ用のプレイリストファイルが新しく自動で作成されます。作成される場所は表示しているディレクトリの中です。

### お知らせ

●プレイリストは一度作成されたら自動で上書きされません。たとえば、プレイリストを作成した後で画像をメモリカードに追加保存しても、その画像は表示されません。新たに画像ファイルを追加した場合は、プレイリストを削除して新しいプレイリストを自動的に作成し直すか、手動でそれらのファイルを追加してください。

プレイリストファイルは PC 上で編集することができます。スライドショーモードの表示時間や回転情報をプレイリストファイルに設定できます。また、プレイリストファイル中のある 1 行を削除すると、その行に書かれていた画像を非表示にできます。画像ファイルを追加したときには、そのファイル名と保存先のパス名をプレイリストに追加すると、それら新しく追加したファイルを表示できるようになります。

### 【プレイリストへの記述例】（パス名 / パス名 / … / ファイル名 , 表示時間 , 回転情報）

```
images/photo1/img001.jpg  
images/photo1/img002.jpg, 2000  
images/photo1/img003.jpg, 500, rot1  
images/photo1/img004.jpg  
images/photo1/img005.jpg, 500, rot2
```

ファイルの拡張子 (.jpg など) に続く数字は、スライドショーの表示時間です。0 ~ 999900 (ms) 範囲で記述できますが、実際のスライドショーでは 100ms 単位に丸められます。表示時間に続く数字は回転情報です。右に 90 度回転させるものが rot1、rot2 は 180 度回転、rot3 は 270 度回転に対応しています。(回転なしの場合は記述しないか、rot0 を指定します。) 表示時間、回転情報はそれぞれカンマ “,” で区切って記述してください。

**△注意** ●プレイリストの 1 行に書ける文字数は、1022 文字まで (改行コードを含めて 1024 文字まで) です。これを超えるとプレイリストとして無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。

- プレイリストの最大サイズは 64kB までです。これを超えると無効になります。
- プレイリストに登録可能な画像ファイル数は最大で 999 です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルを利用します。
- メモリカード内に画像ファイルを追加し、それを画面上に表示させたい場合はそれまでメモリカードに保存されていたプレイリストを削除して新しくプレイリストを作り直すか、手動でプレイリストに画像を追加してください。

## 4.4 電子メールによるエラー / 警告の通知をする

プロジェクターのメンテナンスが必要な場合やエラー発生時に、指定の電子メールアドレスにエラー / 警告メールを自動送信させることができます。

### お知らせ

- 最大 5 名までの受信者の電子メールアドレスを設定できます。
- プロジェクターの電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

### メール設定 (☞3-24)

プロジェクターの電子メール機能を使用するには、Web ブラウザから下記の項目を設定します。  
例：プロジェクターの IP アドレスとして 192.168.1.10 が設定されている場合：

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに [http://192.168.1.10] と入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して、[Logon] をクリックします。
- 3) メインメニューで [Port Settings] をクリックします。
- 4) [Enable] チェックボックスにチェックを入れて、SMTP ポートを開きます。
- 5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

### お知らせ

- SMTP ポートの設定を変更したら、ネットワークを再起動する必要があります。[Network Restart] をクリックし、下記の手順を実行してください。

- 6) [Mail Settings] をクリックし、各項目を設定します。(☞3-24)
- 7) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

### お知らせ

- 電子メールの設定が正しいことを確認して、[Mail Settings] の [Send Test Mail] ボタンをクリックしてください。次のようなメールが、指定されたアドレスに送信されます。

件名	: Send Mail	< プロジェクターの名前 >
本文	: Send Test Mail	
Date	< テスト実施日 >	
Time	< テスト実施時間 >	
IP Address	< プロジェクターの IP アドレス >	
MAC Address	< プロジェクターの MAC アドレス >	

## メール設定 (つづき)

8) エラー / 警告電子メールを送信するように設定します。メインメニューで **[Alert Settings]** をクリックします。

9) 各送信メール項目を選択して設定します。(☞3-25)

10) **[Apply]** ボタンをクリックして、設定を保存します。

次のような形式でエラー / 警告が、電子メールで送信されます。

件名	: <メールの表題>	<プロジェクターの名前>
本文	: <メールの本文>	
Date	<エラー / 警告の発生日>	
Time	<エラー / 警告の発生時間>	
IP Address	<プロジェクターの IP アドレス>	
MAC Address	<プロジェクターの MAC アドレス>	

## 4.5 SNMP を使ってプロジェクトターを管理する

SNMP を使える環境であれば、SNMP マネージャを使ってプロジェクトターのエラー / 警告を取得することができます。

### お知らせ

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めいたします。
- SNMP によってプロジェクトターを監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

### SNMP 設定 ( 3-23 )

SNMP を使用するには、下記の項目を Web ブラウザで設定する必要があります。例：プロジェクトターの IP アドレスとして 192.168.1.10 が設定されている場合：

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに **[http://192.168.1.10]** と入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して、**[Logon]** をクリックします。
- 3) メインメニューで **[Port Settings]** をクリックします。
- 4) **[Enable]** チェックボックスにチェックを入れて、SNMP ポートを開きます。  
エラー / 警告の発生時に SNMP トラップを送信するように、IP アドレスを設定します。

### お知らせ

- SNMP トラップのコンフィギュレーション設定を変更したら、ネットワークを再起動する必要があります。**[Network Restart]** をクリックし、下記の手順を実行してください。

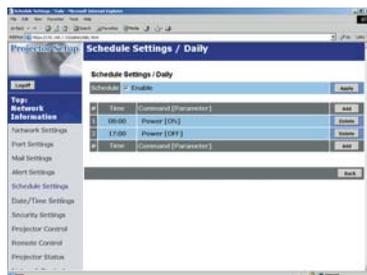
- 5) メインメニューで **[Security Settings]** をクリックします。
- 6) **[SNMP]** をクリックして、画面に表示されているコミュニティ名を設定します。  
初期コミュニティ名は "public" が設定されています。

### お知らせ

- コミュニティ名を変更したら、ネットワークを再起動する必要があります。
- **[Network Restart]** をクリックし、下記の手順を実行してください。

- 7) エラー / 警告の Trap 送信を設定します。メインメニューで **[Alert Settings]** をクリックし、設定するエラー / 警告の項目を選択します。
- 8) **[Enable]** チェックボックスにチェックを入れて、エラー / 警告の SNMP Trap を送信できるようにします。SNMP Trap の送信が不要であれば、**[Enable]** チェックボックスのチェックを外します。
- 9) **[Apply]** ボタンをクリックして、設定を保存します。

## 4.6 スケジュール機能でプロジェクターを制御する



スケジュール機能を使用してプロジェクターを自動制御することができます。

### お知らせ

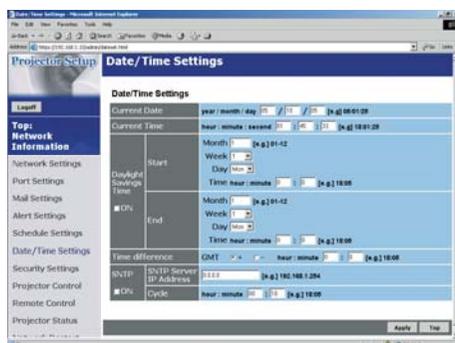
- スケジュール設定できるイベントには、電源の ON/OFF、入力映像信号の切替、転送された画像の表示があります。
- スケジュールリングの種類は、1) 毎日、2) 曜日、3) 特定日の3つです。
- スケジュールしたこれらのイベントの優先順位は、1) 特定日、2) 曜日、3) 毎日の順になります。
- 最大5つの特定日をスケジュール設定できます。同日の同時間に対して複数のイベントをスケジュール設定した場合、イベントの番号が小さいほど優先順位が高くなります。(例えば、「Specific date No.1」の優先順位は「Specific day No.2」以降より高くなります。)
- スケジュール設定したイベントを有効にする前に、必ずプロジェクターの日付と時間を正しく設定してください。

## 日付 / 時刻の設定 ( 3-32 )

Web ブラウザから日付 / 時刻の設定ができます。

例： プロジェクターの IP アドレスとして 192.168.1.10 が設定されている場合：

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに、**[http://192.168.1.10]** と入力します。  
管理者 ID とパスワードを入力して、**[Logon]** をクリックします。
- 2) メインメニューで **[Date/Time Settings]** をクリックし、各項目を設定します。( 3-32 )
- 3) **[Apply]** ボタンをクリックして、設定を保存します。



### お知らせ

- 夏時間または SNTP の設定を変更したら、ネットワークを再起動する必要があります。
- 日付と時間が正しく設定されているにもかかわらず、時刻設定にエラーが生じた場合、内部クロックの電池切れの可能性があり、「内蔵時計用電池の交換」( 1-33 ) に従って電池を交換してください。
- 内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めいたします。

## スケジュール設定 ( 3-30 )

Web ブラウザからスケジュールを設定できます。

例：プロジェクターの IP アドレスとして 192.168.1.10 が設定されている場合：

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに、**[http://192.168.1.10]** と入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して、**[Logon]** をクリックします。
- 3) メインメニューで **[Schedule Settings]** をクリックし、必要なスケジュールの種類を選択します。
- 4) **[Enable]** チェックボックスをチェックして、スケジュールを有効にします。
- 5) 特定日のスケジュールリングの場合、ここで日付（月 / 日）を入力します。
- 6) **[Add]** をクリックして、時間、コマンド、パラメータを設定します。コマンドを追加したい場合は **[Add This Schedule]** をクリックします。
- 7) スケジュールを削除したい場合は、**[Delete]** ボタンをクリックします。
- 8) **[Apply]** ボタンをクリックして、設定を保存します。

スケジュールリングには次の 3 種類があります。

- 1) Daily： 指定した操作を指定時刻に毎日実行します。
- 2) Sunday ~ Saturday： 指定した操作を指定曜日の指定時刻に実行します。
- 3) Specific Date： 指定した操作を毎年指定日の指定時刻に実行します。

### お知らせ

- “Power ON” スケジュールが少なくとも 1 つ保存されていると、スタンバイモードのとき Power インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
- スケジュール機能を使用しているときは、電源コードがプロジェクターおよびコンセントに接続され、電源スイッチはオン [ 1 ] になっていなければなりません。電源スイッチがオフ [ 0 ] になっていたり、室内のブレーカーが落ちていると、スケジュール機能は機能しません。プロジェクターに電源が入っているときは、Power インジケータがオレンジ色または緑色に点灯しています。

## 4.7 静止画転送機能について

プロジェクターで、ネットワークから画像を転送して表示できます。

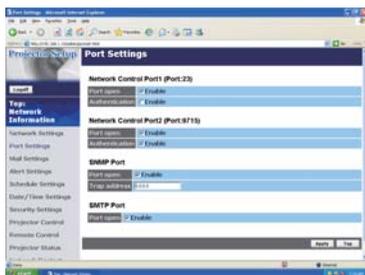
静止画転送には、PC に専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/proj/index.html>

アプリケーションに関する説明はアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

ファイル形式として JPEG、PNG、BMP をサポートします。

## 4.8 ネットワークからのコマンド制御



RS-232C コマンドを使用し、ネットワークからプロジェクターを設定 / 制御することができます。

### 通信ポート

コマンド制御には、次の 2 ポートが割り当てられています。

TCP #23

TCP #9715

### コマンド制御設定 ( 3-23)

コマンド制御を使用する場合、Web ブラウザから下記の項目を設定します。

例： プロジェクターの IP アドレスとして 192.168.1.10 が設定されている場合：

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに、**[http://192.168.1.10]** と入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して、**[Logon]** をクリックします。
- 3) メインメニューで **[Port Settings]** をクリックします。
- 4) TCP #23 を使用するために **[Enable]** チェックボックスにチェックを入れて、**[Network Control Port (Port: 23)]** を開きます。このポートの認証が必要なときには、**[Authentication]** 設定の **[Enable]** チェックボックスをオンにします。認証が必要でない場合は、チェックボックスのチェックを外します。
- 5) TCP #9715 を使用するために **[Enable]** チェックボックスにチェックを入れて、**[Network Control Port (Port: 9715)]** を開きます。このポートの認証が必要なときには、**[Authentication]** 設定の **[Enable]** チェックボックスをオンにします。認証が必要でない場合は、チェックボックスのチェックを外します。
- 6) **[Apply]** ボタンをクリックして、設定を保存します。

## コマンド制御設定（つづき）

認証設定を有効にする場合、下記の設定が必要になります。（3-34）

- 7) メインメニューで **[Security Settings]** をクリックします。
- 8) **[Network Control]** をクリックして、認証パスワードを入力します。

### お知らせ

- 入力した認証パスワードは、**[Network Control Port1 (Port: 23)]** と **[Network Control Port2 (Port: 9715)]** のいずれに対しても同じものになります。

- 9) **[Apply]** ボタンをクリックして、設定を保存します。

### お知らせ

- 更新後の設定は、ネットワークの再起動後に有効になります。設定に何らかの変更を加えた場合は、ネットワークを再起動してください。ネットワーク接続を再起動するには、メインメニューの **[Network Restart]** をクリックします。

## コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります

TCP #23

RS-232C コマンドと同じものをそのまま使用できます。応答のデータ形式は RS-232C コマンドのデータ形式と同じです。ただし、認証機能が有効になっているとき認証エラーが発生した場合は、以下の応答が返されます。

<認証エラー発生時の応答>

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

TCP #9715

## 送信データ形式

送信データ形式に、以下のように RS-232C コマンドに加えてヘッダー(0x02)、データ長(0x0D)、チェックサム (1 バイト)、接続 ID (1 バイト) が含まれます。

ヘッダー	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

- ヘッダー → 0x02、固定
- データ長 → RS-232C コマンドのバイト長 (0x0D、固定)
- RS-232C コマンド → RS-232C コマンド、0xBE 0xEF (13 バイト) から開始
- チェックサム → ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値です。
- 接続 ID → 0 から 255 までのランダムな値  
(この数値は応答データに付加されます。)

## 応答データ形式

接続 ID (送信データ形式の接続 ID と同じデータ) が、RS-232C コマンドの応答データに付きます。

### < ACK 応答 >

応答	接続 ID
0x06	1 バイト

### < NAK 応答 >

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

### < エラー応答 >

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

### < データ応答 >

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

### < プロジェクターのビジュー応答 >

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

### < 認証エラー応答 >

応答	認証エラーコード	接続 ID
0x1F	0x04   0x00	1 バイト

## 接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ TCP 接続は自動的に切断されます。

## 認証

認証機能が有効になっているとき、認証が正常に行われないプロジェクターはコマンドを受け付けません。プロジェクターの認証には MD5 (Message Digest 5) というアルゴリズムが使われています。

プロジェクターが LAN を使用するとき、認証が有効になっていればランダムな 8 バイトが返されます。返された 8 バイトと認証パスワードを結合し、結合したデータを MD5 アルゴリズムで処理して、これをコマンドの先頭に追加し、送信します。

以下は、認証パスワードが “password” に設定され、ランダムな 8 バイトが “a572f60c” である場合の例です。

- 1) プロジェクターを選択します。
- 2) プロジェクターからランダムな 8 バイト “a572f60c” を受け取ります。
- 3) ランダムな 8 バイト “a572f60c” と認証パスワード “password” を結合します。結合した値は “a572f60cpassword” となります。
- 4) この結合した値 “a572f60cpassword” を MD5 アルゴリズムで処理します。  
結果、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” という値を得ます。
- 5) “e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” という値をコマンドの先頭に付加し、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” + コマンドというデータを送信します。
- 6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて応答データが返されます。送信データが正しくない場合、認証エラーが返されます。

## 5. 故障かな？と思ったら

問題	考えられる原因	チェック事項	参考頁	
画像が表示されない。	プロジェクターの電源が入っていない。	プロジェクターのランプが点灯していますか？	1-23	
	プロジェクターの映像信号の切替が MIU になっていない。	プロジェクターが MIU からの信号を選択していますか？	1-25	
ワイヤレス／有線 LAN ライブモード	接続したいプロジェクターがプロジェクターのリストにない。	PC および (または) プロジェクターのネットワーク設定が正しくない。	PC とプロジェクターの両方のネットワーク設定をチェックしてください。プロジェクターの設定を変更した場合は、Web ブラウザの [MIU RESTART] か「MIU」メニューの「特別な設定」から「MIU リスタート」を実行するか、またはプロジェクターの AC 電源を切って再度入れ直してください。プロジェクターを STANDBY 電源モードにした後に電源を入れ直しただけでは、新しい設定は有効にならないことがあります。	3-6 3-8 3-14 2-32
		無線信号が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PC とプロジェクターを近づけてください。</li> <li>• 無線波はコンクリートや金属 (スチール・ドアなど) を通過しません。</li> </ul>	-
	通信できない。	プロジェクターが “ライブモード” になっていない。	「MIU」メニューでモードをチェックし、正しいモードになっていることを確認してください。	3-48
	投影像の動きが PC 画像の動きよりも遅い。	プロジェクターは PowerPoint® アニメーションなどのダイナミック画像をフル速度で中継できない。	キャプチャ性能の優先レベルを上げてみてください。速度が幾分速くなることがあります。	3-46
		画像転送に使用している圧縮率が低すぎる。	JPEG Quality を “Low” 側に設定してみてください。画質が低下しますが、速度を高めるのに役立つことがあります。	3-47
	画像ノイズが多い。	画像転送に使用している圧縮率が高すぎる。	JPEG Quality を “High” 側に設定してみてください。 • 速度が遅くなることがあります。	3-47
	2つのカーソルが表示される。	PC とプロジェクターの両方のカーソルが同時に表示されている。	“MIU LiveViewer” の “Cursor Emulation” オプションをオフにしてください。	3-46
	カーソルが表示されない。	一部の PC では、“MIU LiveViewer” で “Cursor Emulation” を行わないとカーソルが表示されない場合があります。	“MIU LiveViewer” の “Cursor Emulation” オプションをオンにしてください。	3-46

問題		考えられる原因	チェック事項	参考頁
PC レス	USB メモリ (USB ハードディスク等を含む)、SD メモリカードを挿入した後、サムネイルモードまたはディレクトリモードに切替ても、メモリの中身が表示されない。	USB メモリや SD メモリカードを挿入した後、メモリの情報が更新されていない。	サムネイルモードまたはディレクトリモードを再選択するか、「PC レス プレゼンテーション」メニューを再表示してください。	3-51 3-61
ワイヤレス	通信できない。	ワイヤレスネットワークカードがプロジェクターに差し込まれていない、あるいは SD メモリカードが差し込まれた状態になっている。	プロジェクターに付属のワイヤレスネットワークカードを SD スロットに差し込んでください。	1-18
		近くにある別のプロジェクターが同じ無線設定になっている。	SSID と IP アドレスを変更してみてください。	3-22 2-29
有線 LAN	通信できない。	PC および (または) プロジェクターのネットワーク設定が正しくない。	PC とプロジェクターの両方のネットワーク設定をチェックしてください。	3-9 ~ 11
		ワイヤレスネットワークカードがプロジェクターに差し込まれている。	プロジェクターからワイヤレスネットワークカードを抜き取ってください (ワイヤレス / 有線 LAN の両方を同時に使用できません)。	2-32
その他 - プロジェクターから PC に正しい (または完全な) 情報が送信されない。 - プロジェクターが応答しない。 - スクリーン上の画像が、PC の画像が変わってしばらくしても変わらない。		プロジェクターと PC 間の通信が正常に作動していない。プロジェクターの MIU 機能が正常に作動していない。	「MIU」メニューで「特別な設定」の「MIU リスタート」を実行してみてください。	2-32

## 6. 仕様

項目	仕様
製品名	液晶プロジェクター
ファイル形式	JPEG、PNG、BMP、MPEG4
制御ソフトウェア	専用の PC アプリケーションおよび Web ブラウザ
対応プロトコル	TCP/IP、DHCP クライアント、HTTP サーバー
ネットワーク	無線 LAN (IEEE802.11g) (AD-HOC モード、および INFRASTRUCTURE モード) イーサネット (100Base-TX/10Base-T)
セキュリティ	WEP(64/128bit)、WPA-PSK/PSK2(TKIP/AES)、SSID
PC アプリケーションの動作環境	OS : Windows XP Home Edition/ Professional Windows 2000 Professional Service Pack 4 CPU : Pentium III 600MHz 以上 (推奨) メモリサイズ : 64M バイト以上 128M バイト以上 (XP の場合) グラフィック I/F : DirectX 6.1 以上 ビデオ RAM : 4MB 必要 (8MB 推奨) HDD : 10MB CD-ROM ドライブ Web ブラウザ : Internet Explorer 5.5 またはそれ以降のバージョン
SD カード	SD カード (カードによっては対応していない場合があります。)
ワイヤレスネットワークカード	C-guys SD-Link 11g
USB	USB1.0 ホスト : Mass Storage Class SBC/BOT タイプ 以下の USB メモリの読み出し / 書き込みが可能 : - USB フラッシュメモリ - USB カードリーダー - USB ハードディスク (それぞれカード・装置によって対応していない場合があります。)

MIU  
輸

# 保証とアフターサービスについて(必ずお読みください。)

## 修理を依頼される時は (出張修理)

(☎2-33) ~ (☎2-37)、(☎3-78) ~ (☎3-79)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

### ご不明な点や 修理に関する ご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

### 補修用 性能部品 保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
本体型名	CP-X608 (CP-X608J)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

### 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ( )	年 月 日

## 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！ .....

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

<b>愛情点検</b> 	<b>このような症状はありませんか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチを入れても映像が出ない。</li> <li>●映像が時々、消えることがある。</li> <li>●変なにおいがしたり、煙が出たりする。</li> <li>●電源スイッチを切っても、映像が消えない。</li> <li>●内部に水や異物が入った。</li> <li>●ランプが破裂した。</li> </ul>	<b>ご使用中止</b> 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。
--	---	---

## お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ  
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに  
関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日/9:00～19:00

商品情報やお取り扱いに  
ついてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30/携帯電話、PHSからも  
ご利用できます。(日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など  
弊社の休日は休ませていただきます。)

商標について：

- ・ VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Apple および Mac は Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- ・ VESA および SVGA は Video Electronics Standard Association の商標です。
- ・ Windows および Internet Explorer は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ・ その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

・ **SRS**  は SRS Labs, Inc. の商標です。

WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。  
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



QR69241

Printed in Japan